取扱説明書

ビクターBSデジタルハイビジョンチューナー

型名 TU-BSD1

2～7ページ

⚠ご使用の前に **安全上のご注意**

を必ずお読みください。

16～19ページ

ここだけ読んでも使えます。

BSデジタル放送を楽しむ

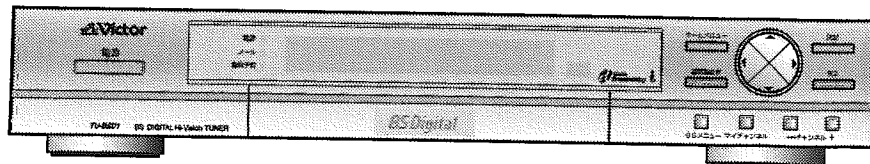
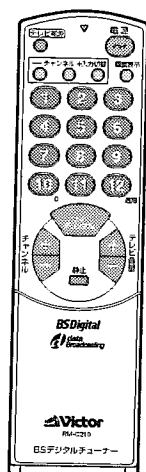
64～65､67～68ページ

テレビやビデオデッキとつなぐ

86～89ページ

こまったときは

目次は14～15ページ

をご覧ください。

お買い上げいただき、ありがとうございます

●ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

お読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この絵文字（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

⚠注意

この絵文字（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

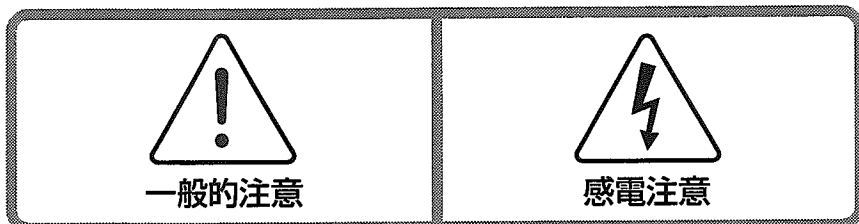
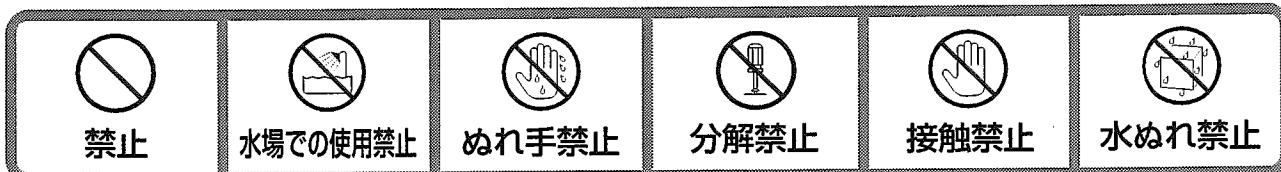
禁止

水場での使用禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

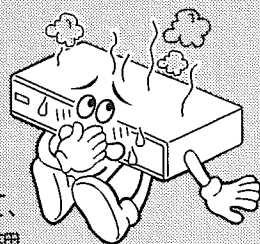
接触禁止

水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

プラグをコンセントから抜く

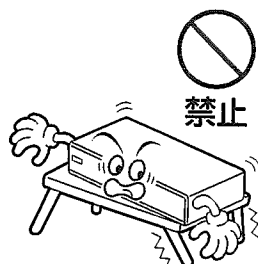
⚠警告 万一、次のような異常が発生したときは

- ●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ●チューナーの内部に水や物が入ってしまったとき。
- ●チューナーを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

⚠警告　設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

禁止

指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告　使用するときの警告

チューナー内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

禁止

チューナーに水をかけない

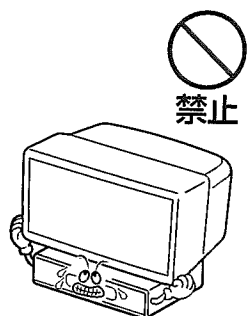
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、チューナーの上に置かないでください。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。

水場での使用禁止

水ぬれ禁止

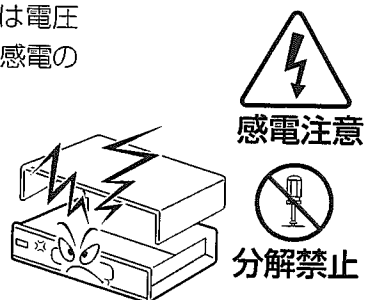
チューナーの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

チューナーのカバーは外さない

チューナー内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

感電注意

分解禁止

安全上のご注意（つづき）

⚠警告　使用するときの警告

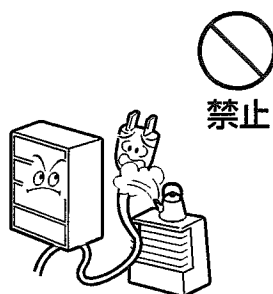
雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

チューナーを改造しない

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

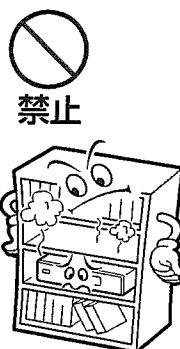
電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意　設置するときの注意

次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットが変質することがあります。

チューナーの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。
- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。
- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

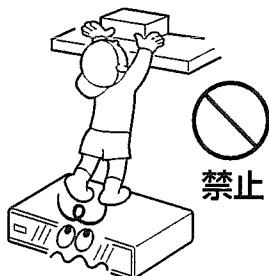
移動するときは接続コード類をはずす

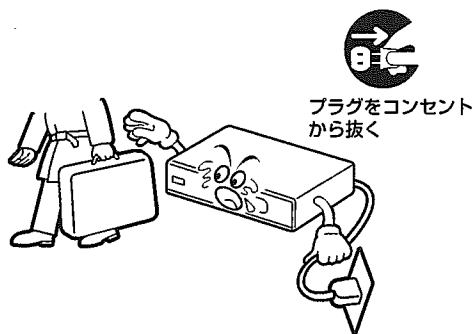
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

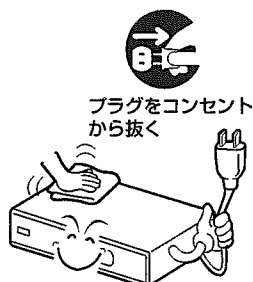
安全上のご注意（つづき）

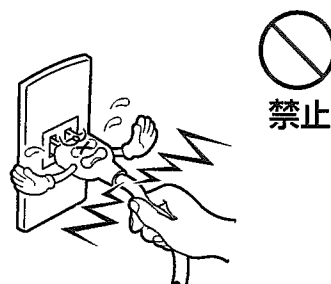
⚠注意　使用するときの注意

チューナーの上に乗らない

こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

長期間チューナーを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは電源コードを抜く

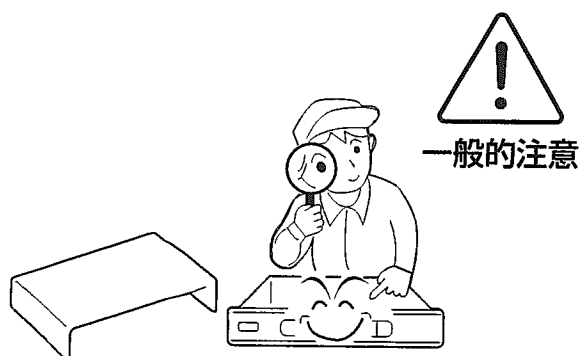
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

5年に一度はチューナー内部の掃除を販売店に依頼する

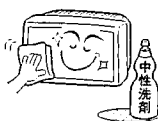
チューナーの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

乾電池の使い方に注意する

電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
・種類の違う電池を混ぜて使わない
・電池ケースのプラス(+)とマイナス(−)の表示どおりに入れる
・指定された電池以外は使わない

お手入れのしかた

●キャビネットの汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

・シンナーやベンジンでふかない
・殺虫剤など揮発性のものをかけない
・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

お使いになる前に

BSデジタル放送の楽しみかた

こんな事ができます

デジタルハイビジョンなど 4種類全ての方式に対応

BSデジタル放送では次の4種類の放送が行われます。

1. **標準方式**(現行放送と同じ。525iとも呼ばれます)
2. **プログレッシブ方式**(標準方式を高画質にしたもの。525pとも呼ばれます。)
3. **ハイビジョン方式**(走査線数が1125本の方式。1125iとも呼ばれています。)
4. **ハイビジョン方式**(走査線数が750本の方式。750pとも呼ばれています。)

本機では、内蔵のフォーマットコンバーター(方式変換器)で4種類の方式を、ご使用になるテレビにあわせて最適な映像に変換します。
本機では、下記の3方式への変換が選べます。

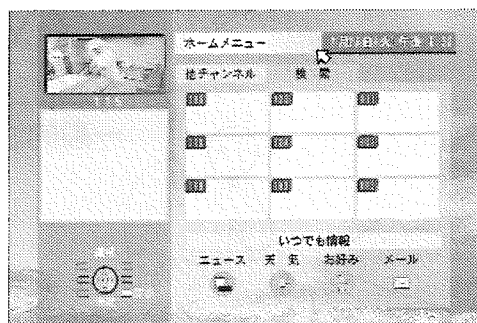
1. **ハイビジョン方式**(1125i方式)
2. **プログレッシブ方式**(525p、ハイビジョンはプログレッシブ方式の画質になります。)
3. **標準方式**(525i、ハイビジョン番組は標準方式の画質になります。ビデオデッキでの録画はこの方式になります。)

● **デジタルハイビジョン放送を楽しむには**
本機には、D3映像入力を備えたワイドテレビを組み合わせてご使用になることをおすすめします。(コンポーネント入力端子付きのハイビジョンテレビでもご覧いただけます。普通のテレビやワイドテレビではハイビジョン番組は標準方式の画質になります。)

● **データ放送や番組表を快適に使うには**
データ放送や番組表では絵や文字の表示をおこないます。絵や文字が見やすくなりますので、できるだけ大きな画面のテレビでご覧になることをおすすめします。

多彩な番組表で すばやく選局

BS デジタル放送ではチャンネル数／番組数が多いため、より効率的にお好みの番組を見つけていただくために、色々な番組表を用意しました。

ホームメニュー(☞ P.20)

● 裏番組を一覧表示する機能－**「現在の他チャンネル」**
● 番組のジャンルを指定して検索する機能－**「検索」**

週間番組表(☞ P.27)
全チャンネルの1週間分の放送予定の中から3局6時間分を表示。

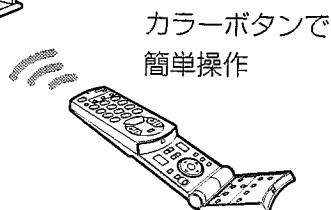
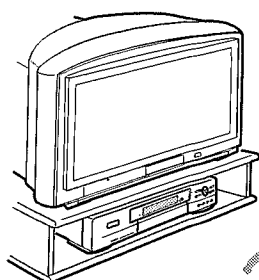
局別番組表(☞ P.29)
1つの放送局(1～3チャンネルあります)の1週間分の放送予定の中から6時間分を表示。

クイック番組表(☞ P.31)
チャンネルごとに、現在とその後に放送される番組を表示。

マイチャンネル(☞ P.50)
放送局のチャンネルとマークを10個ずつ表示させ、数字ボタンでチャンネルを選べます。

データ放送やラジオ放送も受信

(☞ P.18)

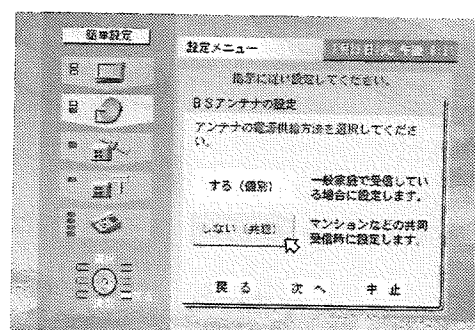
BSデジタル放送では、テレビ放送の他にラジオ放送やデータ放送があります。
ラジオ放送は、音声のみの放送ですが、静止画やタイトル表示を伴うものもあります。デジタル音声信号なので、アンプやスピーカーをつないで高品質の音声を楽しむことができます。
データ放送は、好きなときにニュース、天気予報などの情報や、テレビショッピングを見ることができ、テレビ番組とは独立したマガジンタイプの情報を提供するサービスです。
また、テレビ番組に連動した補完・詳細情報などを見ることもできます。

光デジタル音声出力端子と対応アンプでサラウンド音声に対応

(☞ P.69)

本機はAAC5.1ch及び2chステレオ対応の光デジタル音声出力端子を搭載しています。
MDデッキをつないで高音質デジタル録音をしたり、AAC5.1chデコーダー対応のアンプをつないでサラウンド音声を楽しめます。

簡単設定メニューで簡単セットアップ

(☞ P.71)

本機を設置したあと、BSデジタル放送を受信するための設定が、簡単設定メニューで順を追って簡単におこなえます。

お知らせ音、大きなボタンで、わかりやすい操作

(☞ P.58)

リモコンや本体のボタンで本機を操作すると、操作を受け付けたことをお知らせする音が鳴ります。
また、よく使うリモコンのボタンは大きく作られていますので、わかりやすく確実に操作できます。

予約録画は番組表から簡単にできます

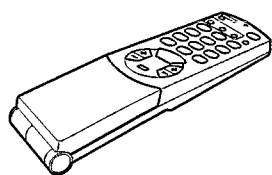
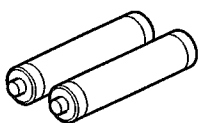
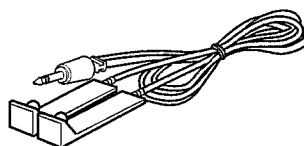
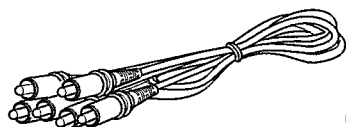
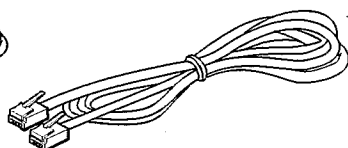
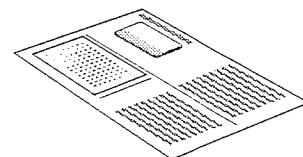
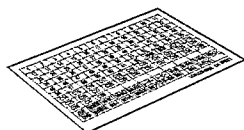
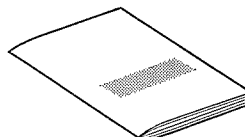
(☞ P.65、67、82)

ビデオリモートコントローラーを設置すると、ビデオデッキの電源を切っていても、予約した番組が始まると自動的に電源が入り、録画が始まります。
また、ビクター製のテレビをつないでいるときは、視聴予約した番組が始まると、自動的にテレビの電源が入り、入力が切り換わります。

ご使用になる前の準備

次の準備はお済みですか？まだでしたら、参照ページをご覧になり、準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

- リモコン（RM-C210）
- 単３電池２本（動作確認用）
- ビデオリモートコントローラー
- 両面テープ２枚
- 映像・音声ケーブル
- モジュラーコード
- モジュラー分配コネクター
- B-CAS（ビーキャス）カード ユーザー登録はがき
- チャンネルシート
- 保証書
- 取扱説明書
- 申込書一式

2 BSアンテナ／テレビをつなぐ

- BSアンテナをつなぐには（☞ P.63）
- テレビをつなぐには（☞ P.64）

3 電話線につなぐ

電話線につなぐには（☞ P.66）

4 AV機器をつなぐ

- ビデオデッキをつなぐには(☞ P.67)
- ビデオリモートコントローラーをつなぐには(☞ P.67)
- MDデッキやアンプ(オーディオシステム)をつなぐには(☞ P.69)

5 ビデオリモートコントローラーの設定をする

- ビデオデッキのメーカー名を設定するには(☞ P.82)
- テレビの入力切換を設定するには(☞ P.84)

6 B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

有料の番組を購入したり、メールを受信するときに必要です。
常にB-CAS(ビーキャス)カードスロットにB-CAS(ビーキャス)カードを差し込んだ状態で使用します。(☞ P.70)

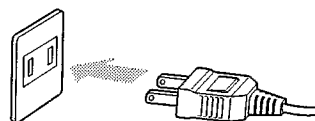
7 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。(☞ P.70)

8 リモコンにテレビのメーカーを設定する

- テレビのメーカーを設定するには(☞ P.55)

9 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。(☞ P.70)

10 受信設定をする

- 簡単設定で受信に必要な設定をするには(☞ P.71)
- マイチャンネルを設定するには(☞ P.50)

11 申込み手続きをする

- 各放送会社に申し込んでください。(☞ P.12)

知っておいていただきたいこと

B-CASカード登録をしてください

B-CAS カードはカードに組み込まれたICを利用し、登録された受信者に対して、いろいろな放送サービスの利用を可能にします。
このカードを使用しなくても本機をご使用いただけますが、公共放送の視聴時にメッセージがでたり、有料放送の視聴や一部のデータ放送の利用ができません。B-CASカードを本機に挿入し、はがきによる登録をしてください。(B-CASカードの台紙の一部が登録はがきになっています。また、台紙に書かれた説明も良くお読みください。台紙に添付されたバーコードのシールは、有料放送の申し込みに利用します。無くさないようにしてください。)
なお、本機の表示では B-CAS カードが「IC カード」と表示されますので、ご了承ください。

ご注意

- B-CAS カードには、視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードは、(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損・紛失などにより再発行を依頼される場合は費用が必要となります。B-CAS カードに記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

NHKや有料放送は視聴の手続きが必要です

B-CAS カードの登録後、ご覧になりたい放送局の申し込みが必要です。
添付のパンフレットをお読みいただき、手続きをしてください。

ソフトウェアと動作

リセット

本機はBSデジタル放送として送られてくる電子番組表やデータ放送などデジタル情報を受け取ってさまざまな機能のサービスを実現しています。
これらの機能は精密な電子部品と、パソコンと同様のソフトウェアで実現されています。そのため、外部からのノイズなどのいろいろな要因で正常に動作しない事があります。しばらくたっても正常に動作しない(あるいは全く動作しない)場合は、本体前面の扉を開け、リセットボタンを押してください。(90ページ参照)いったん画面が消え、しばらくすると電源が入って画面が現れます。

ダウンロード

多くの機能をソフトウェアで実現していますので、将来機能が追加されたときも、ソフトウェアを入れ換えることで機能追加を実現できるようになっています。この機能をダウンロードと呼んでいます。
通常はダウンロードによるプログラムの更新をされることをおすすめします。

放送されない機能は動作しません

本機にはさまざまな機能がありますが、放送局がそれらの機能を放送していないと使用できません。

放送局とチャンネル番号

BSデジタル放送では、チャンネル番号が3桁です。

100番台～200番台　テレビ放送

チャンネル番号	放送局
101	NHK BS1
102	NHK BS2
103	NHK ハイビジョン
140～149	BS日テレ
150～159	BS朝日
160～169	BSi
170～179	BSジャパン
180～189	BSフジ
191～193、198,199	WOWOW
200～209	スターチャンネル

300番台～500番台　ラジオ放送

チャンネル番号	放送局
300、301	BSC
310～319	ミュージックバード
320～329	JFNサテライト
330～339	セント・ギガ
440～449	BS日テレ
450～459	BS朝日
460～469	BSi
470～479	BSジャパン
488、489	BSフジ
491、492	WOWOW

600番台～900番台　データ放送

チャンネル番号	放送局
610～619	ミュージックバード
620～629	JFNサテライト
630～639	セント・ギガ
700～709	NHK
740～749	BS日テレ
750～759	BS朝日
760～769	BSi
770～779	BSジャパン
780～789	BSフジ
791～799	WOWOW
800～809	スターチャンネル
900～909	メガポート放送
910～919	ウェザーニュース
928、929	HPA
930～939	DCI
940～949	日本データ放送
950～959	メディアサーブ
960～969	日本メディアーク
990～999	日本ビーエス放送

注）全てのチャンネルで放送しているわけではありません。

目次

安全上のご注意

お使いになる前に

ここだけ読んでも使えます

いろいろな番組のさがしかた/選びかた

本機を使いこなす

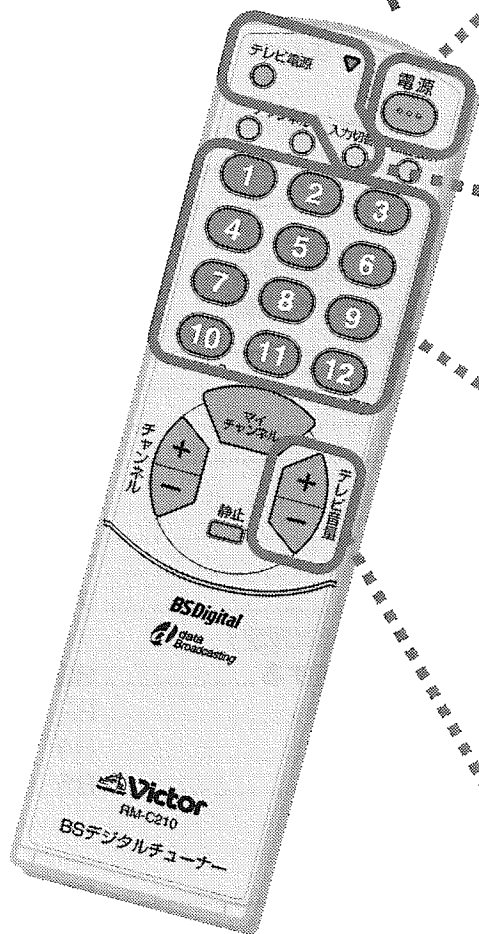
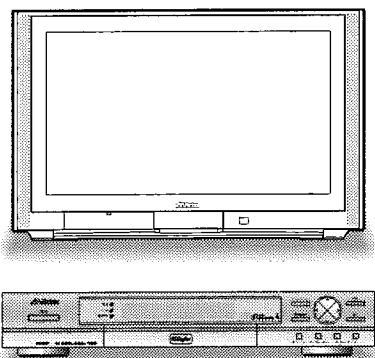
いろいろな設定をする

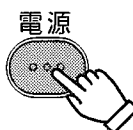
設置と準備

その他

ここだけ読んでも使えます

テレビ放送を楽しむ

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。

1 電源を入れる

本機の電源を入れます。

電源ランプが赤から緑に変わります。

2 テレビの電源を入れ、入力を切り換える

テレビの電源を入れます。

本機をつないだ入力端子を選びます。

3 チャンネルを選ぶ

数字ボタンを押してチャンネルを選びます。
1～10ボタンにチャンネルが設定してあります。
☞他にも次ページのようにいろいろな選びかたがあります。

ボタン	チャンネル	放送局
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK デジタル ハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日

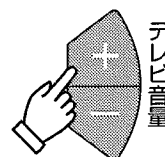
ボタン	チャンネル	放送局
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スターチャンネル

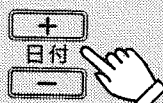
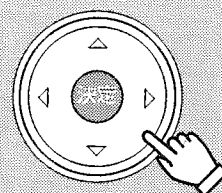
4 音量を調節する

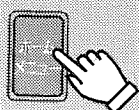
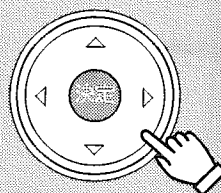
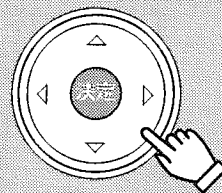
テレビ音量＋／－ボタンを押します。

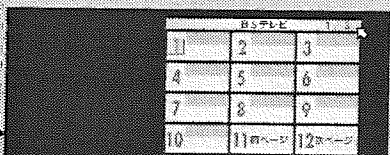
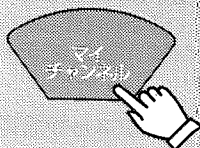
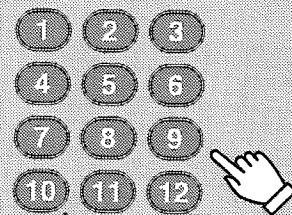
電源を切るには

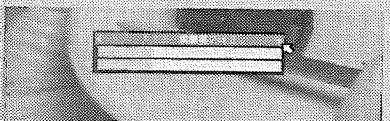
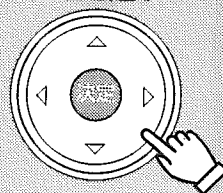
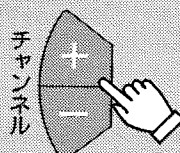
リモコンの電源ボタンを押します。

＊ テレビの操作をするにはあらかじめリモコンの設定が必要です。(☞ P.55)

週間番組表／局別番組表（☞ P.27、29）

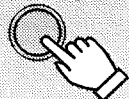
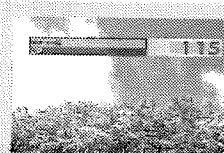
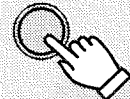
番組表を表示する

ホームメニュー（☞ P.20）

ホームメニューを表示する

マイチャンネル（☞ P.50）

マイチャンネル一覧を表示する

数字ボタンで操作し、チャンネルを選ぶ

クイック番組表（☞ P.31）

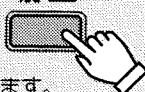
クイック番組表を表示する

番組を選ぶ

チャンネル＋／－ボタン

画面表示を出すには

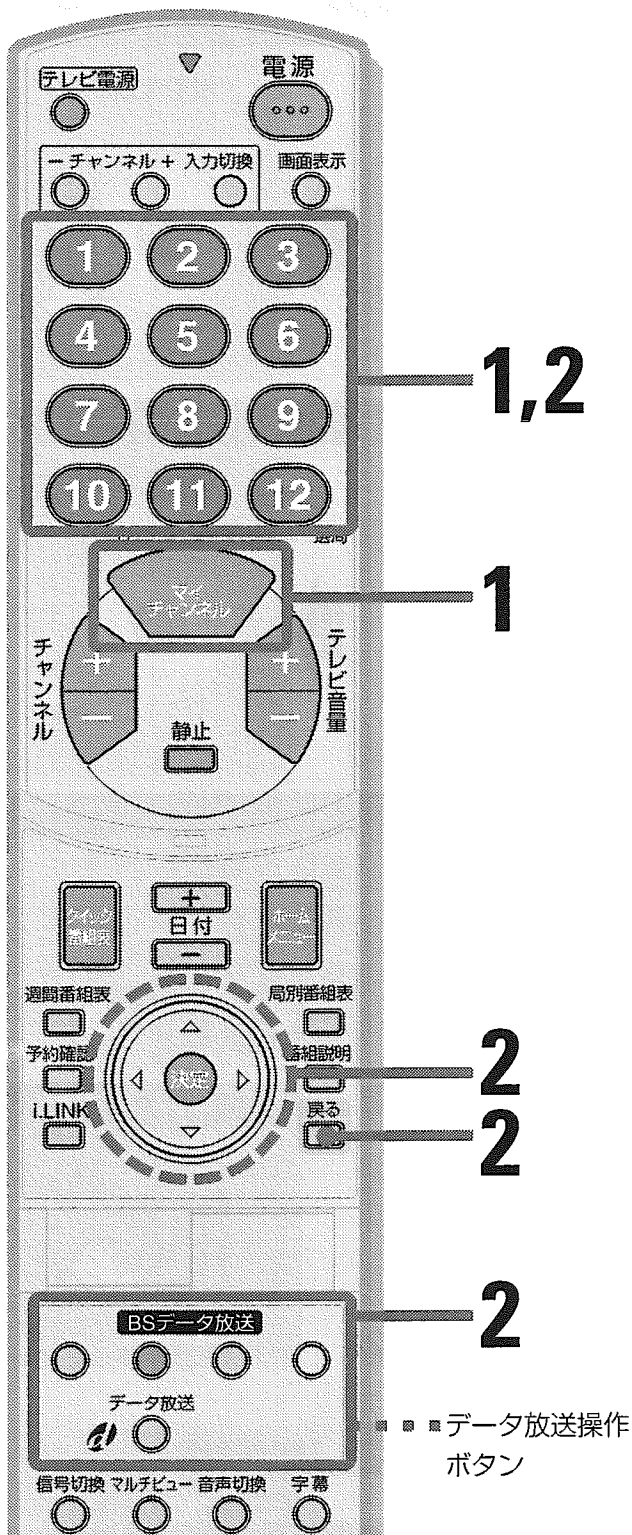
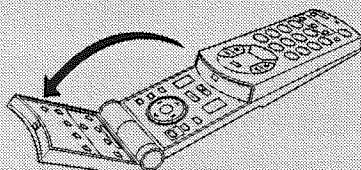
見ている番組のチャンネル／放送局／その他の情報を表示します。
押すたびに右のように変わります。

画面表示

画面表示

画面表示

静止画を見るには

映像を止めて、メモをとるときなどに使います。
もう一度押すと、もとの画面に戻ります。
静止画は、画面の右下に約 1/4 の大きさで表示されます。
●データ放送やラジオ放送では使用できません。

静止

有料番組を見るには（☞ P.44）
マルチビュー放送を見るには（☞ P.40）
字幕／文字スーパーを見るには（☞ P.41）
番組説明を見るには（☞ P.32）

ここだけ読んでも使えます
ラジオ放送／データ放送を楽しむ

リモコンのふたの開けかた

手前に起こします。

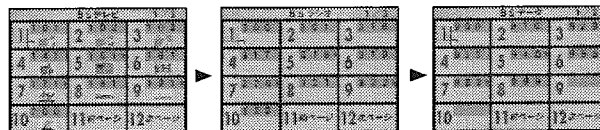
1 チャンネルを選ぶ

マイチャンネルボタンを押して「BSラジオチャンネル」または「BSデータチャンネル」を表示させ、数字ボタンを押してチャンネルを選びます。

マイチャンネルボタンの使いかた

BS ラジオ放送や BS データ放送のチャンネルを選ぶときに使います。また、リモコンに設定されていないテレビのチャンネルを選ぶときにも使います。

1. マイチャンネルボタンを何回か押して選びたい放送を選ぶ

チャンネルメニューが表示されます。

チャンネルメニューはマイチャンネルボタンを押すごとに「BSテレビ放送」「BSラジオ放送」「BSデータ放送」と切り換わります。

2. 数字ボタンを押して選びたいチャンネルまたは別のチャンネルメニューを選ぶ

1 ～ 10 ボタンを押すとチャンネルが切り換わります。
11ボタンを押すと、次のチャンネルメニューが表示されます。
12ボタンを押すと、前のチャンネルメニューが表示されます。

3チャンネル分のチャンネルメニューが表示されるときは

BSテレビ放送で複数の番組が放送されているときに表示されます。ごらんになりたいチャンネルの数字ボタンを押してチャンネルを選んでください。

- お買い上げ時にはあらかじめ一部のチャンネルが設定されています。
- 「BS テレビ放送」「BS ラジオ放送」「BS データ放送」は、おのおの 30 チャンネルの登録ができます。
- メニューは各放送に 3 画面あります。チャンネルが登録がされていない画面は 11 ボタンや 12 ボタンを押しても表示されません。
- お買い上げ時の設定では、数字ボタンの1から10にテレビのチャンネルが設定されています。
  BSメニューの「チャンネルの設定」を「テンキー方式」に変更することで、3桁のチャンネル番号を数字ボタンを押して選ぶことができます。（「3桁の数字を入力してチャンネルを選ぶには」62 ページ参照）

2 データ放送画面で操作する

画面に表示される操作ボタンと同じ色のボタンや、カーソルボタン（◀ ▶▲▼）、決定ボタン、数字ボタン、戻るボタンを押して、操作します。

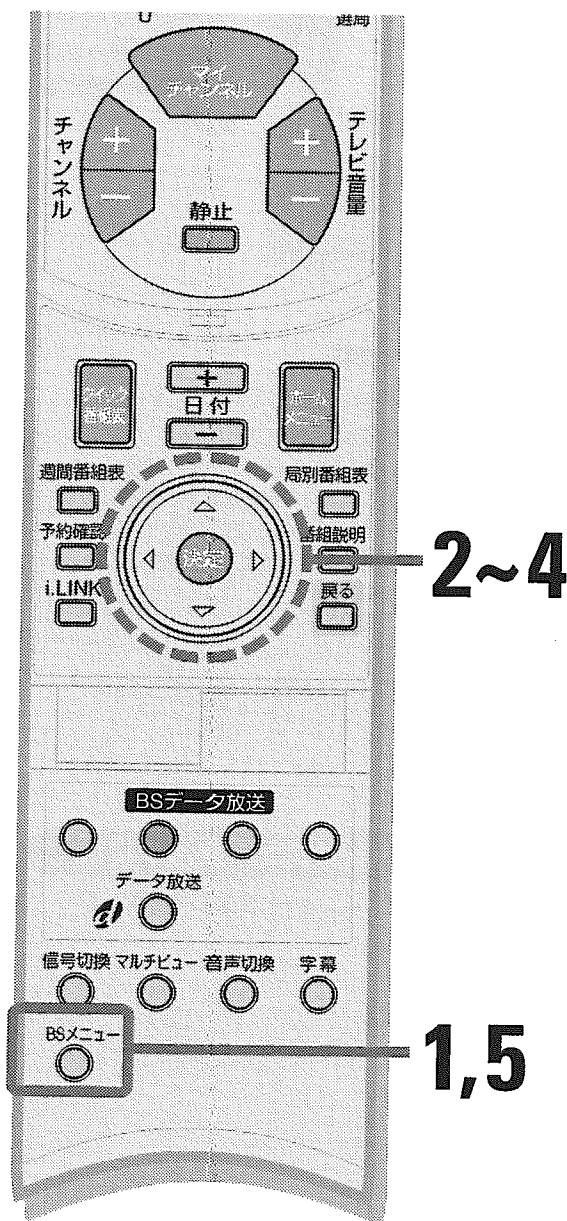
データ放送のサービス内容やボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。

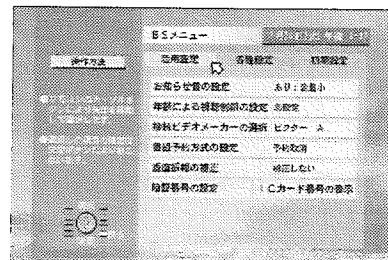
データ放送については「データ放送を楽しむ」（☞ P.47）をお読みください。

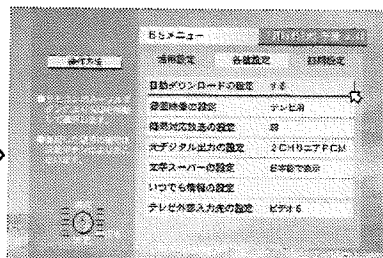
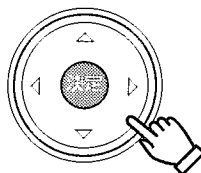
- データ放送では、画面で表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なる場合があります。

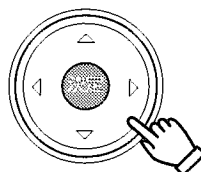
ここだけ読んでも使えます

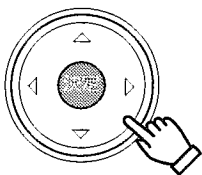
BSメニューの基本操作

本機はBSメニューで、受信に必要な設定（初期設定）やBSデジタル放送を見るための便利な設定ができます。
ここでは基本的な操作を説明します。各項目の設定内容や詳しい操作方法は目次をご覧になって各々のページをご覧ください。

1 BSメニューを表示する。

BSメニューボタンを押します。

2 BSメニューの種類を選ぶ。

カーソルボタン(◀ ▶)を押して「活用設定」、「各種設定」、「初期設定」のなかから選びます。

3 設定、調整する項目を選ぶ。

カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して選んでから、決定ボタンを押します。
選ばれた項目の色が変わり、設定画面になります。

4 調整、設定をする。

カーソルボタン(◀ ▶▲▼)を押して調整、設定してから、決定ボタンを押します。

手順2の画面に戻ります。

5 BSメニューを消す。

BSメニューボタンを押します。

いろいろな番組のさがしかた／選びかた

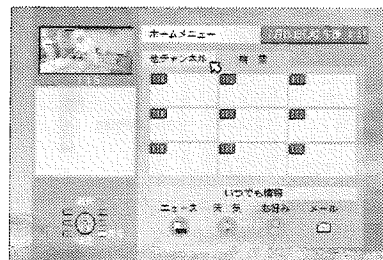
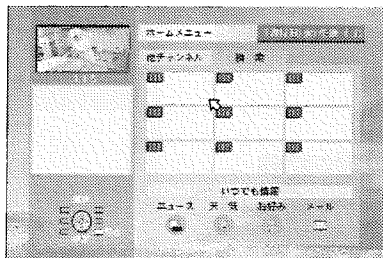
ホームメニューを利用する

ご覧になる人のお好みを反映した番組表です。
現在の他チャンネル：裏番組をすべて確認することができます。
検索：ジャンル（番組の種類）を指定して番組を選ぶことができます。

裏番組から選ぶ－「他チャンネル」

裏番組を表示させて番組を選びます。

● 電源プラグをコンセントに差し込んで、すぐに「他チャンネル」を表示させると、番組の表示がされないことがあります。これは本機に情報がまだ取り込まれていないためで、故障ではありません。数分程度たってから再び操作をしてください。

1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示させる。

2 決定ボタンを押す。

裏番組が選べるようになります。

3 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して番組を選ぶ。

選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。カーソルボタン（◀ ▶）を押しつづけると、番組一覧が左右に移動して表示しきれなかった他の番組が表示されます。

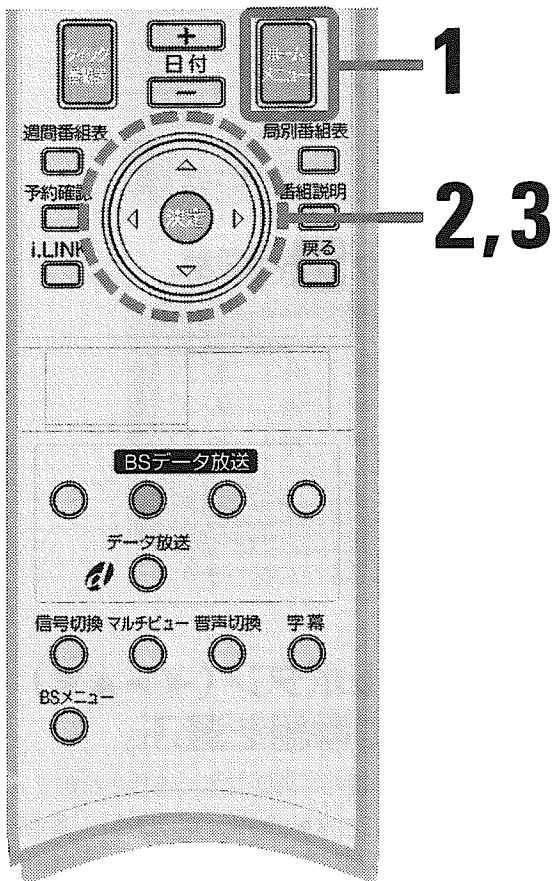
4 決定ボタンを押す。

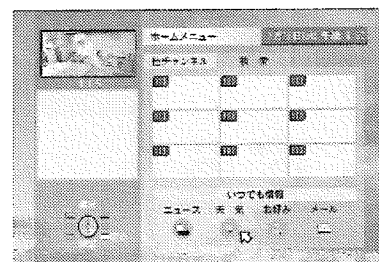
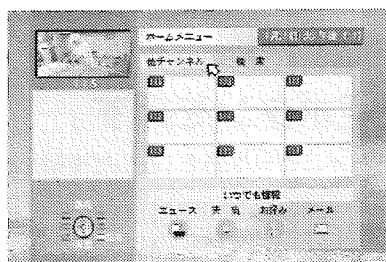
ホームメニューが消え、選んだ番組が映ります。

ホームメニューを利用する（つづき）

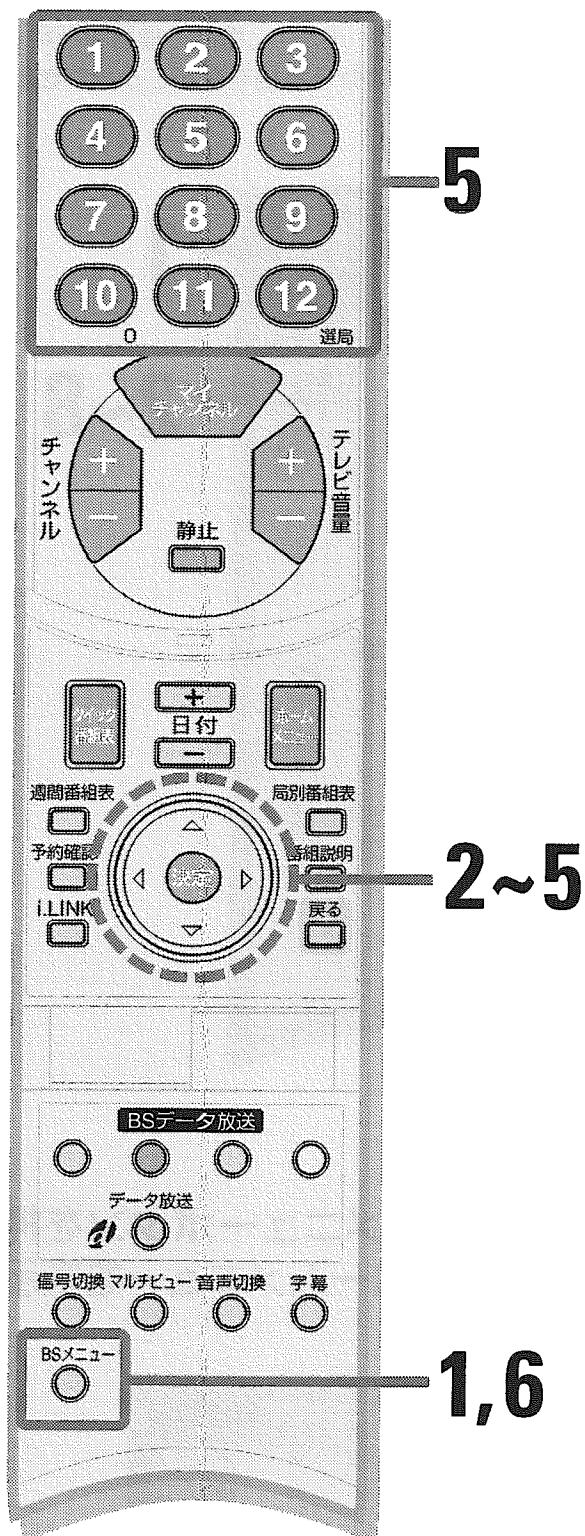
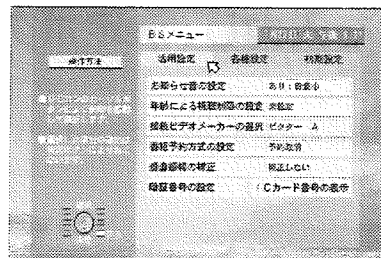
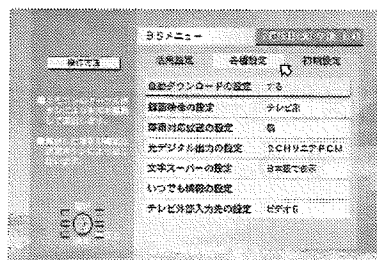
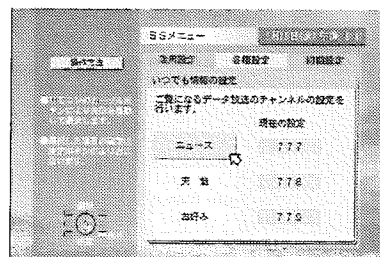
いつでも情報から選ぶ

いつでも情報では３つのデータ放送のチャンネルが登録されています。
「ニュース」、「天気」、「お好み」にはお好きなチャンネルを登録しておくことができます。（☞ P.23）

1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（▼）を何回か押して、ニュースのマークを緑色にする。

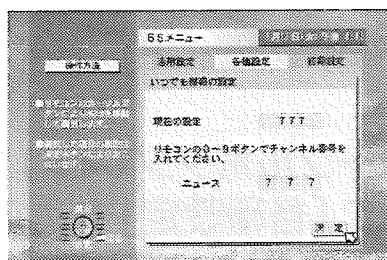
3 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「いつでも情報」の項目を選び、決定ボタンを押す。

選んだ項目のデータ放送のチャンネルに切り換わります。

メールについては

「メールを見るには」をご覧ください。（☞P.45）

いつでも情報のチャンネルを設定・変更するには

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「各種設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「いつでも情報の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して、設定・変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

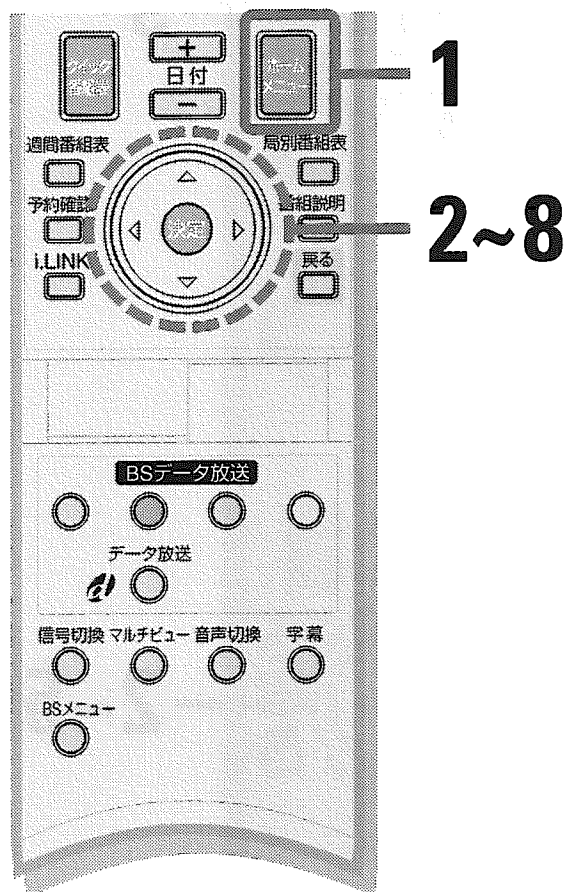
ホームメニューを利用する（つづき）

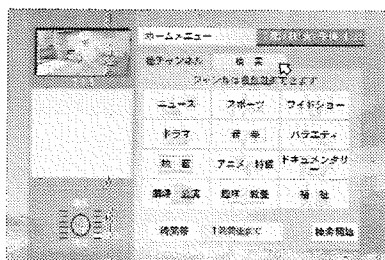
5 数字ボタンを押して、設定したいデータ放送のチャンネルを入力し、決定ボタンを押す。

他の項目も変更するときは手順4～5をくり返してください。

6 BSメニューボタンを押して、終了する。

●**設定できるチャンネルは**
データ放送の600～999が設定できます。ただし、テレビやラジオと連動しているチャンネルは設定できません。

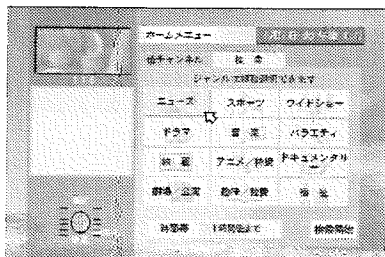
見たい番組の種類を指定して選ぶ－「検索」

「今日放送されるドラマ」とか「今週放送される映画」というように期間（時間）と番組の種類を指定して表示させ、その中から番組を選ぶことができます。

1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示させる。

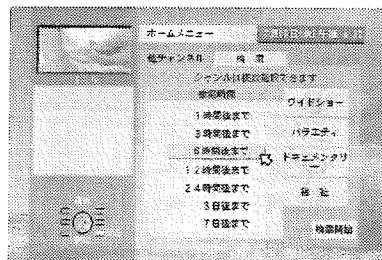
2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「検索」を選び、決定ボタンを押す。

3 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、検索したいジャンルを選び、決定ボタンを押す。

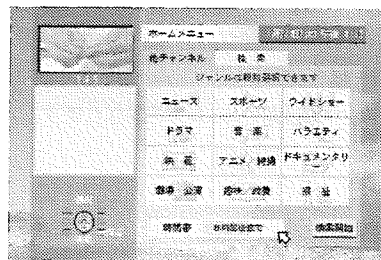
12種類のジャンルの中から、最大3種類まで選べます。
2～3種類のジャンルを選ぶときは、手順3を繰り返してください。

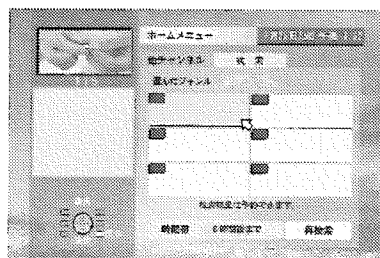
ジャンル

ニュース	スポーツ
ワイドショー	ドラマ
音楽	バラエティー
映画	アニメ
ドキュメンタリー	劇場・公演
趣味・教養	福祉

選んだジャンルは、色が変わります。
（白色 → うすい緑色）

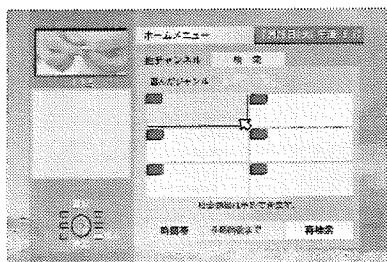
4 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して「時間帯」を選び、決定ボタンを押す。

検索する時間の範囲が表示されます。

5 カーソルボタン（▲▼）を押して、いつまで検索するかを選び、決定ボタンを押す。

時間帯は「1時間後まで」、「3時間後まで」、「6時間後まで」、「12時間後まで」、「24時間後まで」、「3日後まで」、「7日後まで」の7つから選べます。

6 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して「検索開始」を選び、決定ボタンを押す。

検索中のジャンルは文字背景の明るさが変わります。
検索が終わったら、該当する番組を6個ずつ、最大30個まで表示します。

ホームメニューを利用する（つづき）

7 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、番組を選ぶ。

選んでいる番組の情報が画面左側に表示されます。
カーソルボタン（◀ ▶）を押しつづけると、番組一覧がスクロールして残りの番組が表示されます。

8 決定ボタンを押す。

放送中の番組を選んだ場合
ホームメニューが消え、選んだ番組が映ります。

放送予定の番組を選んだ場合
予約画面が表示されます。
予約するには「番組を予約する」（☞ P.34）をお読みください。

検索にかかる時間
選んだ「ジャンル」や「時間帯」によって異なります。

番組表から選ぶ

週間番組表から選ぶ

現在から、1 週間先までの番組を表示できます。新聞や雑誌の番組欄を見るような感覚で番組を選ぶことができます。
（1 度に表示できるのは 3 局、6 時間分です。）

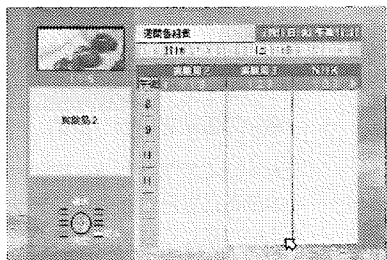
番組情報の自動更新

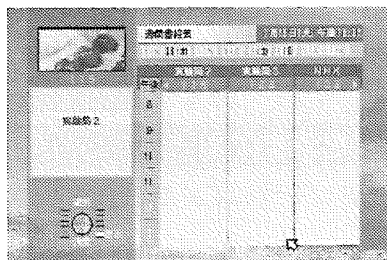
約 3 分ごとに新しい内容に更新されます。

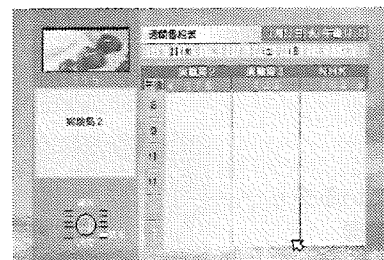
週間番組表を消すには

週間番組表ボタンを押してください。

番組表から選ぶ（つづき）

1 週間番組表ボタンを押して、週間番組表を表示させる。

2 日付＋／－ボタンを押して、放送日を選ぶ。

選んだ日付の番組が表示されます。

3 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、番組を選ぶ。

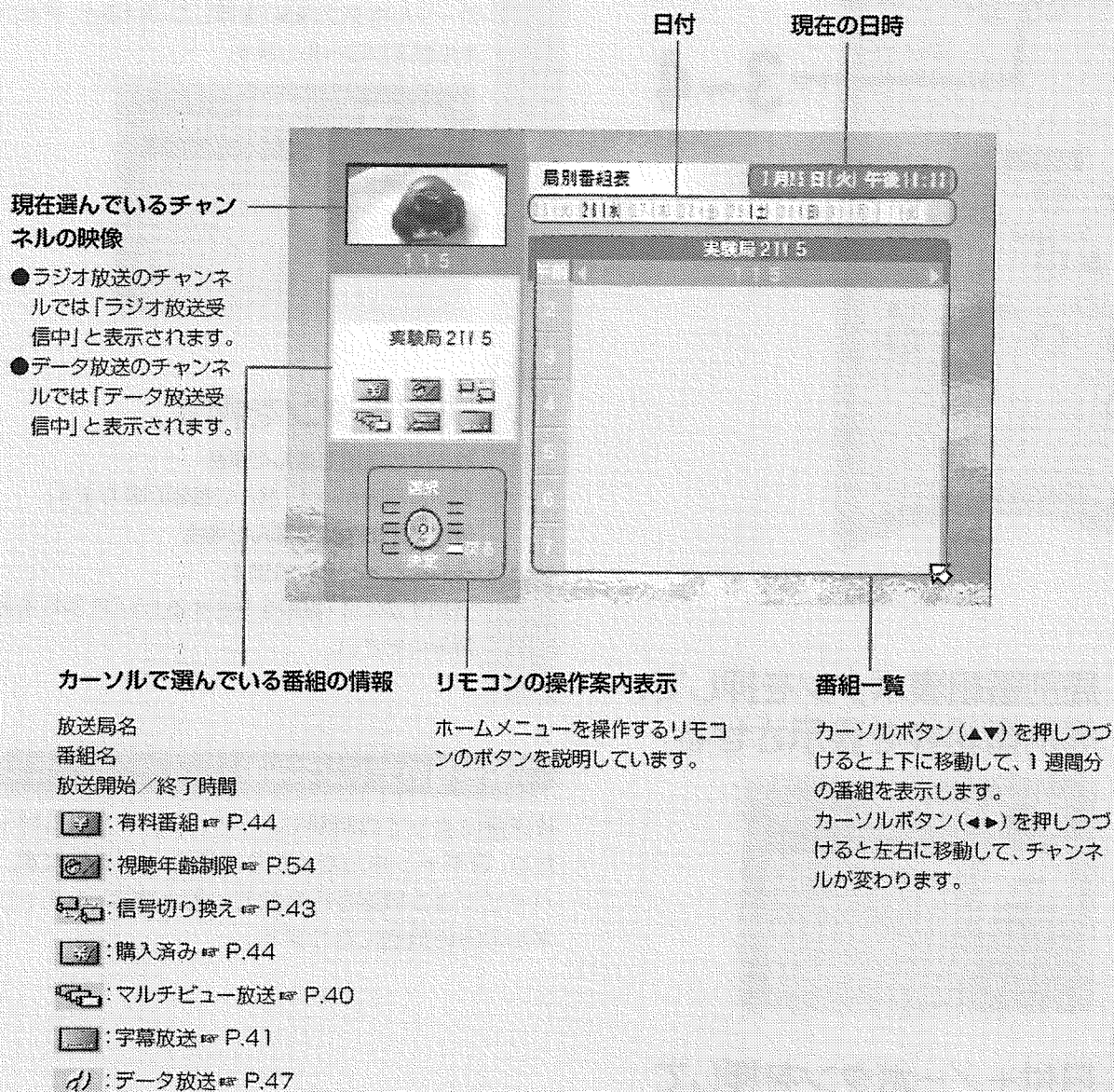
選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。
カーソルボタン（◀ ▶）を押しつづけると、チャンネルがスクロールします。
カーソルボタン（▼▲）を押しつづけると、放送時間がスクロールします。

4 決定ボタンを押す。

放送中の番組を選んだ場合
週間番組表が消え、選んだ番組が映ります。

放送予定の番組を選んだ場合
予約画面が表示されます。
予約するには「番組を予約する」（☞ P.34）をお読みください。

● 電源プラグをコンセントに差し込んで、すぐに「週間番組表」を表示させると、番組表示できないことがあります。これは本機に情報がまだ取り込まれていないためで、故障ではありません。数分程度たってから再び操作をしてください。

局別番組表から選ぶ

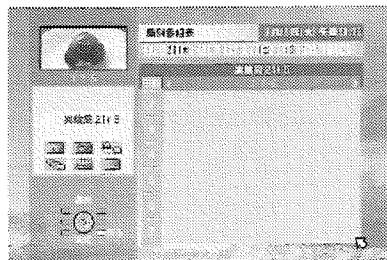
現在見ている放送局の1週間先までの番組を表示できます。
（1度に表示できるのは6時間分です。）

番組情報の自動更新

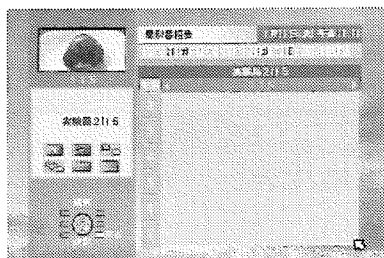
約1分ごとに新しい内容に更新されます。

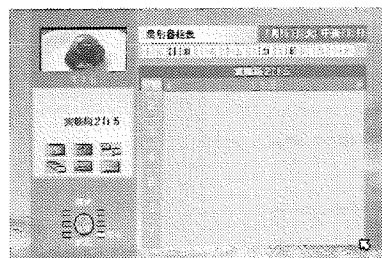
局別番組表を消すには

局別番組表ボタンを押してください。

番組表から選ぶ（つづき）

1 局別番組表ボタンを押して、局別番組表を表示させる。

2 日付+／−ボタンを押して放送日を選ぶ。

選んだ日付の番組が表示されます。

3 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、番組を選ぶ。

選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。
カーソルボタン(▼▲)を押しつづけると、放送時間がスクロールします。
カーソルボタン(◀ ▶)を押しつづけると、チャンネルがスクロールします。

4 決定ボタンを押す。

放送中の番組を選んだ場合
局別番組表が消え、選んだ番組が映ります。

放送予定の番組を選んだ場合
予約画面が表示されます。
予約するには「番組を予約する」(☞ P.34) をお読みください。

1放送局のチャンネル数

放送局によっては時間によって、1 チャンネルだったり、3 チャンネルだったりすることがあります。ハイビジョン放送が行われているときは、1 チャンネルのみの放送になります。

● 電源プラグをコンセントに差し込んで、すぐに「局別番組表」を表示させると、番組表示できないことがあります。これは本機に情報がまだ取り込まれていないためで、故障ではありません。数分程度たってから再び操作をしてください。

いろいろな番組のさがしかた／選びかた

これからの番組を知りたい－「クイック番組表」

放送中の番組とこれから放送される２番組を確認できます。
また、カーソルボタン（◀ ▶）を押すと、他のチャンネルの放送中の番組を含めた２番組が確認できます。

クイック番組表を消すには

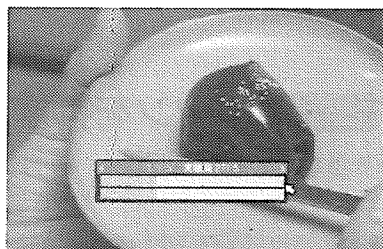
クイック番組表ボタンを押してください。

番組情報の自動更新

約３分ごとに新しい内容に更新されます。

1 クイック番組表ボタンを押して、クイック番組表を出す。

2 （他のチャンネルを見るときは）カーソルボタン（◀ ▶）を押して、チャンネルを表示させる。

選んだチャンネルの情報が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して番組を選び、決定ボタンを押す。

放送中の番組を選んだ場合

クイック番組表が消え、選んだ番組が映ります。

放送予定の番組を選んだ場合

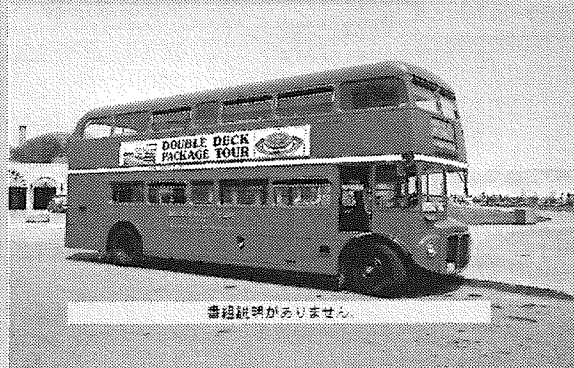
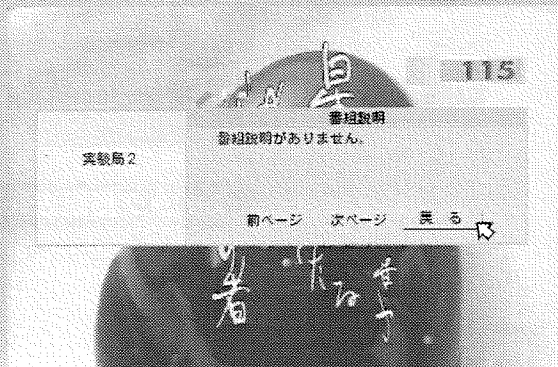
予約画面が表示されます。

予約するには「番組を予約する」☞ P.34をお読みください。

クイック番組表は次のときは使用できません。

データ放送を見ているとき（テレビの連動時も含む）
ラジオ番組を聞いているとき

番組の内容を知りたい－「番組説明」

番組の簡単な説明を確認することができます。
現在見ている番組はもちろん、番組表で選んだ番組の説明も見ることができます。
現在見ている番組の場合は、テレビを見ながら番組説明が読めるように1行表示が選べます。

1行表示　　一覧表示

放送中の番組の説明を見るには

●番組によっては説明が用意されていない場合があります。

1 番組説明ボタンを押す。

1行表示のときは、説明文がスクロールして全文を表示します。

2 番組説明ボタンを押す。

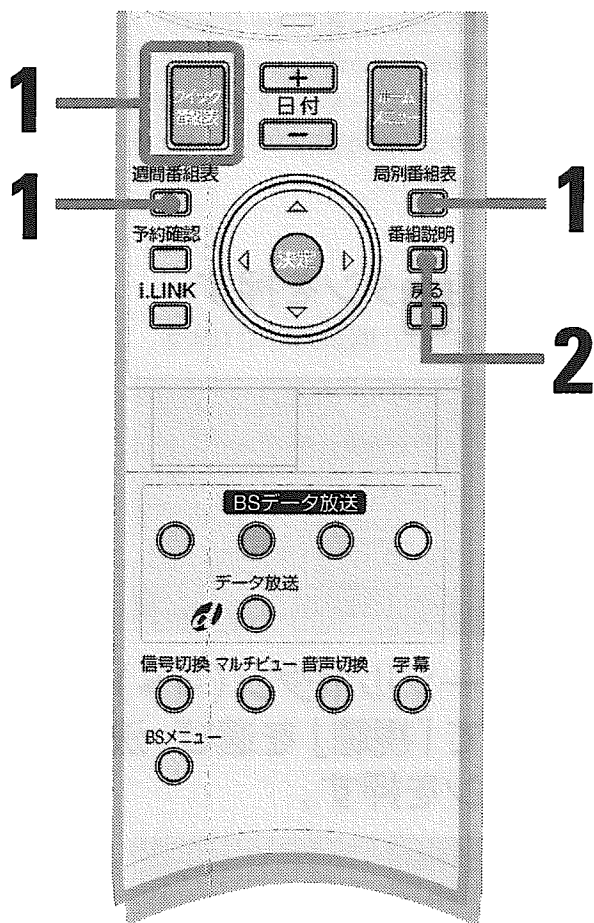
一覧表示されます。

番組説明の表示を消すには

戻るボタンを押します。

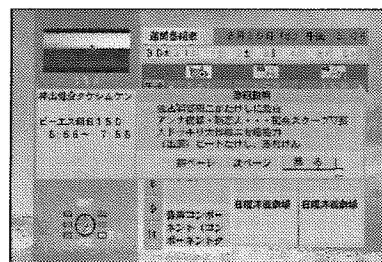
一覧表示で説明の続きを見るには

番組説明が表示しきれない場合は、カーソルボタン(◀ ▶)を押して「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと続きの説明が表示されます。前の説明に戻るときは「前ページ」を選んで、決定ボタンを押します。

放送予定の番組の説明を見るには

1 番組表を表示して、放送予定の番組を選ぶ。

「週間番組表から選ぶ」(☞ P.27)
「局別番組表から選ぶ」(☞ P.29)
「これからの番組を知りたいークイック番組表」(☞ P.31)

2 番組説明ボタンを押す。

選んだ番組の番組説明画面が表示されます。

番組説明の表示を消すには

番組説明ボタンを押します。

一覧表示で説明の続きを見るには

番組説明が表示しきれない場合は、カーソルボタン(◀▶)を押して「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと続きの説明が表示されます。前の説明に戻るときは「前ページ」を選んで、決定ボタンを押します。

いろいろな番組のさがしかた／選びかた

番組を予約する

予約には視聴予約と録画予約があります。

視聴予約 見たいと思った番組を見逃したくないときに利用します。

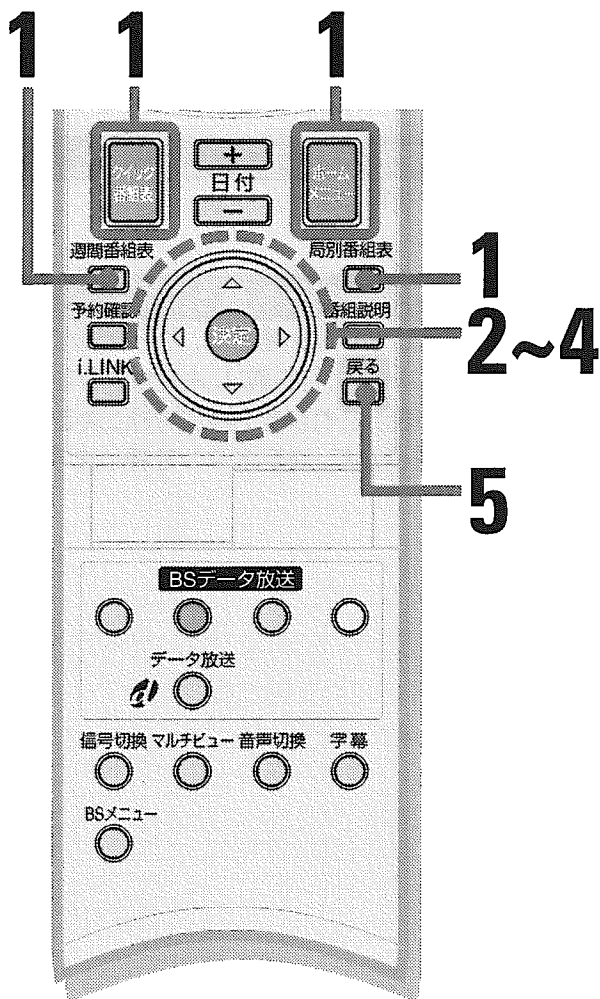
録画予約 番組をビデオで録画したいときに利用します。

予約できる番組の数は

視聴予約の最大10番組と、録画予約の最大10番組を合わせて20番組までです。

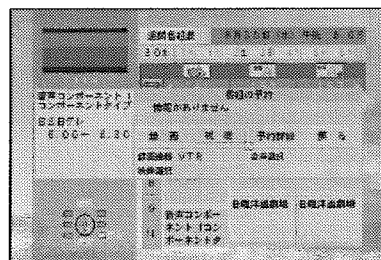
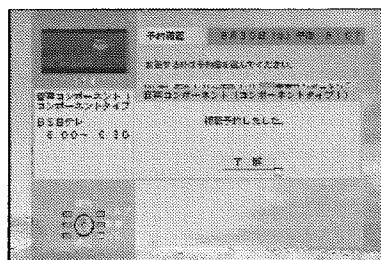
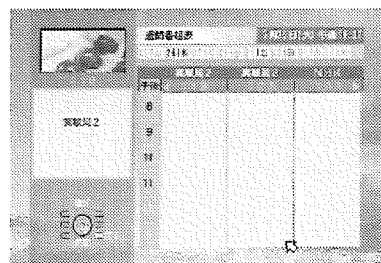
予約できる期間は

番組表に表示される1週間先まで可能です。

見たい番組を忘れないために－「視聴予約」

1 番組表を表示させて、放送予定の番組を選ぶ。

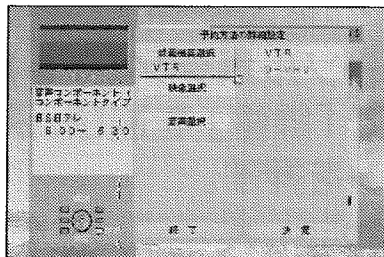
「週間番組表から選ぶ」(☞ P.27)
「局別番組表から選ぶ」(☞ P.29)
「ホームメニューを利用する」(☞ P.20)
「これからの番組を知りたい－クイック番組表」(☞ P.31)

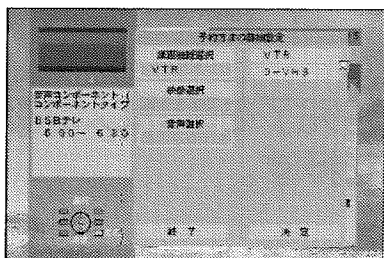
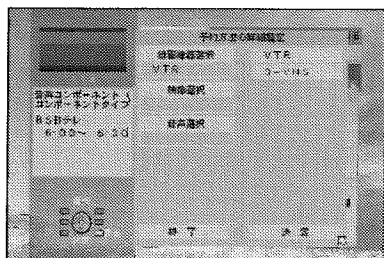
2 決定ボタンを押す。

「番組の予約」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「視聴」を選び、決定ボタンを押す。

4 予約完了を確認し、決定ボタンを押す。

5 戻るボタンを押して、番組表を消す。

予約時に映像や音声などを選びたいときは

番組の予約画面の下の部分に選ぶことができる項目と、現在の設定が表示されています。この設定を変更したいときに下記の手順で設定をおこないます。

1 **34ページの手順3で「予約詳細」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **カーソルボタン（▲▼）で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

文字が灰色の項目は選べません。

3 **カーソルボタン（▲▼）で選びたい映像や音声・字幕の番号を選び、決定ボタンを押す。**

4 **カーソルボタン（▲▼）で「決定」を選び、決定ボタンを押す。**

他の項目を設定するときは手順2～4をくり返す。

5 **カーソルボタン（▲▼）を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す。**

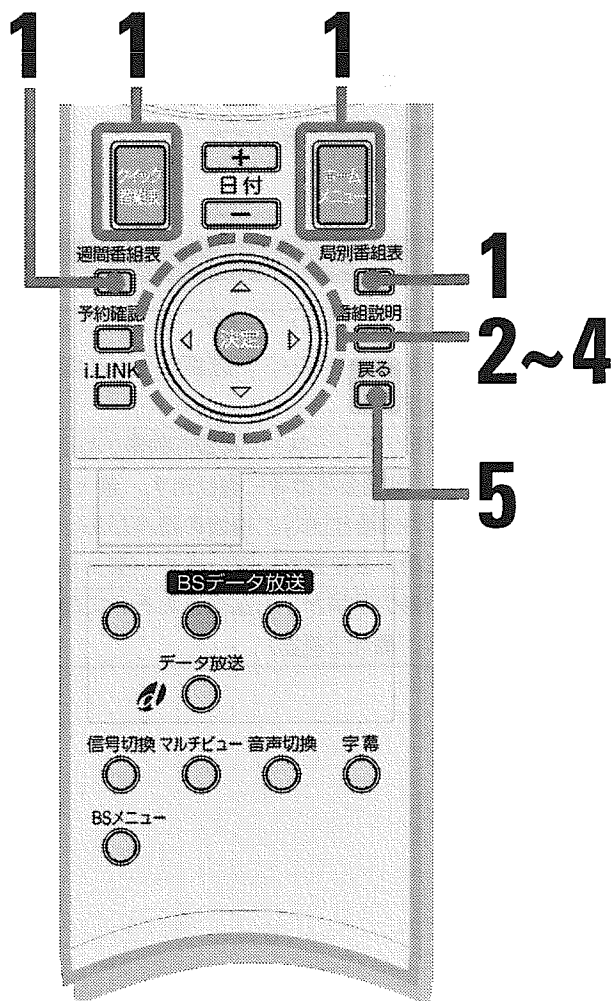
「番組の予約」画面に戻ります。

予約詳細の項目説明

録画機器選択	：録画予約時にビデオデッキ（VTR）で録画するかD-VHSで録画するかを指定します。
映像選択	：マルチビューなどの複数の映像があるときに、映像名を参考に選びます。（最大4つ）
音声選択	：2カ国語放送など複数の音声があるときに音声名を参考に選びます。（最大8つ）
字幕選択	：字幕の言語が2カ国語あるときに選びます。（最大2言語）

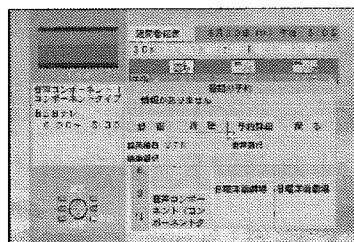
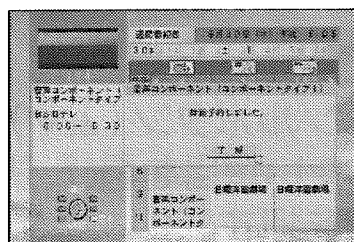
番組を予約する（つづき）

ビデオに録画するー「録画予約」

番組によっては録画が禁止されているものや、有料のものがあります。
有料番組を録画予約するときは「有料番組を見る」(☞ P.44) もあわせてご覧ください。

1 番組表を表示させて、放送予定の番組を選ぶ。

「週間番組表から選ぶ」(☞ P.27)
「局別番組表から選ぶ」(☞ P.29)
「ホームメニューを利用する」(☞ P.20)
「これからの番組を知りたいークイック番組表」(☞ P.31)

2 決定ボタンを押す。

「番組の予約」画面が表示されます。
録画が禁止されている場合は「録画」が薄く表示され、選べないようになっています。
有料番組の場合は「録画」の右側に料金が表示されます。

3 カーソルボタン（◄ ►）を押して「録画」を選び、決定ボタンを押す。

「予約詳細」の設定項目が表示されます。

4 予約完了を確認し、決定ボタンを押す。

5 戻るボタンを押して番組表を消す。

途中で予約を中止するには

戻るボタンを押してください。

録画予約実行中は

●録画予約した番組の放送開始30秒前から、誤動作を防ぐため、電源ボタン以外の操作はできなくなります。電源ボタンを押すと、誤動作防止が解除され、操作できるようになります。その場合予約は解除されます。

●B-CAS(ビーキャス)カード挿入口のふたを開け閉めしたり、B-CAS(ビーキャス)カードを抜き差しした場合は予約が解除されます。

録画禁止番組のときは

前ページの手順2の画面で「録画」が薄く表示され、選べません。有料番組の場合購入しても録画できませんので、ご注意ください。

録画有料番組のときは

番組によっては、録画が有料(視聴の料金とは別)のものがあります。前ページの手順2の画面に料金が表示されますので、ご注意ください。

録画予約したあとは

正しく予約できているか予約確認をしてください
(予約を取り消す／変更するには☞ P.38)
ビデオデッキで録画の準備をします。
ビデオリモートコントローラーが接続されていることを確認してください。(☞ P.67)

1 ビデオカセットをビデオデッキに挿入する。

録画してもよいビデオカセットであることを確認してください。また、必要に応じてビデオカセットの録画開始場所を決めてください。

2 ビデオデッキの入力切換を操作して本機を接続した入力を選ぶ。

3 **ビデオデッキの電源を切る。**

連続した番組を録画予約したときは

次の番組の番組開始予定時刻より1秒前に切り換わります。

次の場合は録画できません

●ビデオデッキの電源が入ったままのとき
●ビデオデッキでタイマー録画が「入」になっているとき

本機で録画予約したときは、ビデオデッキで録画予約(タイマー予約)をする必要はありません。

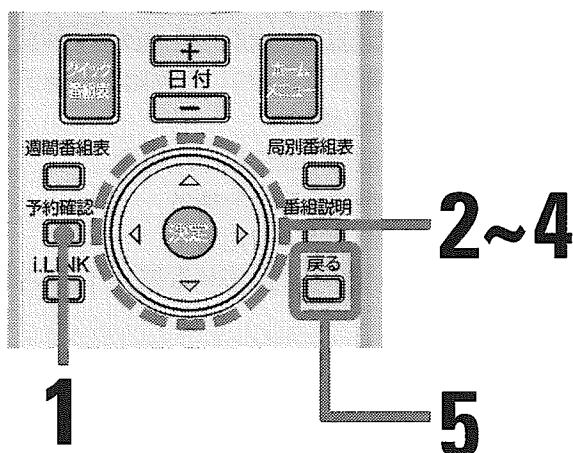
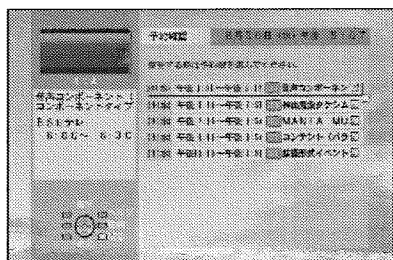
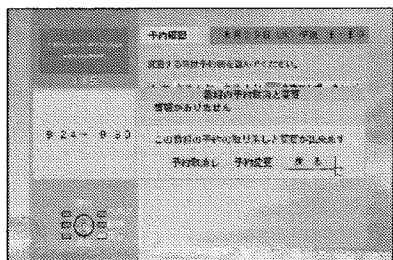
次の場合には予約は実行されません

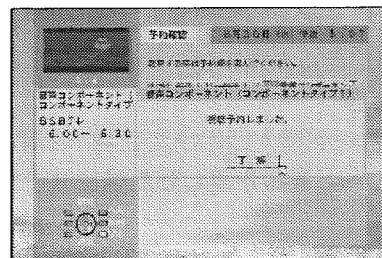
●天候や放送局の都合で、予約した番組の実施データが送られて来ない場合
●予約した番組が放送中止になった場合
●予約実行直前に停電になった場合
●予約番組の開始時刻が遅れた場合
(「番組予約方式の設定」が「予約取消」に設定されているとき)
●予約番組の開始時刻が3時間以上遅れた場合
(「番組予約方式の設定」が「予約追従」に設定されているとき)
●有料番組を予約した場合、予約実行時にB-CAS(ビーキャス)カードが挿入されていなかった場合またはB-CAS(ビーキャス)カード挿入口のふたがあいていた場合

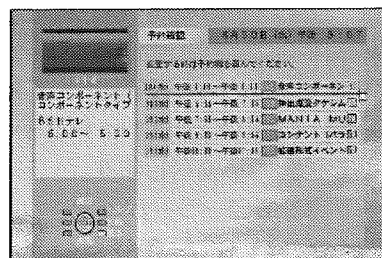
予約が実行できなかった場合は、メールでその旨をお知らせします。

番組を予約する（つづき）

予約を取り消す／変更するには

予約を取り消したり、視聴予約を録画予約に変更したり、録画予約を視聴予約に変更したり、予約詳細の内容を変更したりできます。

1 予約確認ボタンを押して、「予約確認」画面を出す。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して取消し／変更したい番組を選び、決定ボタンを押す。

「番組の予約取消と変更」画面が表示されます。

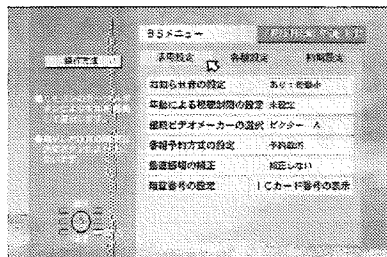
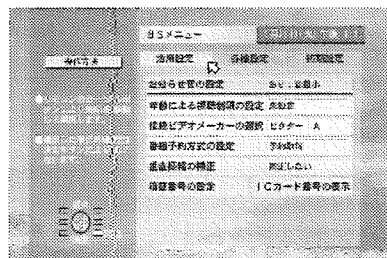
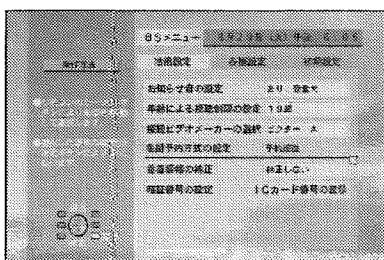
3 カーソルボタン（◄ ►）を押して「予約の取り消し」または「予約の変更」を選び、決定ボタンを押す。

「予約の変更」を選んだときは「番組の予約」画面が表示されます。視聴予約、録画予約の手順に従って予約内容を変更してください。
（☞ P.34、P.36）
「予約を取り消す」を選んだときは手順4に進んでください。

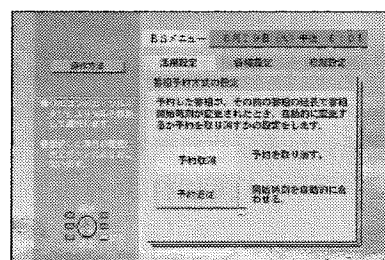
4 カーソルボタン（◄ ►）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

予約の取り消しをやめて、予約を変更する場合は「いいえ」を選び、手順1に戻ってください。

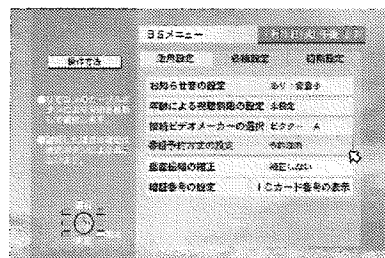
5 戻るボタンを押して、終了する。

予約番組の開始時刻の変更を自動的に合わせるには

予約している前の番組の放送時間が延長になるなど、予約してある番組の放送開始時刻が繰り下がることがあります。そのような場合に予約開始の時刻も自動的に合わせるかどうかの設定をします。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 決定ボタンを押す。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「番組予約方式の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して、「予約追従」を選び、決定ボタンを押す。

放送時間の変更に合わせずに取り消す場合は、「予約取消」を選んでください。

5 決定ボタンを押す。

「活用設定」画面に戻ります。

6 BSメニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意

- 「予約追従」機能に対応していない番組やチャンネルもありますので、ご注意ください。
- 「予約追従」機能で自動的に予約の時刻をあわせることができるのは、最大３時間までです。
- 手順4で「予約取消」を選ぶと、放送時間が繰り下がったときは、予約が取り消されますので、ご注意ください。

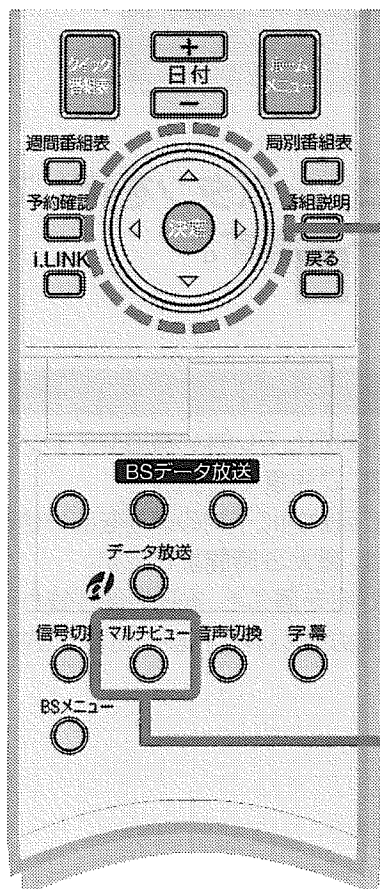
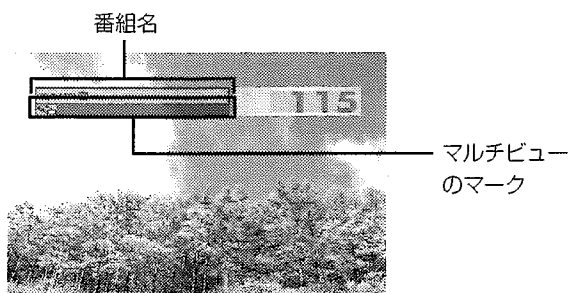
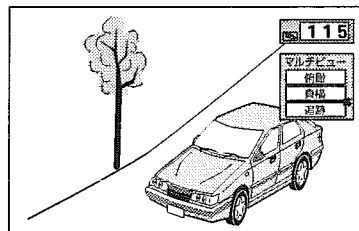
本機を使いこなす

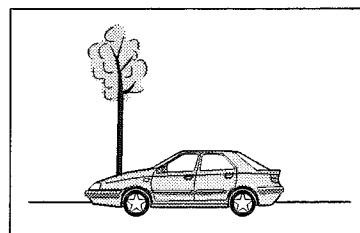
好みのカメラの絵を楽しむ－「マルチビュー」

マルチビュー放送とは、主となる映像の他に、副映像のある番組のことです。

マルチビュー放送かどうかを確認するには

●放送中の番組は、画面表示ボタンを押して、画面表示を出してください。番組名の下にマルチビューのマークが表示されていれば、マルチビュー放送です。

●放送予定の番組は、週間番組表を表示してカーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶと、左側に番組の詳細情報が表示されます。マルチビューのマークが表示されていれば、マルチビュー放送です。

1 マルチビュー放送を見ているときに、マルチビューボタンを押す。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して映像を選び、決定ボタンを押す。

選んだ映像に切り換わります。

副映像が有料のときは

副映像が有料であることがあります。その場合には画面の指示に従って、副映像を購入してください。

主映像に戻すには

手順２で「主映像」を選んでください。

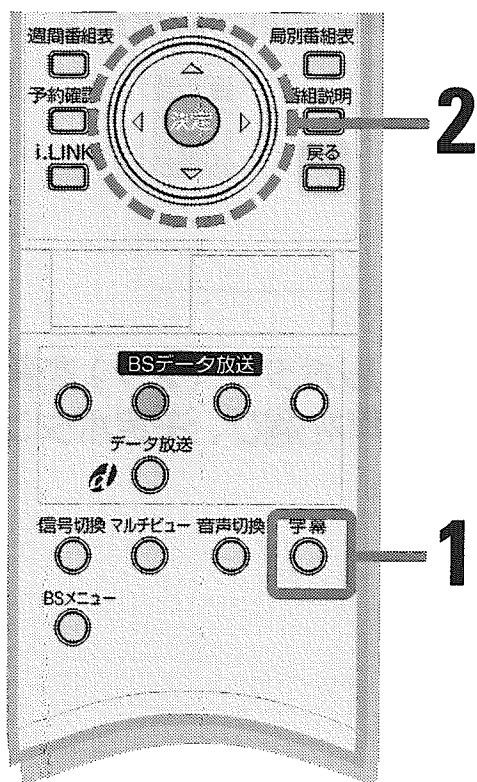
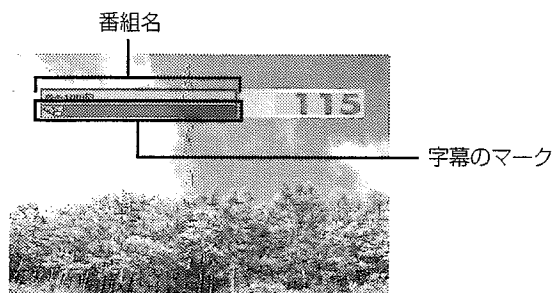
本機を使いこなす

字幕／文字スーパーを見る

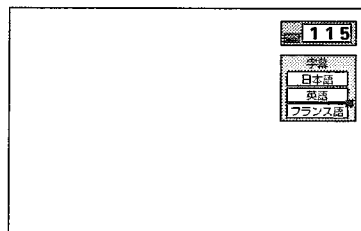
映画の字幕などのように、番組によっては字幕や文字スーパーがあるものがあります。

字幕：　映像や音声と関連のある情報
文字スーパー：映像や音声と関連のない情報

番組に字幕があるかどうかを確認するには

●放送中の番組は、画面表示ボタンを押して、画面表示を出してください。番組名の下に字幕のマーク が表示されていれば、字幕のある番組です。
●放送予定の番組は、週間番組表を表示してカーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶと、左側に番組の詳細情報が表示されます。字幕のマーク が表示されていれば、字幕のある番組です。

字幕を見るには

1　字幕のある番組を見ているときに、字幕ボタンを押す。

字幕放送が行われていないときには、表示や操作ができません。

2　カーソルボタン（▲▼）を押して「日本語」または「第2言語」などを選び、決定ボタンを押す。

番組によっては表示が異なることがあります。

字幕を消すには

1　字幕ボタンを押す。
2　カーソルボタン（▲▼）を押して「字幕なし」を選び、決定ボタンを押す。

文字スーパーを見るには

文字スーパーは、文字スーパーのある番組のときは常に表示されるように設定されています。
（お買い上げ時の設定）

文字スーパーの設定を変えるには

1　BSメニューボタンを押して、メニューを出す。
2　カーソルボタン（◀▶）を押して「各種設定」を選ぶ。
3　カーソルボタン（▲▼）を押して「文字スーパーの設定」を選び、決定ボタンを押す。
4　カーソルボタン（▲▼）を押して「日本語で表示」、「外国語で表示（英語など）」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す。
5　BSメニューボタンを押して、終了する。

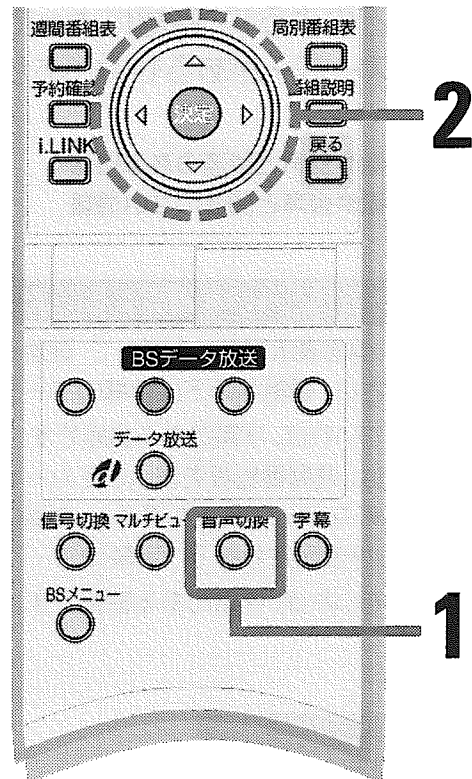
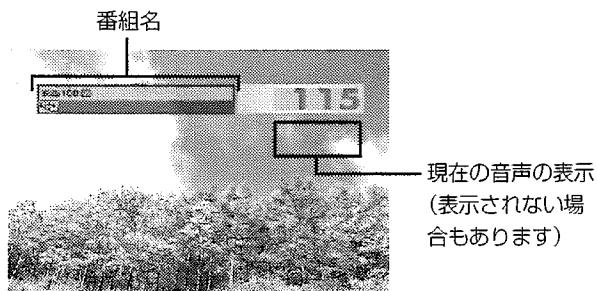
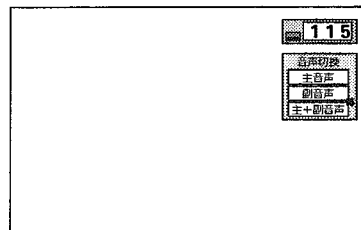
本機を使いこなす

音声を切り換える

映画の英語と日本語（吹替え）などのように、番組によっては複数の音声信号が送られているものがあります。

音声多重放送： 二か国語放送など、主音声と副音声があります。
ステレオ放送： ステレオまたはサラウンド音声（切り換えはできません）

番組に複数の音声があるかどうかを確認するには

●放送中の番組は、画面表示ボタンを押して、画面表示を出してください。番組名の下に音声多重のマークが表示されていれば、音声が切り換えられる番組です。
●放送予定の番組は、週間番組表を表示してカーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して番組を選ぶと、左側に番組の詳細情報が表示されます。番組名の下に音声多重のマークが表示されていれば、音声が切り換えられる番組です。

1 音声多重放送を見ているときに、音声切換ボタンを押す。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して音声を選び、決定ボタンを押す。

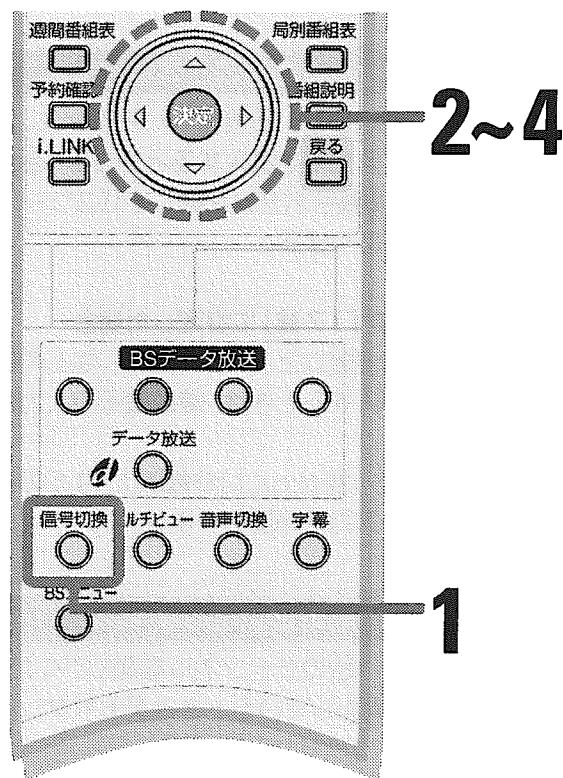
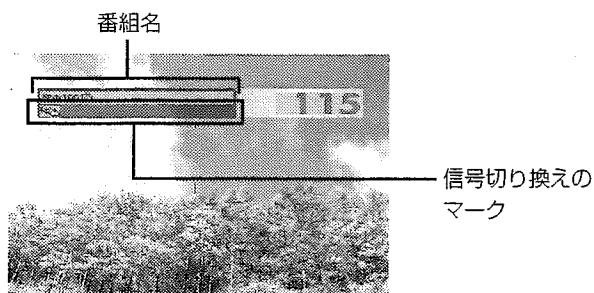
本機を使いこなす

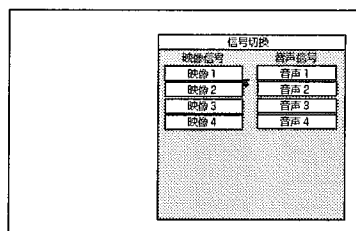
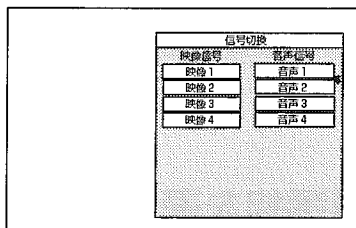
信号を切り換える

1つのチャンネルで複数の映像／音声信号が送られている場合があります。

信号切り換え：　番組には関連のない副映像や音声のある放送
マルチビュー放送：番組に関連した副映像や音声のある放送（☞ P.40）

信号切り換えができるかどうかを確認するには

●放送中の番組は、画面表示ボタンを押して、画面表示を出してください。番組名の下に信号切り換えのマークが表示されていれば、信号が切り換えられる番組です。
●放送予定の番組は、週間番組表を表示してカーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して番組を選ぶと、左側に番組の詳細情報が表示されます。番組名の下に信号切り換えのマークが表示されていれば、信号が切り換えられる番組です。

1 信号切り換えのできる番組を見ているときに、信号切換ボタンを押す。

2 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して映像信号を選び、決定ボタンを押す。

3 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して音声信号を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す。

信号が有料のときは

信号が有料であることがあります。その場合には画面の指示に従って、信号を購入してください。

主映像／主音声に戻すには

手順２で「主映像」を選び、手順３で「主音声」を選んでください。

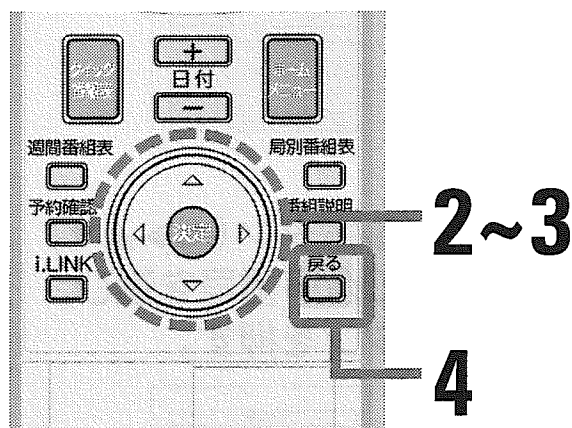
本機を使いこなす

有料番組を見る

番組を見るごとに料金のかかるものもあります（ペイ・パー・ビュー）。
現在放送されているペイ・パー・ビューの有料番組を選んだ時や、番組表などで放送予定のペイ・パー・ビューの有料番組を選んだ時に、その番組を購入するかどうかを決める画面が表示されます。

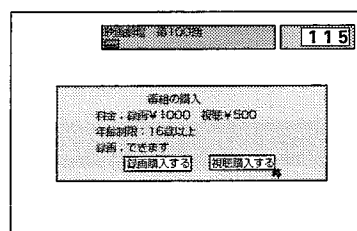
ペイ・パー・ビューをご覧になるには、電話線に接続している必要があります。「電話線に接続する」（☞ P.66）

ご注意

放送中の番組では番組終了時間に近くなると、番組を購入できないことがあります。

1 有料番組を選ぶ。

数字ボタンやマイチャンネルボタンで選ぶ「テレビ放送を楽しむ」（☞ P.16）
「週間番組表から選ぶ」（☞ P.27）
「局別番組表から選ぶ」（☞ P.29）
「ホームメニューを利用する」（☞ P.20）
「これからの番組を知りたい－クイック番組表」（☞ P.31）

現在放送中の番組を購入するときは、手順4の操作が終わるまで映像・音声は出ません。
番組によってはプレビュー（番組の内容を確認するための短時間の放送）が見られる場合があります。

2 料金、録画可能かどうかなどを確認してから、決定ボタンを押す。

番組購入のための画面が表示されます。

3 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「視聴購入」または「録画購入」を選び、決定ボタンを押す。

4 番組表やホームメニューから番組を選んだときは、戻るボタンを押して、番組表などを消す。

視聴年齢制限のある番組のときは

視聴年齢制限を設定している場合（☞ P.54）に、設定した年齢を超える番組を購入するときには、手順1の後でチャンネル数字ボタンを押してパスワードを入力する必要があります。

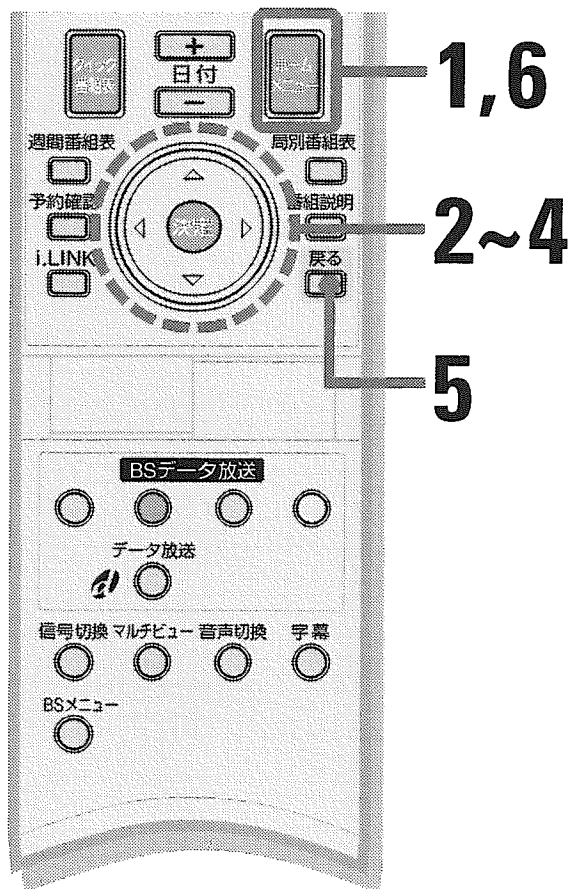
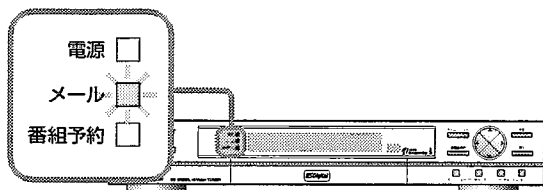
例）視聴年齢制限を「17歳」に設定した場合

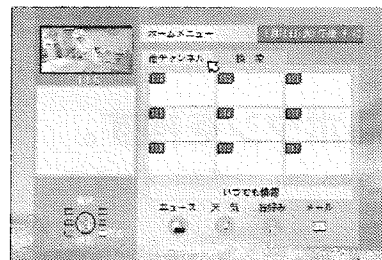
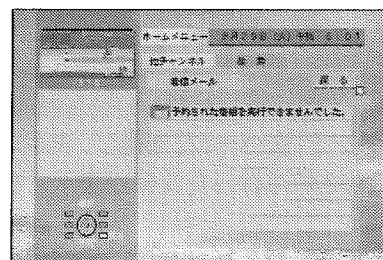
視聴年齢制限が「18歳以上」、「19歳以上」などの制限のある番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要です。
視聴年齢制限が「17歳以上」、「16歳以上」などの番組では暗証番号の入力は必要ありません。

番組購入を途中で中止するには

現在放送中のときは別のチャンネルを選んでください。番組表から操作しているときは戻るボタンを押してください。

放送局からの情報を見る－「メール」

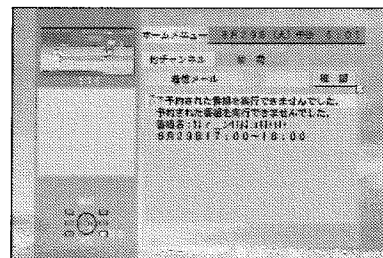
メールは、放送局から送られてくる個人あての情報と本機が予約ができなかったときなどのメッセージの２種類があります。
重要なお知らせが含まれていますので、必ずお読みください。
メールは10通まで保管でき、10通を超えたときは古いものから消去されます。
新しいメールを受信していると、本体のメールランプが点灯します。

メールを見るには

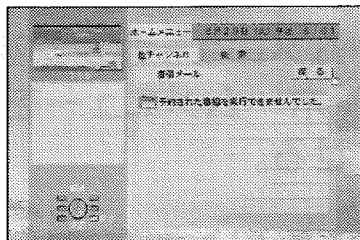
1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して「メール」を選び、決定ボタンを押す。

：まだ読んでいないメール

：すでに読んだメール

3 カーソルボタン（▲▼）を押して読みたいメールを選び、決定ボタンを押す。

メールは8通まで表示されます。9通以上のメールがあるときはカーソルボタン（▲▼）を押し続けると表示されます。

放送局からの情報を見る－「メール」（つづき）

4 決定ボタンを押す。

メール一覧の画面に戻ります。

5 戻るボタンを押す。

「ホームメニュー」画面に戻ります。

6 ホームメニューボタンを押して、終了する。

未読のメールが無くなると、本体のメールランプが消えます。

表示しきれなかったメールを読むには

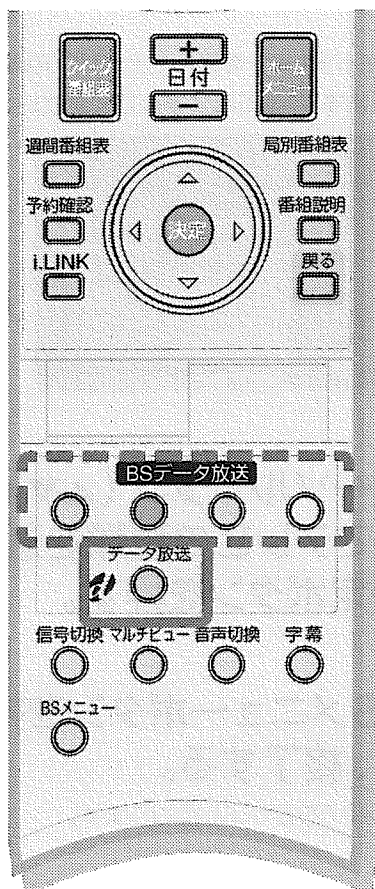
カーソルボタンで「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと、表示しきれなかった文章が表示されます。

●メールを任意に消去することはできません。

データ放送を楽しむ

データ放送には、テレビやラジオ番組に関連した「連動型」と、テレビ、ラジオの番組と関連のない「独立型」の２種類があります。ラジオ番組に連動したデータ放送と「独立型」のデータ放送は、チャンネルを選ぶことで見ることができます。「連動型」のデータ放送は、チャンネルの画面表示の横にデータ放送のマーク が表示されているときにデータ放送ボタンを押すと見ることができます。データ放送のサービス内容は各放送局や番組によって異なります。

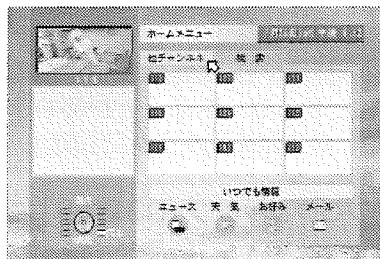
データ放送の特長

●ニュース、天気予報などをいつでも見られます。
●クイズやアンケートに答えたり、ショッピングなど双方向のサービスを受けられます。（電話線の接続が必要です。）（☞ P.66）
●テレビ番組関連の情報を見られます。
例えばスポーツ中継中に選手のプロフィールや他の試合の経過などを見られます。

データ放送の操作

リモコンのカラーボタン、数字ボタン、カーソルボタン（◀▶▲▼）と決定ボタンを使って、データ放送の画面上のボタンを選んで操作をおこないます。
画面上のボタンに色がついている場合は、その色に対応するカラーボタンで選択します。カラーボタンと違う色の場合や、カラーボタンで選べない場合は、カーソルボタン（◀▶▲▼）と決定ボタンで操作します。
画面上に操作ガイドが表示されているときは、その指示にしたがって操作してください。
●操作は画面を見ながらゆっくりと行ってください。操作が速いと正しく反応しないことがあります。
●データ放送ボタンを押すと、データ放送画面が表示されるまで、「データ放送用のデータを受信しています。しばらくお待ちください」と表示されます。
●一度受信したデータは記憶していますので、再表示するときは速くできますが、チャンネルを切り換えたり、別のデータ放送に切り換えた後は表示に時間がかかります。

ホームメニューからデータ放送を見るには

データ放送はホームメニューの「いつでも情報」にチャンネルを登録しておくと、ホームメニューから簡単に見ることができます。（☞ P.20）

1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを出す。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「現在の他チャンネル」を選び、決定ボタンを押す。

3 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「ニュース」、「天気」または「お好み」を選び、決定ボタンを押す。

データ放送を終るには（データボタンを押して見ているとき）

データボタンを押してデータ放送を終ります。

いろいろな設定をする

テレビに合わせた出力設定をする

ご使用のテレビに最適な画面サイズでご覧になれるよう設定します。

テレビを本機のテレビ出力端子につないでいるとき
手順４で「普通のテレビ」または「ワイドテレビ」を選びます。「ワイドテレビ」を選んだときは、手順５ではどれを選んでもかまいません。

テレビを本機のD3/D2/D1 映像出力端子につないでいるとき
手順４で「ワイドテレビ」を選びます。手順５では下の表を見てテレビに合わせて選びます。

設定のめやす

普通のテレビ	・画面の横縦比が4：3のテレビ
ワイドテレビ	・ワイドテレビ ・ハイビジョンテレビ ・画面の横縦比が4：3のテレビで16：9の表示機能があるテレビ

ハイビジョン/プログレッシブ(D3固定)	・ハイビジョンテレビ ・ハイビジョンを映せるワイドテレビ
ベーシックワイドテレビ(D2固定)	・D2端子付ワイドテレビ ・コンポーネント映像入力端子付プログレッシブワイドテレビ
ベーシックワイドテレビ(D1)	・上記以外のD1端子またはコンポーネント映像入力端子付ワイドテレビ

テレビを本機のD3/D2/D1 映像出力端子につないでいて、映らなくなったときは

設定が正しくないと映らなくなることがあります。そのようなときは、本体の決定ボタンで設定しなおすことができます。

「ハイビジョン/プログレッシブ(D3固定)」に設定したいときは
本体の決定ボタンを押したまま、カーソルボタン(▲)を４秒以上押し続けます。

「ベーシックワイドテレビ(D1)」に設定したいときは
本体の決定ボタンを押したまま、カーソルボタン(▼)を４秒以上押し続けます。

「ベーシックワイドテレビ(D2固定)」に設定したいときは

1. D端子ケーブルをはずす。
2. 付属の映像・音声ケーブルで本機のテレビ出力につなぎなおす。
3. その後右の手順1～6を行う。
4. もう1度D端子ケーブルでつなぐ。

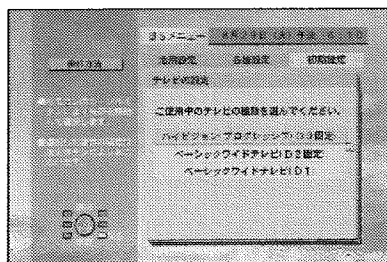
1 **BSメニューボタンを押してBSメニューを表示させる。**

2 **カーソルボタン(◀ ▶)を押して「初期設定」を選ぶ。**

3 **カーソルボタン(▲▼)を押して「テレビの設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **カーソルボタン(◀ ▶)を押して「普通のテレビ」または「ワイドテレビ」を選び、決定ボタンを押す。**

「普通のテレビ」を選んだときは手順6に進んでください。

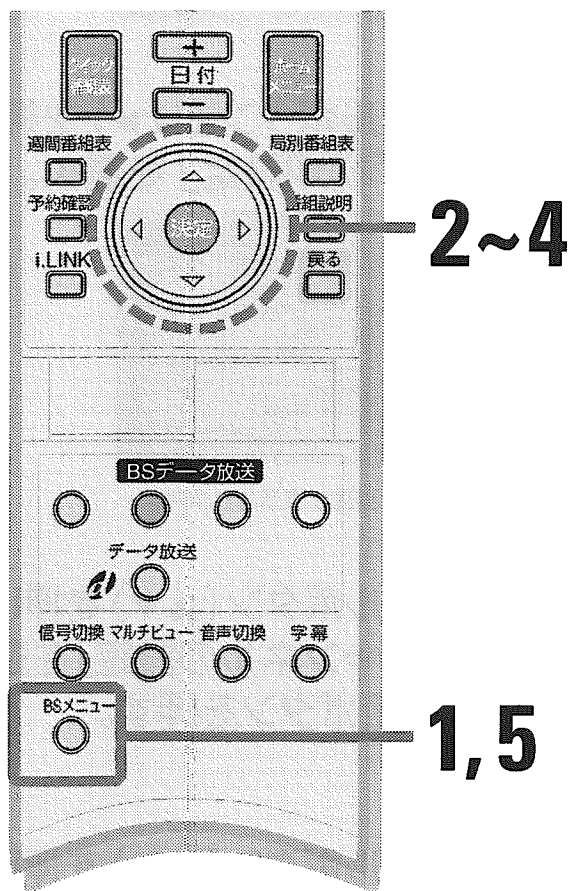
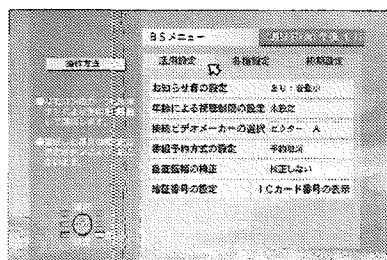
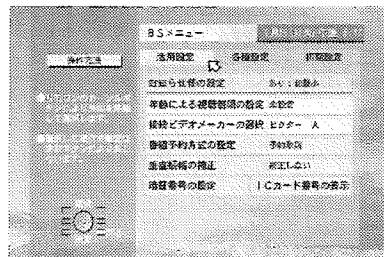
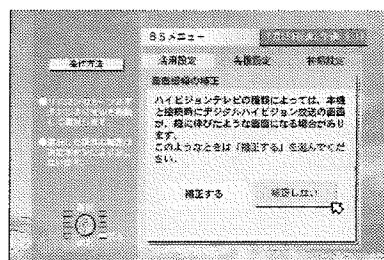
「ワイドテレビ」を選んだときは下の画面が表示されます。手順5にすすんでください。

5 **カーソルボタン(▲▼)を押してテレビの種類を選び、決定ボタンを押す。**

6 **BSメニューボタンを押して、終了する。**

テレビの設定が切り換わります。

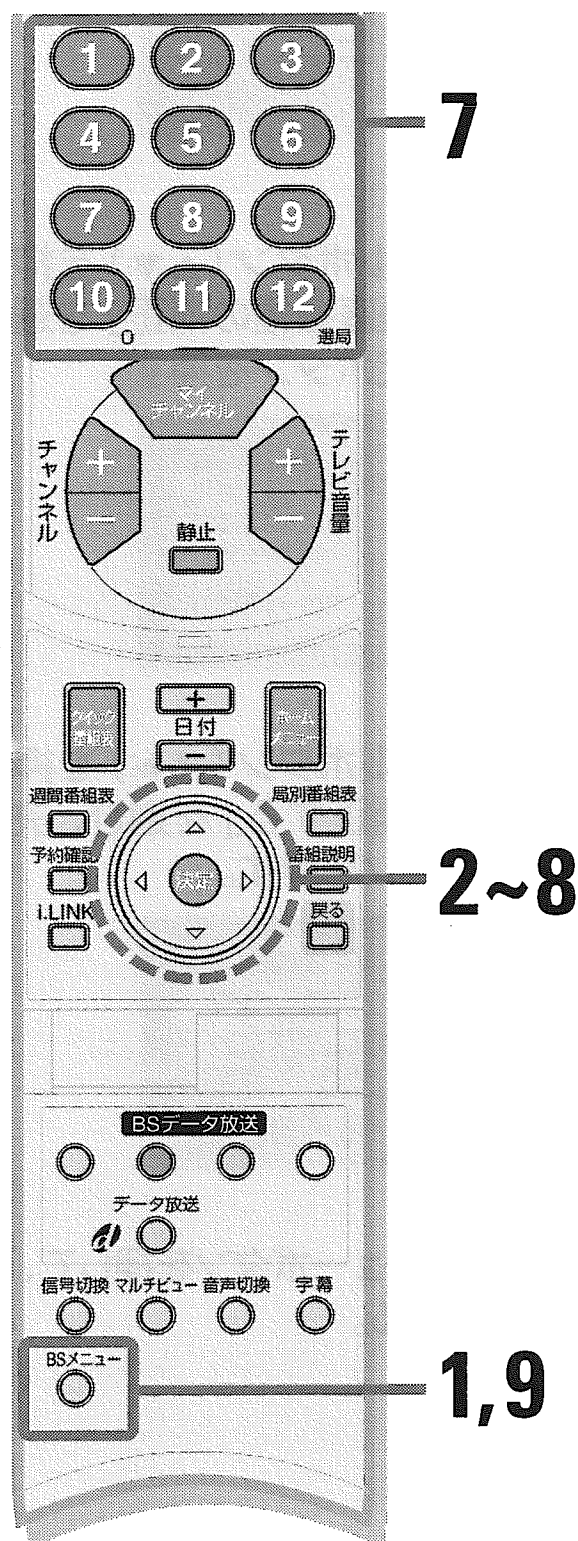
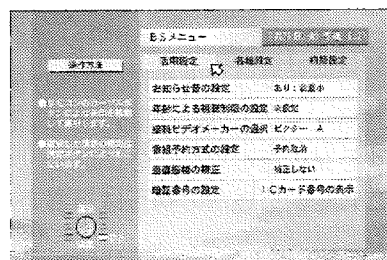
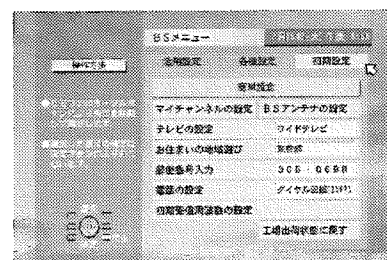
テレビの画面サイズに合わせる

ハイビジョンテレビをつないでいるときの設定

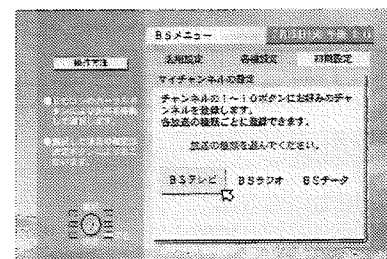
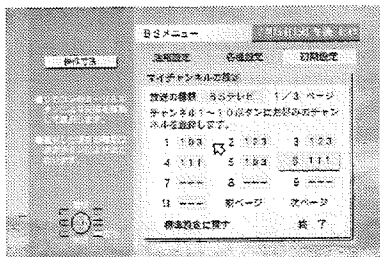
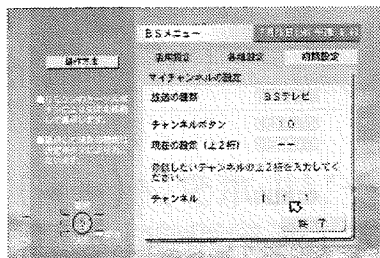
ハイビジョンテレビによっては、デジタルハイビジョンの映像信号を受けたときに、画像が少し縦伸びし、正しく表示されない場合があります。その場合には補正をする設定をしてください。
正しく表示されている場合の補正は不要です。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「活用設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「垂直振幅の補正」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「補正する」を選び、決定ボタンを押す。

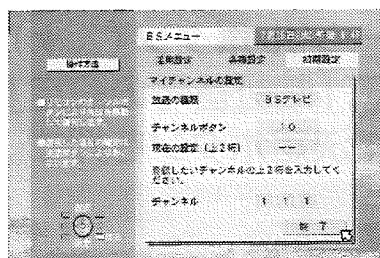
5 BSメニューボタンを押して、終了する。

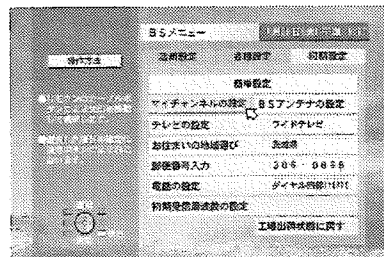
マイチャンネルを設定するには

マイチャンネルボタンとチャンネル数字ボタンで簡単にチャンネルを選べるように設定できます。
１つのチャンネル数字ボタンにテレビ、ラジオ、データ放送をそれぞれ30チャンネルずつ設定できます。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

「初期設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「チャンネルの設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して、「マイチャンネルの設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 カーソルボタン（◀ ▶）を押してチャンネルの種類（ここでは「BSテレビ」）を選び、決定ボタンを押す。

6 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して設定したい数字を選び、決定ボタンを押す。

チャンネル番号を変更する画面が表示されます。

7 チャンネル数字ボタンを押して設定したいチャンネルを入力し、決定ボタンを押す。

他のチャンネルも変更するときは手順6～7をくり返してください。

8 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す。

「初期設定」画面に戻ります。

9 BSメニューボタンを押して、終了する。

マイチャンネルをお買い上げ時の設定に戻すには

1. ☞ P.50～51の手順1～5をおこなう。
2. カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「標準設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す。
3. カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す。
4. BSメニューボタンを押して、終了する。

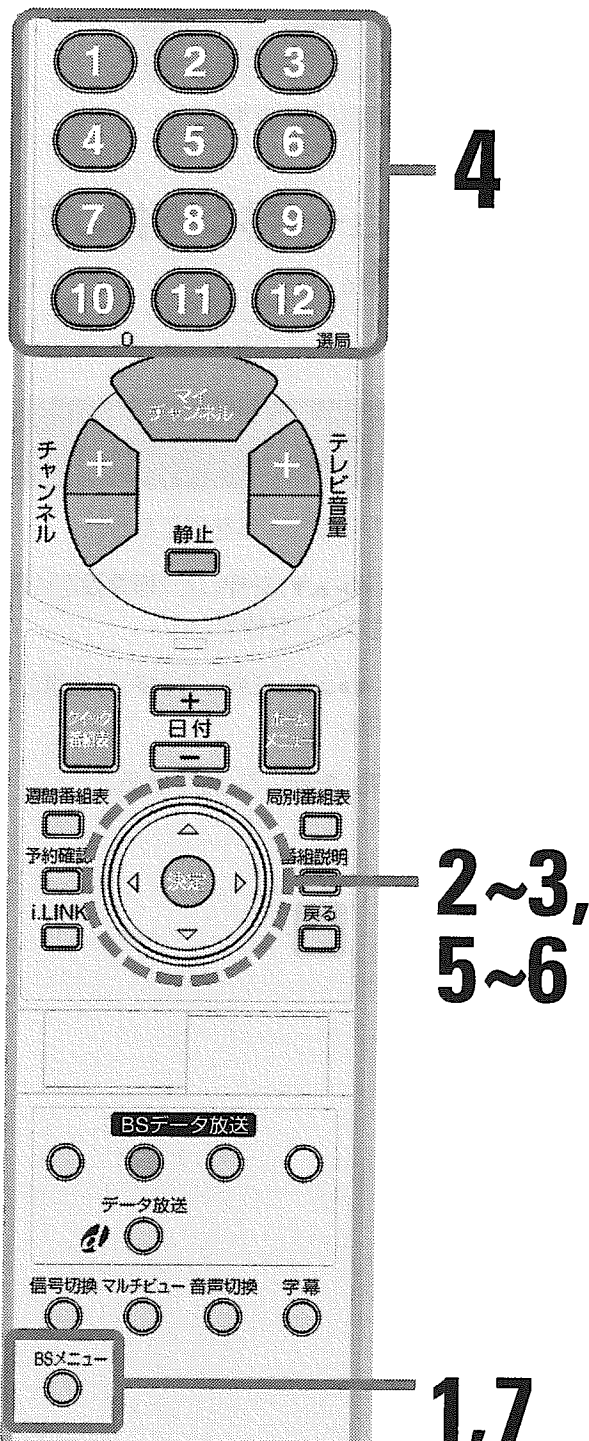
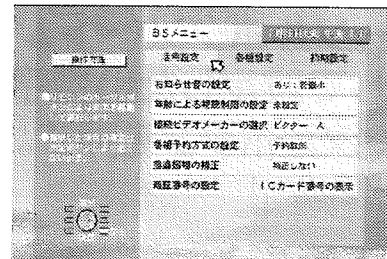
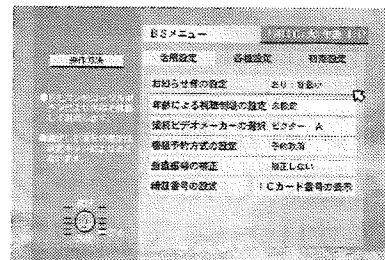
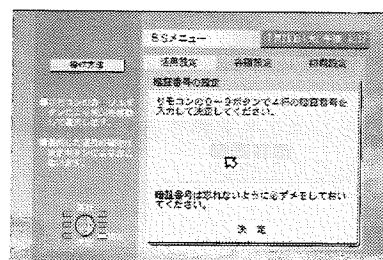
いろいろな設定をする

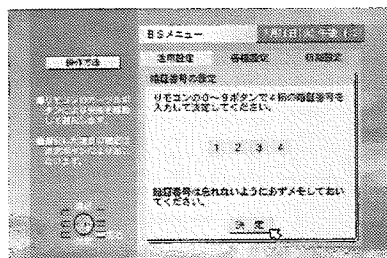
お子様が自由に見られないようにする

お子様が自由に見られないように、視聴年齢制限と暗証番号を設定することができます。
設定をすると視聴年齢制限のある番組（成人向けの番組など）を見るときには、暗証番号の入力が必要となり、暗証番号を知らない人（お子様）には見せないようにすることができます。

暗証番号を設定するには

ご注意

暗証番号を忘れると、本機だけでは再設定できません。カスタマーセンターに連絡して暗証番号を解除してもらう必要があります。暗証番号の管理には十分ご注意ください。（カスタマーセンターはB-CAS（ビーキャス）カードに書かれています。）

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「活用設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「暗証番号の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 チャンネル数字ボタンを押して暗証番号を入力する。

覚えやすい番号を決めてください。

5 決定ボタンを押す。

6 決定ボタンを押す。

「活用設定」画面に戻ります。

7 BSメニューボタンを押して、終了する。

暗証番号を変更するには

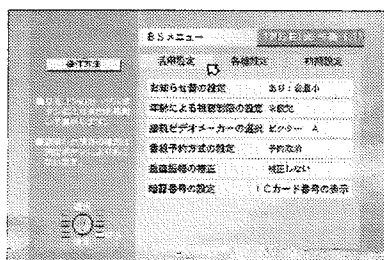
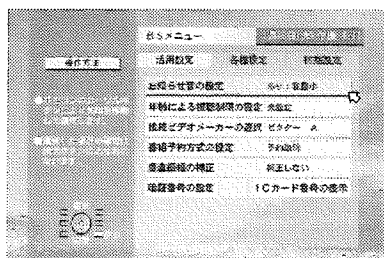
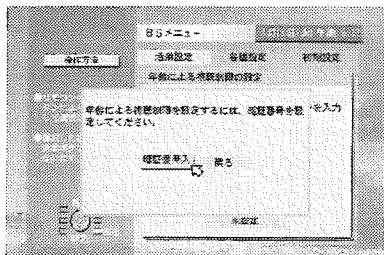
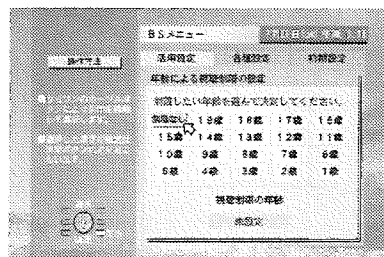
新しい暗証番号を設定するには、古い暗証番号を入力する必要があります。

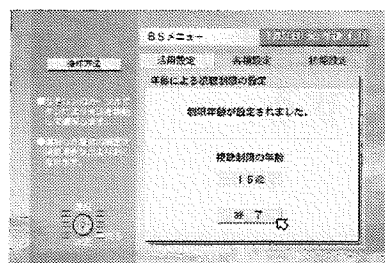
1. BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。
2. カーソルボタン（◀ ▶）を押して「活用設定」を選ぶ。
3. カーソルボタン（▲▼）を押して「暗証番号の設定」を選ぶ。
4. チャンネル数字ボタンを押して、古い暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
5. チャンネル数字ボタンを押して、新しい暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
6. 決定ボタンを押す。
7. BSメニューボタンを押して、終了する。

お子様が自由に見られないようにする（つづき）

視聴年齢制限を設定するには

あらかじめ暗証番号を設定しておいてください。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「活用設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「年齢による視聴制限の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 チャンネル数字ボタンを押して暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは、戻るボタンを押して、手順3からやり直してください。

5 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して設定したい年齢を選び、決定ボタンを押す。

確認の画面が表示されます。

6 決定ボタンを押す。

「活用設定」画面に戻ります。

7 BSメニューボタンを押して、終了する。

視聴年齢制限の設定と番組の視聴年齢制限の関係

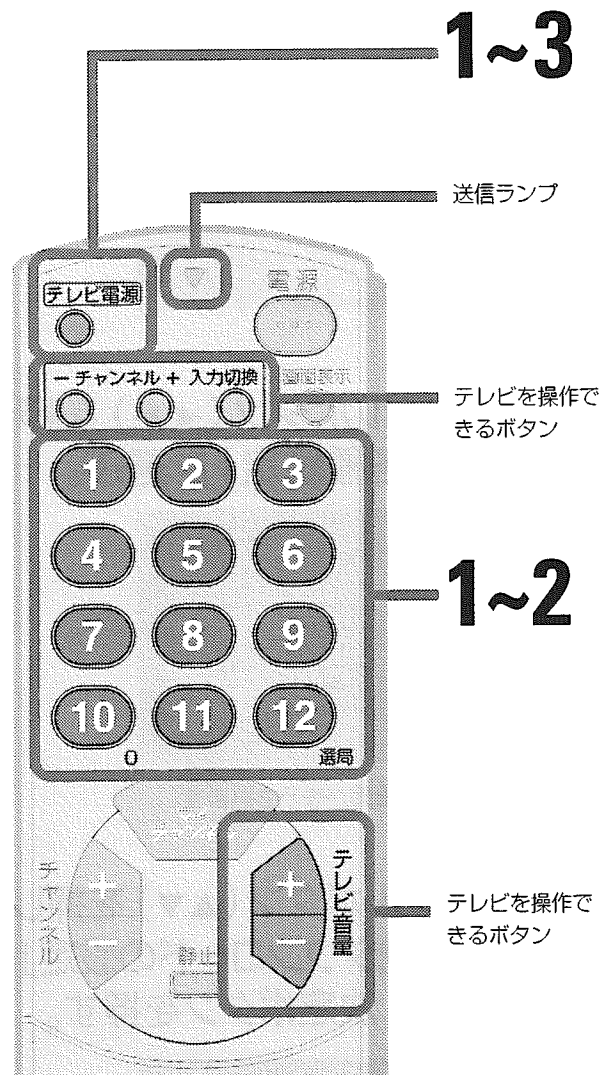
例）設定メニューで視聴年齢制限を「16歳」に設定した場合

視聴年齢制限が「17歳以上」、「18歳以上」などの制約のある番組を見るには、暗証番号の入力が必要です。

視聴年齢制限が「16歳以上」、「15歳以上」などの番組では暗証番号の入力は不要です。

いろいろな設定をする

本機のリモコンでテレビを操作する

本機に付属しているリモコンで、お手持ちのテレビを操作することができます。あらかじめメーカー設定をおこなってください。

ボタン	機能
テレビ電源	テレビの電源を入／切する
入力切換	テレビの入力を切り換える
－ チャンネル ＋	テレビのチャンネルを切り換える
テレビ音量 ＋ －	テレビの音量を調節する

テレビのメーカーを設定するには

1 テレビ電源ボタンを押したまま、メーカーに対応する数字ボタンを押す。

例）松下のテレビを使う場合

テレビ電源

押したまま を押す

または

テレビ電源

 押したまま を押す

テレビのメーカー	設定に使う数字ボタン
ビクター	1
松下	2または3
三菱	4
ソニー	5
日立	6
東芝	7
三洋	8または9
シャープ	0
NEC	12

2 リモコンの送信ランプが消えたら、ボタンをはなす。

3 テレビ電源ボタンを押して、テレビの電源が入ることを確認する。

ご注意

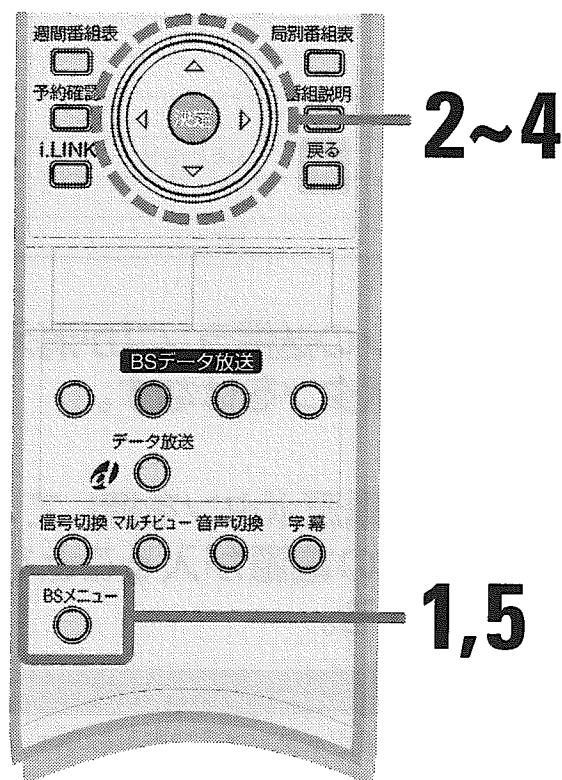
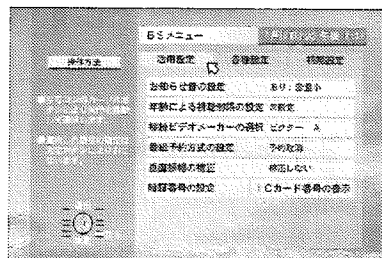
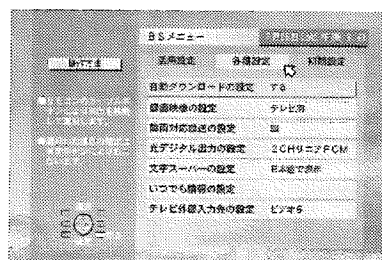
●松下や三洋など設定ボタンが２つあるものは、どちらか操作できるほうの番号を設定してください。
●テレビによっては操作できないものもあります。

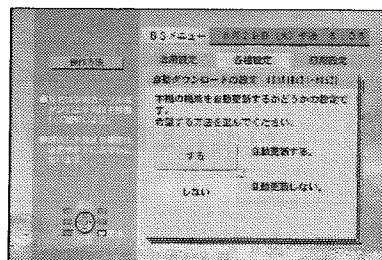
リモコンをテレビに向ける

テレビを操作するときは、リモコンはテレビのリモコン受光部に向けてください。

いろいろな設定をする
ダウンロードする

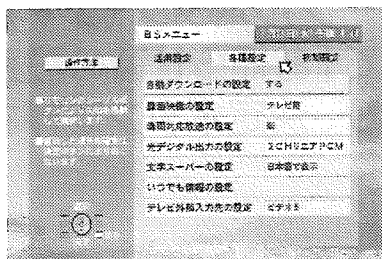
本機はパソコンのようにプログラム(ソフトウェア)やデータで、さまざまな機能を実現しています。また、本機では、新しい機能の追加やサービスへの対応が必要になったとき、「ダウンロード」と呼ばれる機能でプログラムやデータを入れ換え、機能の追加やサービスへの対応を実現できるようになっています。
ここではそのダウンロード機能を自動的に働かせるかどうかの設定をおこないます。
ダウンロードするプログラムが送られるときにはメールでお知らせがあります。

自動的にダウンロードするには

1 **BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。**

2 **カーソルボタン(◀ ▶)を押して「各種設定」を選ぶ。**

「各種設定」画面が表示されます。

3 **カーソルボタン(▲▼)を押して「自動ダウンロードの設定」を選び、決定ボタンを押す。**

ご注意

- 自動的に更新するように設定すると、自動的に更新がおこなわれます。
  (ただし、自動更新の時間に本機の電源が「入」の場合は、更新がおこなわれません。設定は「する」にされることをおすすめします。)
- 電源ランプが「赤」(電源プラグはコンセントにさしたままで、電源が「切」の状態)の状態にしてください。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して「する」を選び、決定ボタンを押す。

しない	ダウンロードをしません。必要があるときは手動でダウンロードをおこなってください。
する （自動ダウンロード）	プログラムが送られてきたときに自動的にダウンロードします。

プログラムによっては「する（自動ダウンロード）」に設定していても、自動的にダウンロードされないものがあります。その場合はメールをご覧になって、ダウンロードをするかしないかを選んでください。（☞ P.45）

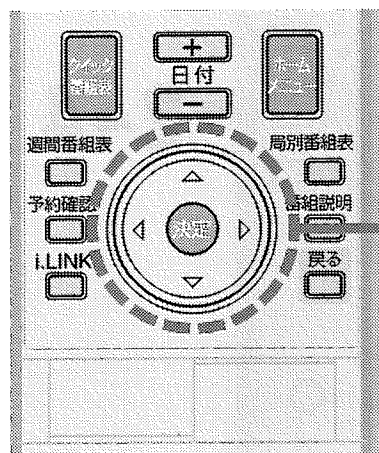
5 BS メニューボタンを押して、終了する。

ダウンロードの結果はメールでお知らせします。

ダウンロード中のご注意

- ダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
  動作しなくなることがありあす。
- ダウンロード中は全てのボタン操作（本体およびリモコン）ができなくなります。

手動でダウンロードするには

左の手順４で「する（自動ダウンロード）」を選んでいても、プログラムによっては手動でダウンロードをするかしないかを選択しなくてはならないものがあります。

1 メールを開く。（☞ P.45）

よく読んで内容を確認してください。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

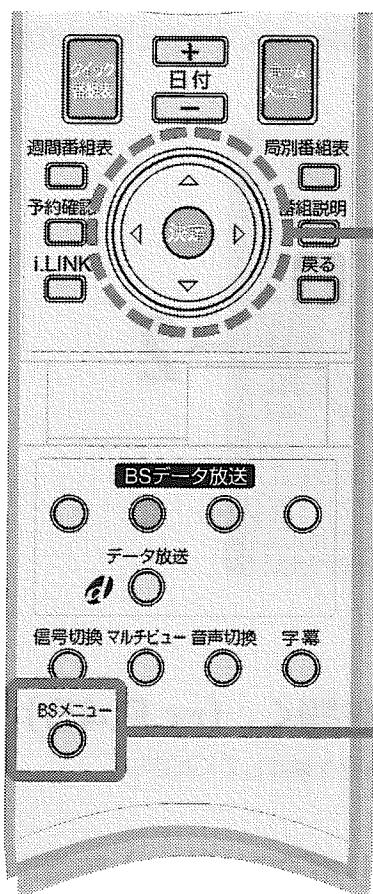
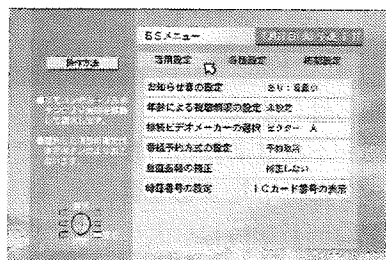
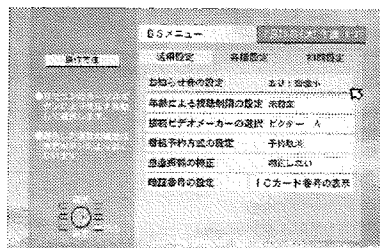
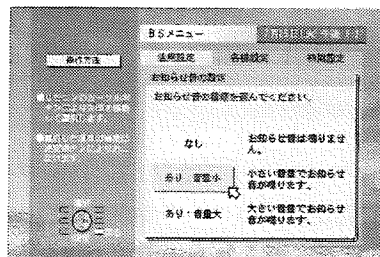
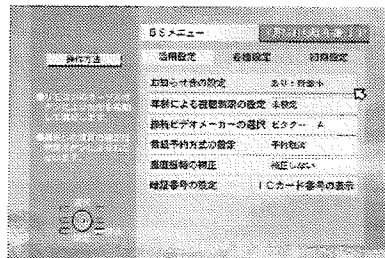
メールで指定された時間（本機を使用していないとき）になると自動的にダウンロードが始まります。

ダウンロードに失敗したときは

メールでお知らせします。
再度ダウンロードをするかどうかを選択できます。もう１度ダウンロードをするを選ぶと、指定された時間にダウンロードが行われます。

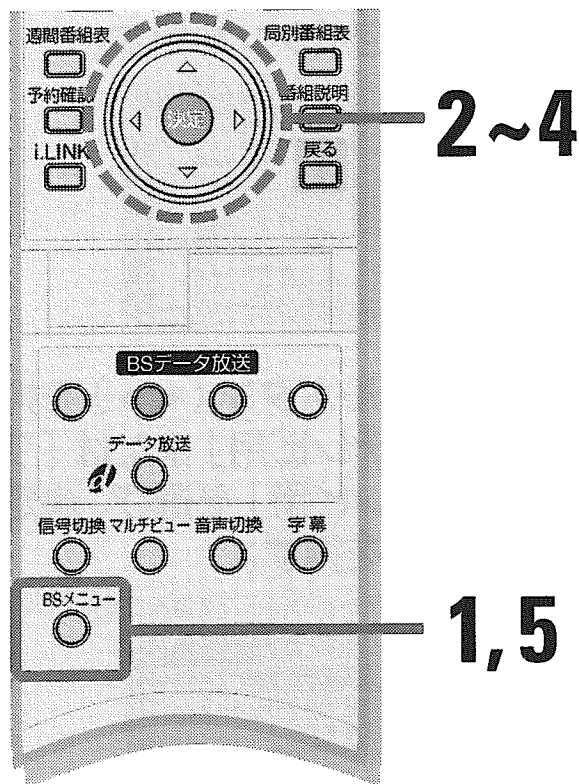
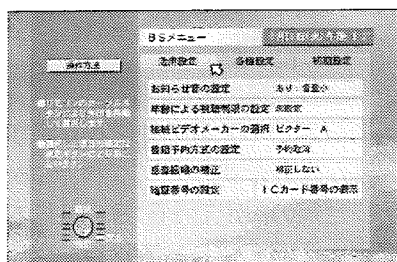
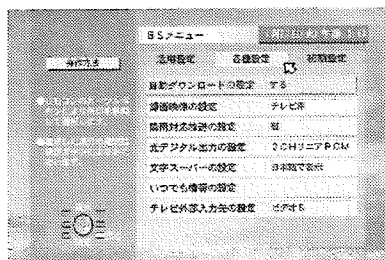
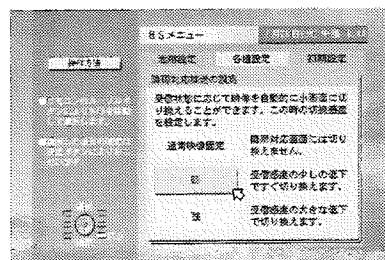
その他の設定をする

お知らせ音を設定するには

リモコンや本体のボタンで本機を操作すると、操作を受け付けたことをお知らせする音が出るように設定できます。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「活用設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「お知らせ音の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して「なし」、「あり:音量小」または「あり:音量大」を選び、決定ボタンを押す。

お知らせ音の音量はテレビの音量によって決まります。ふだんご使用になっているときのテレビの音量で、使いやすい音量に設定してください。

5 BSメニューボタンを押して、終了する。

降雨時対応放送の設定をするには

BSデジタル放送で使われる電波は、大雨や大雪などの影響を受けやすく、場合によっては一時的に受信できなくなることがあります。放送局によっては、このような天候でも小さな映像が見られるようにしているところがあります。(降雨対応放送と呼ばれます。)通常の放送と、降雨に強い放送が同時におこなわれていますので、受信状態が悪くなった時に、2つの放送をどのように切り換えて見るかの設定をおこないます。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン(◀ ▶)を押して「各種設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「降雨対応放送の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「通常映像固定」、「弱」または「強」を選び、決定ボタンを押す。

通常映像固定	降雨時対応放送には切り換えません。
弱	受信状態が悪くなるとすぐに切り換えます。ある程度受信状態が良くなると、通常の画面に戻ります。
強	受信状態が悪くなったら切り換えます。受信状態が良くなると、通常の画面に戻ります。

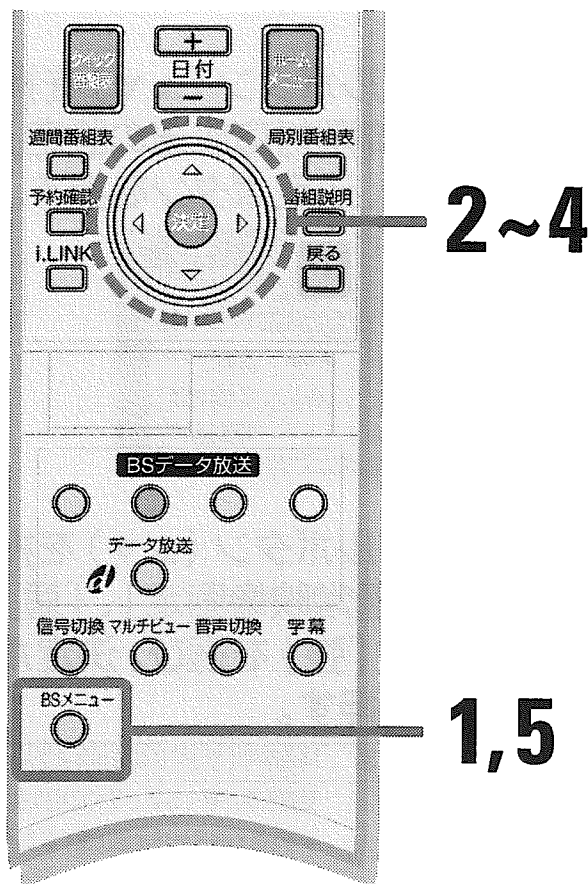
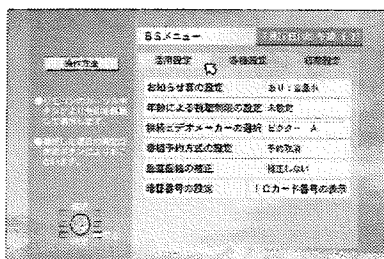
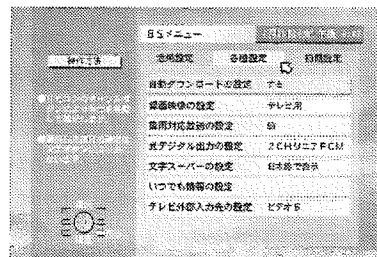
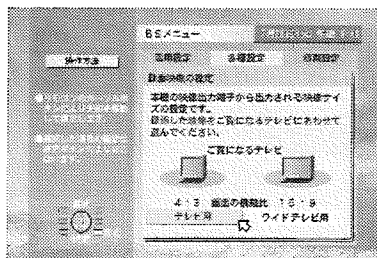
5 BSメニューボタンを押して、終了する。

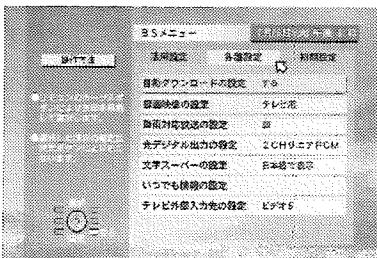
その他の設定をする（つづき）

録画のための設定をする

画面サイズが 16：9 の映像を録画するときの設定をします。

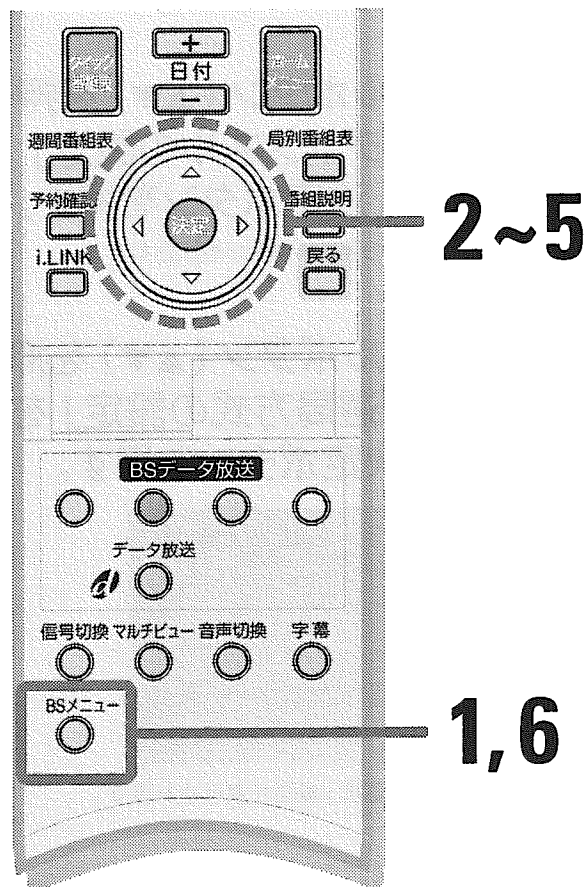
録画したテープを画面の横縦比が 4：3 のテレビでご覧になるときは「テレビ用」を、ワイドテレビやハイビジョンテレビなど画面の横縦比が 16：9 のテレビでご覧になるときは「ワイドテレビ用」を選んでください。

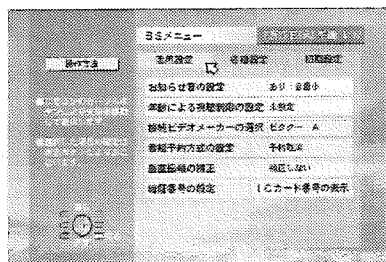
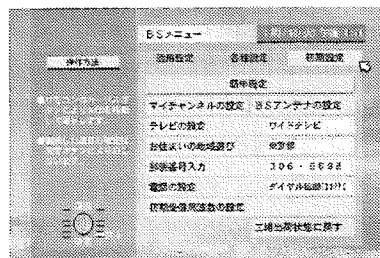
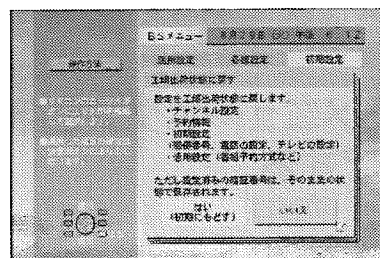
この設定は、1 度おこなえば録画をする度に設定をする必要はありません。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「各種設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「録画映像の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「テレビ用」または「ワイドテレビ用」を選び、決定ボタンを押す。

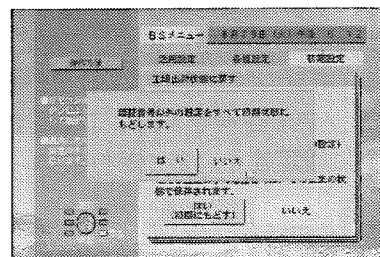
ご覧になるテレビのタイプを選んでください。

5 BSメニューボタンを押して、終了する。

ご注意

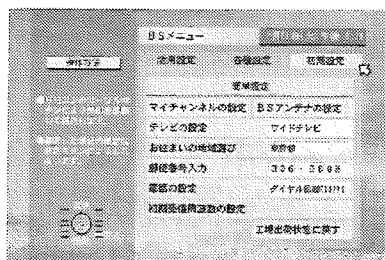
- テレビ用の設定で16：9の映像を録画すると、上下に黒い帯が付きます。
- ワイドテレビ用の設定で16：9の映像を録画し、画面の横縦比4：3のテレビでご覧になると、上下に伸びた映像になります。

お買い上げ時の設定に戻すには

●暗証番号以外の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「初期設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「工場出荷時状態に戻す」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「はい（初期にもどす）」を選び、決定ボタンを押す。

確認の画面が表示されます。

その他の設定をする（つづき）

5 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時の状態に戻さないときは「いいえ」を選んでください。「工場出荷状態に設定中です。しばらくお待ちください。」と表示され、しばらくすると「初期設定」画面に戻ります。

「初期設定」画面に戻るまでに10数秒かかります。

6 BSメニューボタンを押して、終了する。

3桁の数字を入力してチャンネルを選ぶには

お買い上げ時の設定では、①～⑩の数字ボタンを押すだけでチャンネルを選ぶことができるようになっています（ポジション方式）。BSデジタル放送の3桁のチャンネル番号を入力して選局するには、テンキー方式に設定する必要があります。

1 BSメニューボタンを押してBSメニューを表示させる。

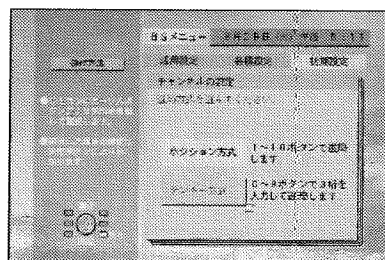
BSメニューが表示されます。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

初期設定画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「チャンネルの設定」を選び、決定ボタンを押す。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して、「選局方式の設定」を選び、決定ボタンを押す。

「選局方式の選択」画面が表示されます。

5 カーソルボタン（▲▼）を押して、「テンキー方式」を選び、決定ボタンを押す。

「チャンネルの設定」画面に戻ります。

6 BSメニューボタンを押して、終了する。

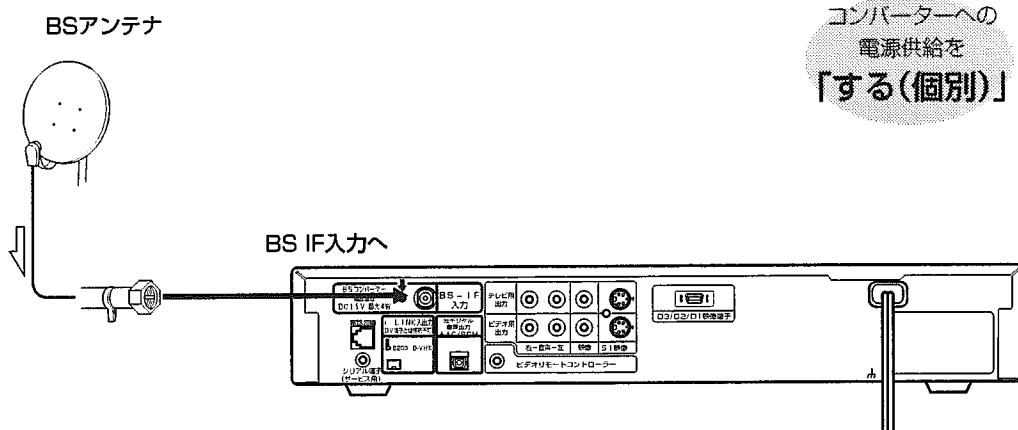
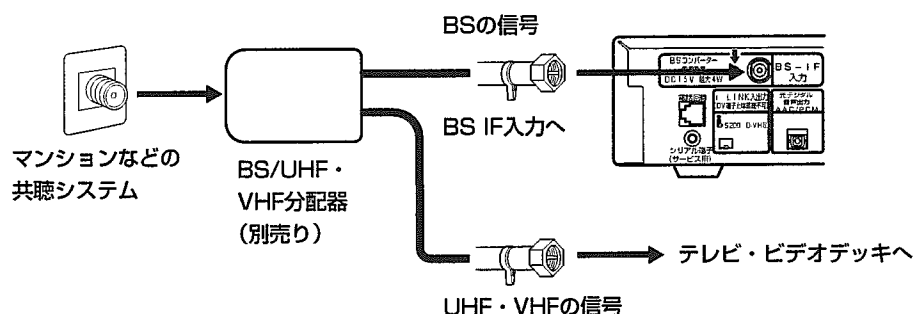
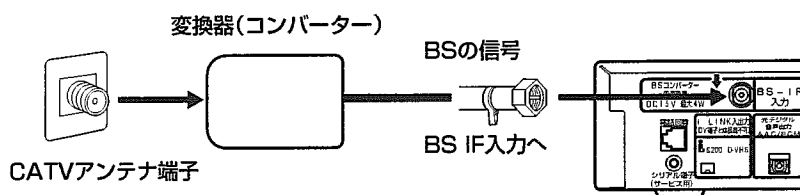
ポジション方式に戻すには

手順5で「ポジション方式」を選びます。

BSアンテナのつなぎかた

アンテナ接続早わかり

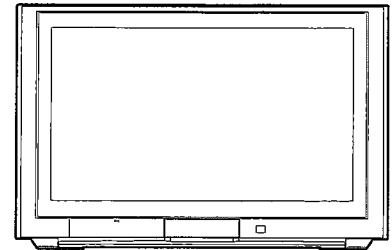
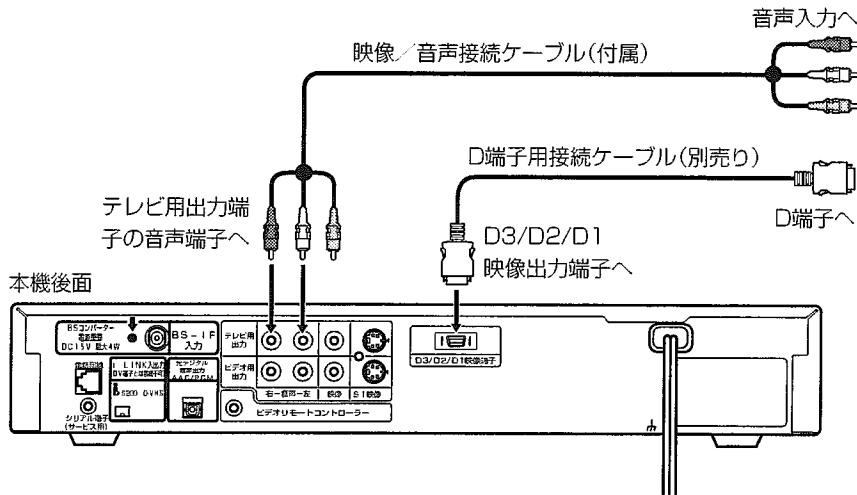
マンションなどの共聴システムを利用しているか、個人でBSアンテナをつないでいるかによって接続が異なります。

アンテナの設置・接続はお買い上げの販売店にご依頼ください。

BSデジタル放送の信号は今までのBS放送より分配器やブースターなどの影響を受けやすくなっています。今までのBS放送が受信できていても、BSデジタル放送が受信できない場合があります。このような場合はお買い上げの販売店にご相談ください。またできるだけBSデジタル放送に対応した機器をご使用になることをおすすめします。

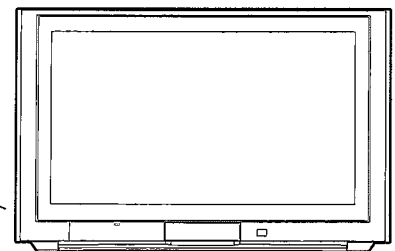
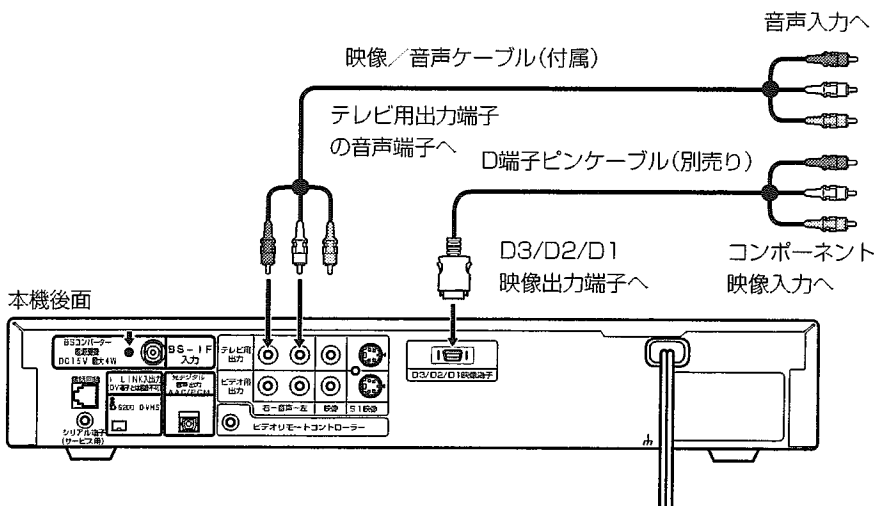
テレビを接続する

ご注意
- テレビのメニュー設定で、コンポーネント映像端子に接続した映像が映るように設定を変更してください。
- テレビのアンテナ線と本機および映像・音声用ケーブルはできるだけ離して設置してください。近付けるとノイズの影響を受けることがあります。

D端子につなぐ

D 端子のあるテレビにつなぐときの説明です。

本機の D 端子の出力信号を設定する
テレビ側の D 端子の種類に合わせて設定メニューで D 端子から出力される信号の種類を設定してください(「ステップ2 テレビの設定をする」☞ P.72)。

コンポーネント映像入力端子につなぐ

コンポーネント映像入力端子(Y、PB、PRまたはY、CB、CR)のあるテレビ(ハイビジョンテレビも含む)につなぐときの説明です。

D端子ピンケーブルの色	テレビの端子名
緑	Y
青	PB、CB
赤	PR、CR

テレビの入力端子名と接続するケーブルの色

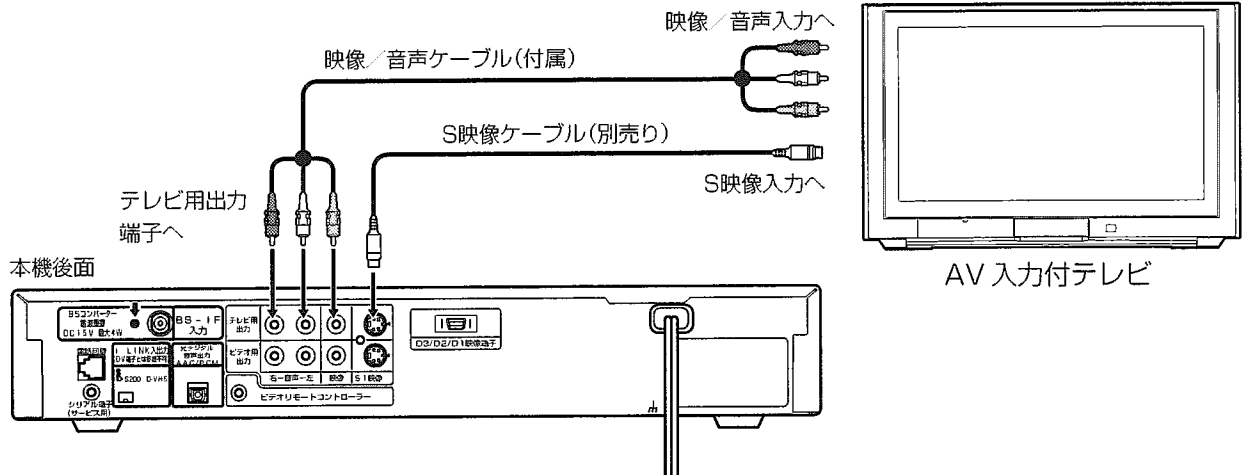
- D3/D2/D1 映像出力端子に D 端子コネクターが接続されているときはテレビ用の映像および S1 映像端子から信号は出力されません。

本機の D 端子の出力信号を設定する
テレビ側の端子の種類に合わせて、メニューで D 端子から出力される信号の種類を設定してください。(「ステップ2 テレビの設定をする」☞ P.72)

設置するときのご注意

- 本機はテレビの上に設置しないでください。テレビの上は不安定な場合が多く、落下の原因となります。また、本機のキャビネットの影響でテレビ画面に色むらが発生する場合があります。できるだけテレビ置台の中に設置されることをおすすめします。
- 本機は、発熱しますので、放熱の良い(風通しのよい)場所に設置してください。

映像/音声端子につなぐ

AV 入力のあるテレビにつなぐときの説明です。

ご注意

- お手持ちのテレビにS映像入力端子があるときは、別売りのS映像用ケーブルでつないでください。
- ビデオデッキもつなぐ場合は、テレビとビデオは別々につないでください。ビデオデッキを通してテレビをつなぐと、番組によっては映像が乱れることがあります。(☞ P.67)

設置と準備

ビデオリモートコントローラーを設置する

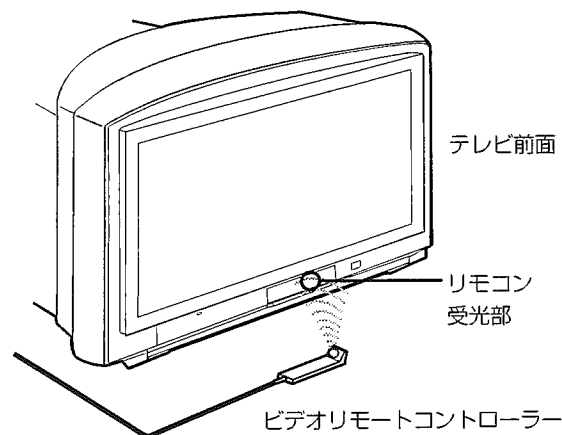
ビクター製のテレビをつないだときは、テレビのリモコン受光部の下にビデオリモートコントローラーの片方を設置します。本機の電源を「入」にしたり、予約した番組が始まると、自動的にテレビの電源が入り、本機をつないだ入力に切り換わります。

下記の設定を行ってください。

「ビデオリモートコントローラーを設定する」(☞ P.82)

「テレビの入力を設定する」(☞ P.84)

リモコン受光部の位置

リモコン受光部はテレビによって異なります。ご使用のテレビの取扱説明書でご確認ください。

ビデオリモートコントローラーの発光部がテレビのリモコン受光部に向くように設置してください。

設置と準備

電話線に接続する

ご注意
接続が終わるまで電源コードをコンセントから抜いておいてください。

有料番組の購入（☞ P.44）やクイズ番組の回答やショッピングの申し込みなど双方向型の番組に参加するときには、電話線を使用します。これらのサービスを利用するときは必ず電話線の接続をおこなってください。

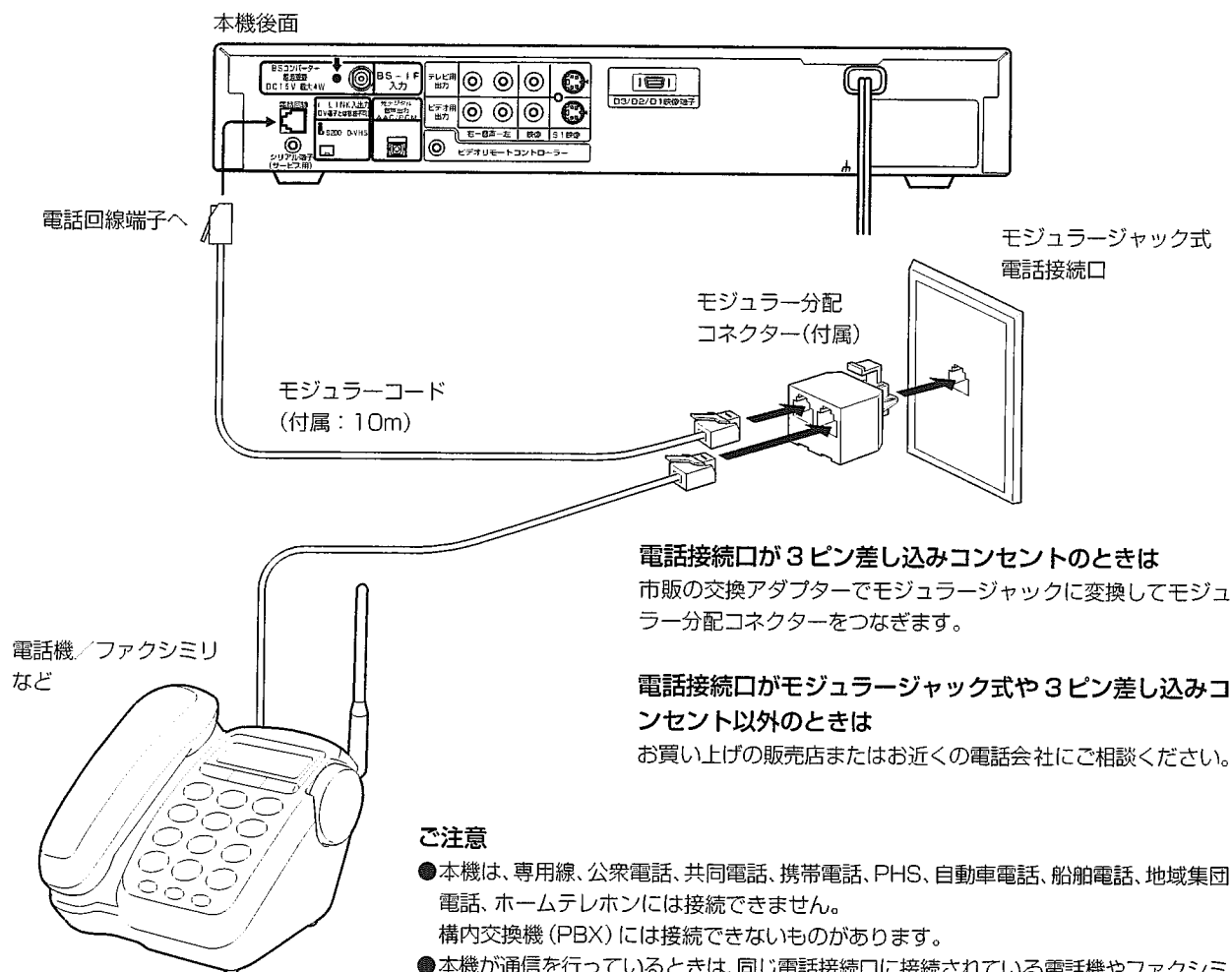
（常に接続しておく必要があります。）

接続したあとで設定をおこなってください。

電話接続口が３ピン差し込みコンセントのときは

市販の交換アダプターでモジュラージャックに変換してモジュラー分配コネクターをつなぎます。

電話接続口がモジュラージャック式や３ピン差し込みコンセント以外のときは

お買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

ご注意

- 本機は、専用線、公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、地域集団電話、ホームテレホンには接続できません。
  構内交換機（PBX）には接続できないものがあります。
- 本機が通信を行っているときは、同じ電話接続口に接続されている電話機やファクシミリなどは使用できません。また、一部の電話器やファクシミリでは呼び出し音が鳴ることがあります。その場合は、電話機やファクシミリのメーカーにご相談ください。

ISDN回線につなぐには

ターミナルアダプター（市販品）の電話（またはモデム）用モジュラージャックに接続してください。ターミナルアダプターを使用していない場合は、お買い上げ販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

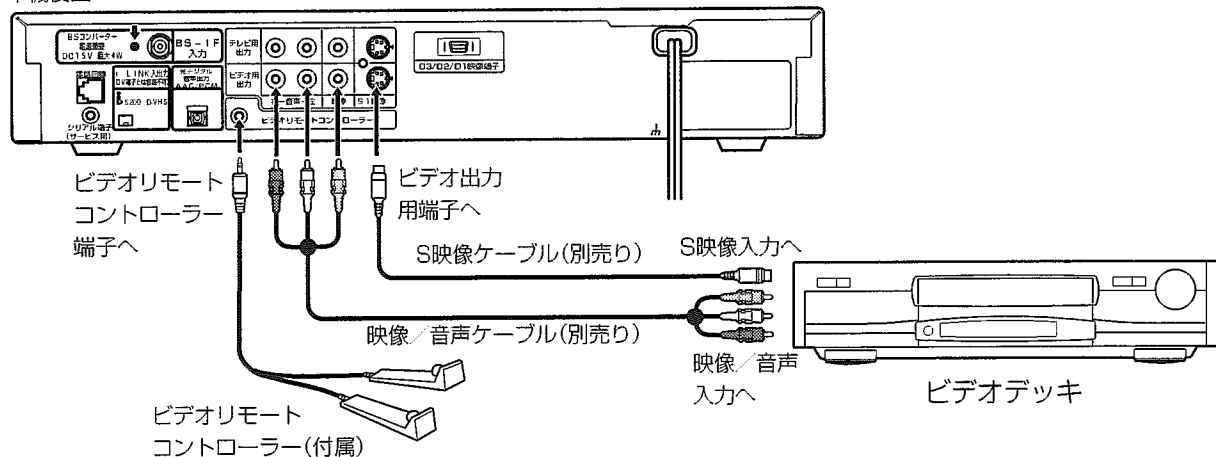
キャッチホンサービスをご利用のときは

本機の通信中にキャッチホンが入ると通信が中断し、データが送れなくなります。この問題を防ぐには、キャッチホンⅡにサービスを変更してください。詳しくはお近くの電話会社にご相談ください。

本機が通信を行うのは

- ICカードに記載された番組購入、契約状況などのデータが、月１回程度自動的に放送局に送信されます。
- 投票やショッピングなどの視聴者参加型番組はそのつどセンターに送信します。
- 電話料金が、有料か無料かは、放送事業者（放送局）にご確認ください。

ビデオデッキを接続する

ビデオデッキをつなぐ

録画のしかた

番組を見ながら録画する

1 ビデオデッキの入力切換を操作して本機をつないだ入力を選ぶ。

2 ビデオデッキを操作して録画する。

予約録画をする

1 ビデオデッキの入力切換を操作して本機をつないだ入力を選ぶ。

2 ビデオデッキに録画用のテープを入れ、ビデオデッキの電源を切る。

3 本機で番組を録画予約する。

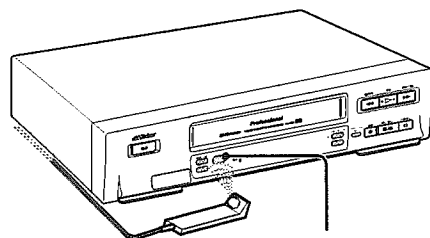
ご注意

- テレビとビデオデッキは別々につないでください。ビデオデッキを通してテレビをつなぐと、録画禁止の番組では明るさが大きく変化したり、画像が乱れたりすることがあります。
- お手持ちのビデオデッキにS映像入力端子があるときは、別売りのS映像用ケーブルでつないでください。映像端子(黄色)よりも、鮮明な映像で録画／再生できます。
- ビデオ用出力の映像およびS1映像から出力される信号には、チャンネル表示や、メニュー、番組表、データ放送の映像は含まれません。
- ビデオ用出力の音声出力信号にはお知らせ音はありません。

ビデオリモートコントローラーを設置する

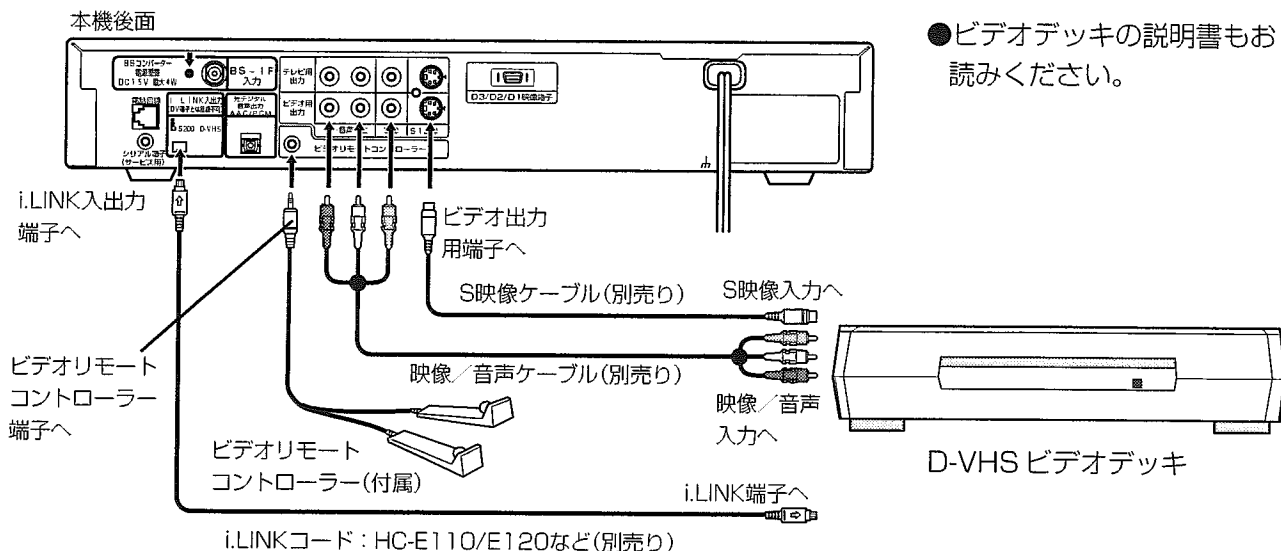
ビデオデッキのリモコン受光部の下にビデオリモートコントローラーの片方を設置します。
予約録画をする前に、「ビデオリモートコントローラーを設定する」(☞ P.82)をおこなってください。

リモコン受光部の位置

リモコン受光部はビデオデッキによって異なります。ご使用のビデオデッキの取扱説明書でご確認ください。

ビデオリモートコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に向くように設置してください。

ご注意
接続が終わるまで電源コードをコンセントから抜いておいてください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK接続）

●ビデオデッキの説明書もお読みください。

使用する前の準備

●i.LINK コードを経由してデジタル記録／再生するときは、i.LINK メニューでリンクする設定を行います。

●ビデオリモートコントローラーの設置（P.67）と「ビデオリモートコントローラーを設定する」(P.82)を行ってください。

●i.LINK コードは S200 または S400 に対応したものをご使用ください。DV コードは使用できません。

録画のしかた

番組を見ながら録画する

1 ビデオデッキの入力切換を操作して、i.LINK入力を選ぶ。
2 ビデオデッキの操作をして録画する。

予約録画をする

1 ビデオデッキの入力切換を操作して、i.LINK入力を選ぶ。
2 i.LINKメニューでD-VHSをリンクする。
3 ビデオデッキに録画用のテープを入れ、ビデオデッキの電源を切る。
4 本機で番組を録画予約する。
録画予約の設定をするときに、予約詳細メニューの録画機器選択で「D-VHS」を選んでください。

再生のしかた

1 D-VHSを操作できるように設定する
2 D-VHSの再生ボタンを押す。（本機を通して再生されます）

D-VHS を操作できるようにLINC設定をする

本機とD-VHSをi.LINKコードで接続しただけでは録画はできません。録画の操作を行うための機器の指定（LINCするといいます）が必要です。（i.LINK接続では複数のi.LINK機器を接続できますので、操作したい機器を指定するためにLINCを行います）

1 i.LINKボタンを押し、i.LINKメニューを表示させる。
2 カーソルボタン（▲▼）で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す。
文字が黒から青にかわり、赤いi.LINKのマークが表示されます。
3 i.LINKボタンを押してi.LINKメニューを消す。

LINC の設定を解除するには

手順2でカーソルボタン（▲▼）でLINCされた機器を選び決定ボタンを押す。機器の表示が青色から黒に戻り、i.LINKのマークも消えます。

複数の i.LINK 機器（D-VHS デッキ）と接続するには

市販のIEEE1394用ハブを使用し、接続してください。

ご注意

●HSモードに対応していないD-VHSビデオデッキではハイビジョン番組など標準放送番組以外のデジタル録画（i.LINK経由）ができません。標準放送以外の番組はビデオデッキと同様の方法で録画してください。
入力をi.LINKから本機のビデオ用出力をつないだ入力に切り換えてください。

●本機のi.LINK端子からは、データ放送や番組表の情報も出力されますが、情報量（データ量）が多くなると、出力されない情報（データ）が発生することがあります。

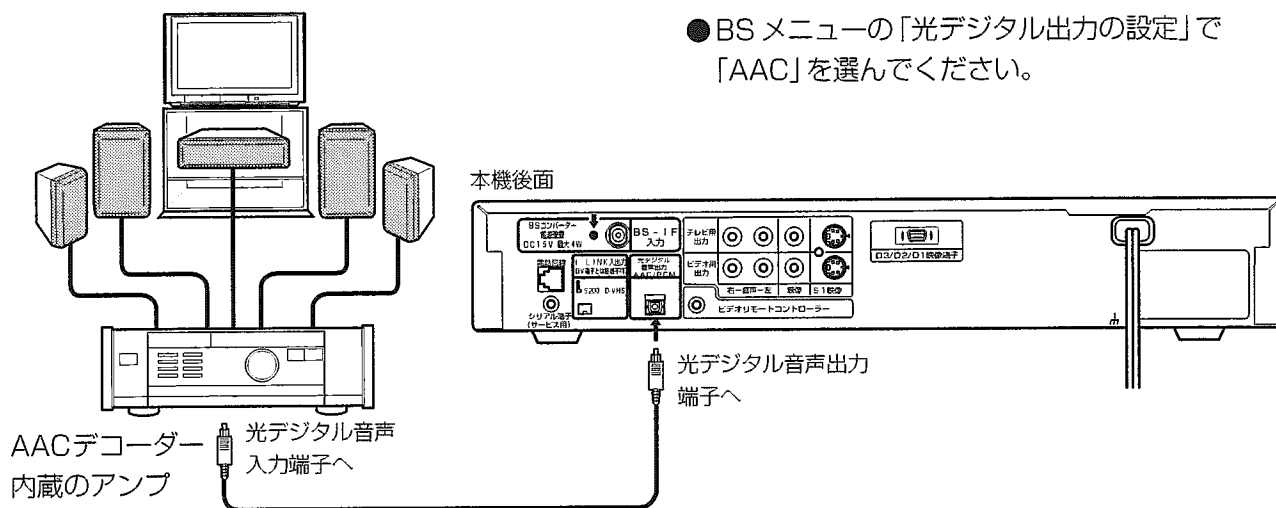
●D-VHSビデオデッキでD-VHSで録画したテープを再生すると、本機の映像は自動的にテープの再生に切り換わります。
他のBSデジタルチューナーとD-VHSで録画されたテープにデータ放送や番組表の情報が記録されている場合は、それらの情報を表示することができる場合があります。

●AACデコード機能のないD-VHSビデオデッキでは音声の再生ができません。

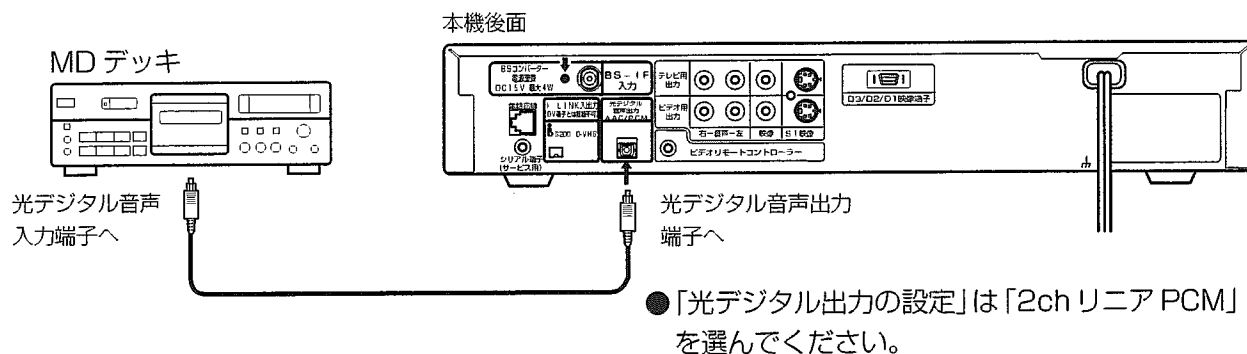
MDデッキやアンプなどを接続する

本機は光デジタル音声出力端子をAACデコーダー対応のアンプにつなぐと5.1chのサラウンド音声を楽しめます。また、MDデッキなどをつないで、デジタル音声信号を録音することができます。

AACデコーダー対応アンプをつなぐ

●BSメニューの「光デジタル出力の設定」で「AAC」を選んでください。

MDデッキをつなぐ

MDデッキはサンプリングレートコンバーターを内蔵している必要があります。

●「光デジタル出力の設定」は「2chリニアPCM」を選んでください。

光デジタル音声出力端子の出力信号を切り換えるには

1 BSメニューボタンを押して、メニューを出す。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「各種設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「光デジタル出力の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して、「2CHリニアPCM」または「AAC」を選び、決定ボタンを押す。

2CHリニアPCM	2CHにダウンミックスして出力します。
AAC	AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるときに選びます。

5 BSメニューボタンを押して、終了する。

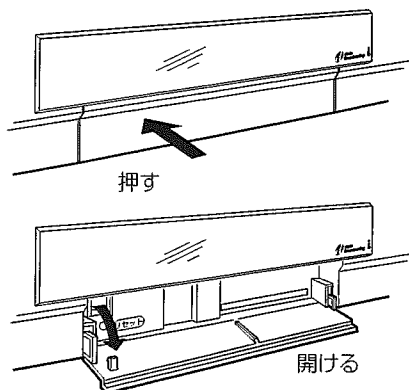
サンプリングレートコンバーター

●本機は番組によって、3つのサンプリング周波数光（32kHz、44.1kHz、48kHz）を使用しています。しかし、MDには44.1kHzのサンプリング周波数でしか録音できません。そこで、32kHzや、48kHzのサンプリング周波数のデジタル音声を録音するために44.1kHzに変換する必要があります。その変換機能をサンプリングレートコンバーターといいます。

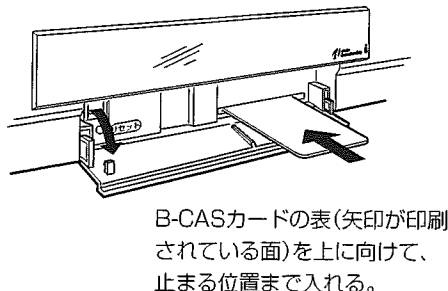
●お手持ちのMDデッキがサンプリングレートコンバーターを内蔵しているかどうかはMDデッキの取扱説明書をご覧ください。

設置時の準備・設定

B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

1 ふたを開ける。

2 B-CASカードを入れる。

B-CASカードは台紙の上に取り付けられています。

B-CASカードの表(矢印が印刷されている面)を上に向けて、止まる位置まで入れる。

3 ふたを閉める。

4 B-CASカード番号を表示させ、B-CASカードがきちんと挿入されていることを確認する。

B-CASカードの確認をするには

1 B-CASカードがB-CASカード挿入口にきちんと入っていることを確認する。

2 BSメニューボタンを押して、メニューを出す。

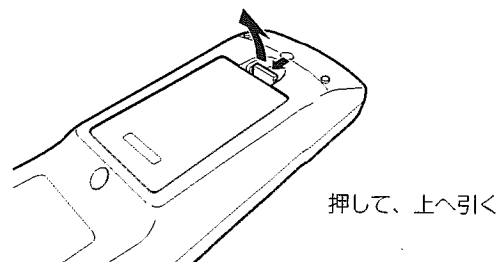
3 カーソルボタン(◀ ▶)を押して「活用設定」を選ぶ。

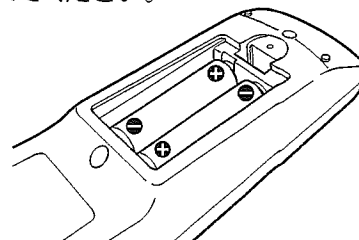
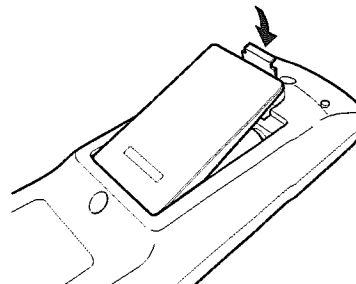
4 カーソルボタン(◀ ▶▲▼)を押して「ICカード番号を表示する」を選び、決定ボタンを押す。
表示されなかったときは、B-CASカードを1度抜いて、正しく入れ直してください。その後、手順2からやり直してください。

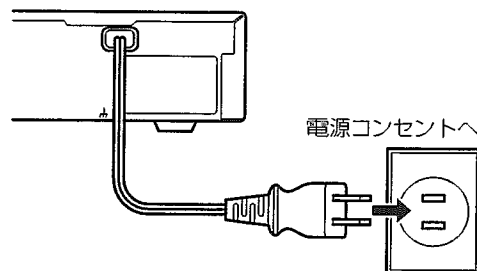
5 決定ボタンを押す。

6 BSメニューボタンを押して、終了する。

リモコンに電池を入れる

1 リモコンの電池入れのふたを開ける。

2 単3形(R6P/R6PU)乾電池を2本入れる。

ショートを防ぐため必ず電池のマイナス側を先に入れてください。

3 リモコンの電池入れのふたを閉める。

電源コードをつなぐ

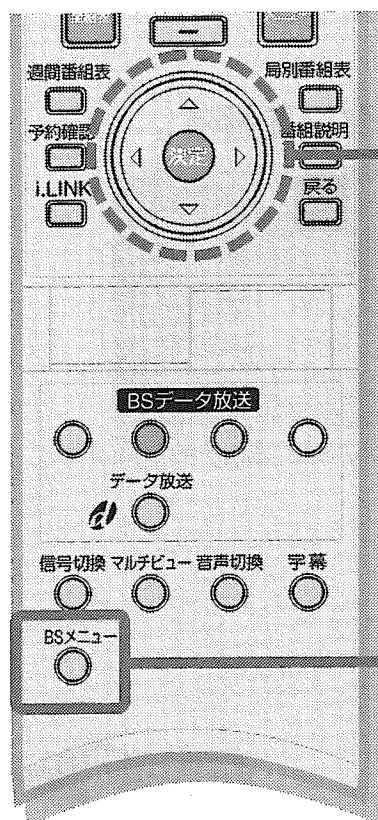
すべての接続が終わってから、電源コードをつないでください。

受信に必要な設定をする

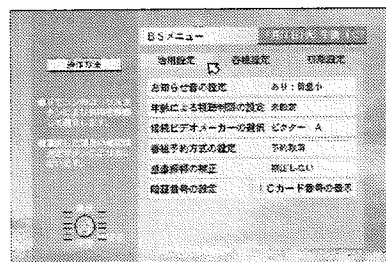
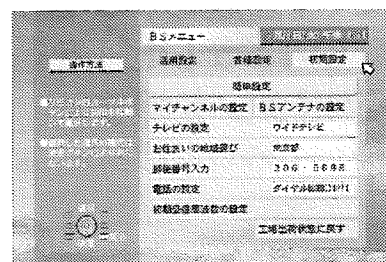
はじめてお使いになるときは－「簡単設定」

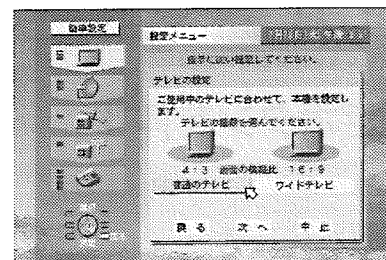
本機を購入後、はじめてBSデジタル放送をご覧になるときは、「簡単設定」で必要な設定をしてください。あらかじめ、アンテナやテレビ、電話線、ビデオデッキなどの接続を済ませておいてください。

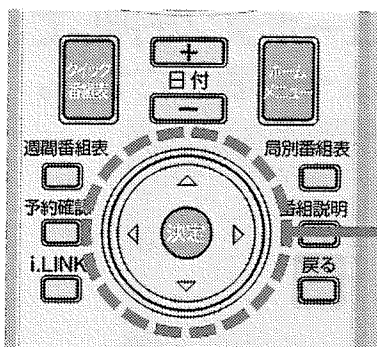
・アンテナ接続早わかり（☞ P.63）
・テレビを接続する（☞ P.64）
・電話線に接続する（☞ P.66）
・ビデオデッキを接続する（☞ P.67）

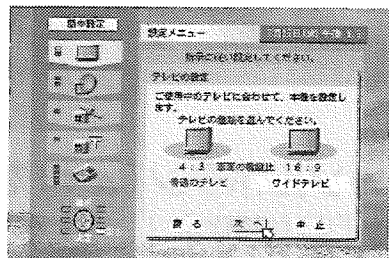
「簡単設定」では次の順に設定をすすめます。

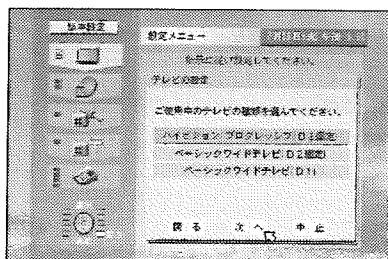
ステップ1　「簡単設定」を始める
▼
ステップ2　テレビの設定をする
▼
ステップ3　BS アンテナの設定をする
▼
ステップ4　お住まいの地域を選ぶ
▼
ステップ5　郵便番号を入力する
▼
ステップ6　電話線の設定をする

ステップ1
簡単設定を始める

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「簡単設定」を選び、決定ボタンを押す。

受信に必要な設定をする（つづき）

ステップ2
テレビの設定をする

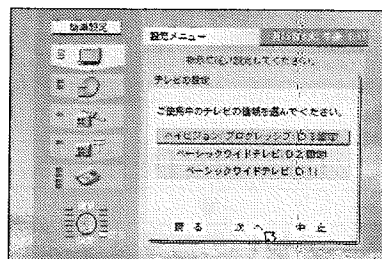
テレビを接続していることを確認してください。

1 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「普通のテレビ」または「ワイドテレビ」を選び、決定ボタンを押す。

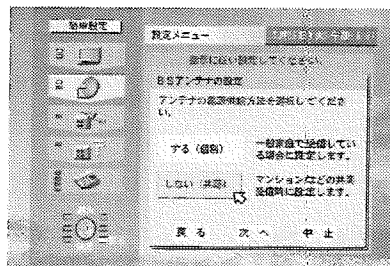
ご使用のテレビのタイプに合わせて選びます。

普通のテレビ	画面の横縦比が4：3のテレビ
ワイドテレビ	画面の横縦比が16：9のテレビ

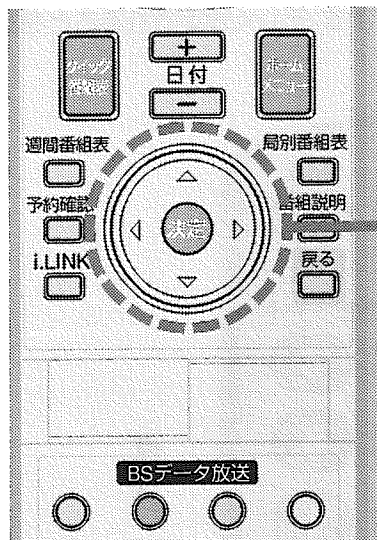
2 決定ボタンを押す。

「普通のテレビ」を選んだときは「ステップ3 BSアンテナの設定をする」にすすんでください。

3 （手順2で「ワイドテレビ」を選んだときのみ）カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、テレビの種類を選び、決定ボタンを押す。

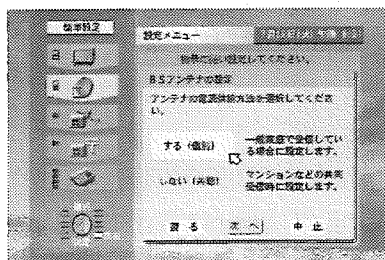
テレビに合わせて選びます。

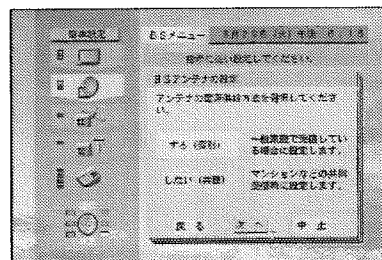
テレビの設定は、48ページの「設定のめやす」を参考にしておこなってください。

メニューの項目	テレビの入力端子／出力信号
ハイビジョン／プログレッシブ(D3固定)	ハイビジョンテレビおよびD3以上のD端子に接続したとき
ベーシックワイドテレビ（D2固定）	D2端子に接続したとき
ベーシックワイドテレビ（D1）	D1端子に接続したとき

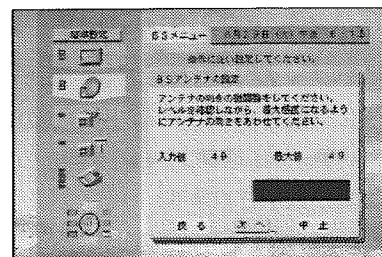
4 決定ボタンを押す。

「BSアンテナの設定」画面が表示されます。

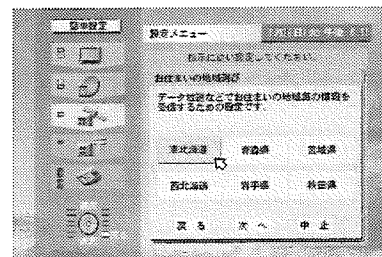
ステップ3
BSアンテナの設定をする

BSアンテナを接続していることを確認してください。

1 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、「する（個別）」または「しない（共聴）」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナに電源を供給するかどうかを設定します。

する（個別）	BSアンテナに電源を供給します。直接BSアンテナをつないでいる場合に選びます。
しない（共聴）	BSアンテナに電源を供給しません。マンションなどの共聴システムの場合に選びます。

2 決定ボタンを押す。

3 （個別アンテナをつないでいる場合のみ）BSアンテナの向きを調整する。

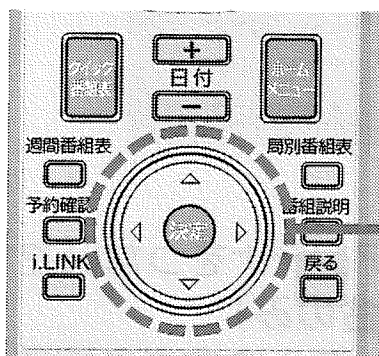
アンテナレベルが「最大値」に近付くようにBSアンテナの向きを調整します。

4 決定ボタンを押す。

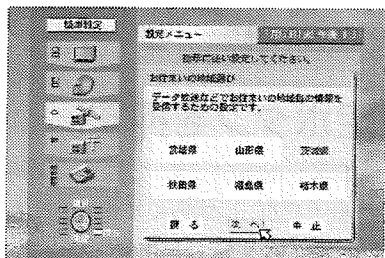
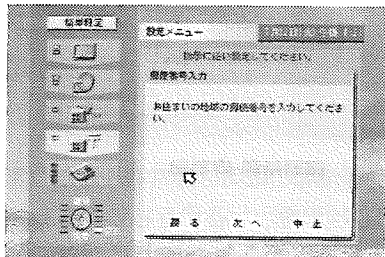
「受信情報を取得中です。しばらくお待ちください」と表示され、しばらくすると「お住まいの地域選び」画面が表示されます。

● 受信情報の取得は通常数秒かかりますが、10秒程度かかる場合もあります。

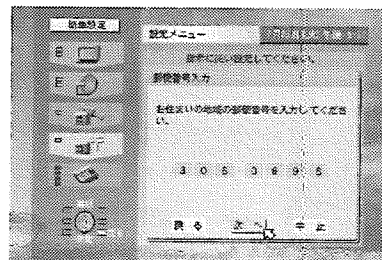
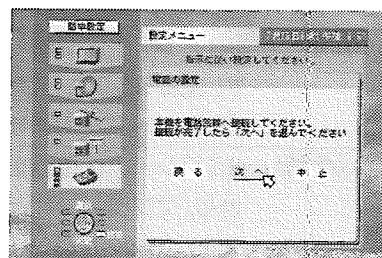
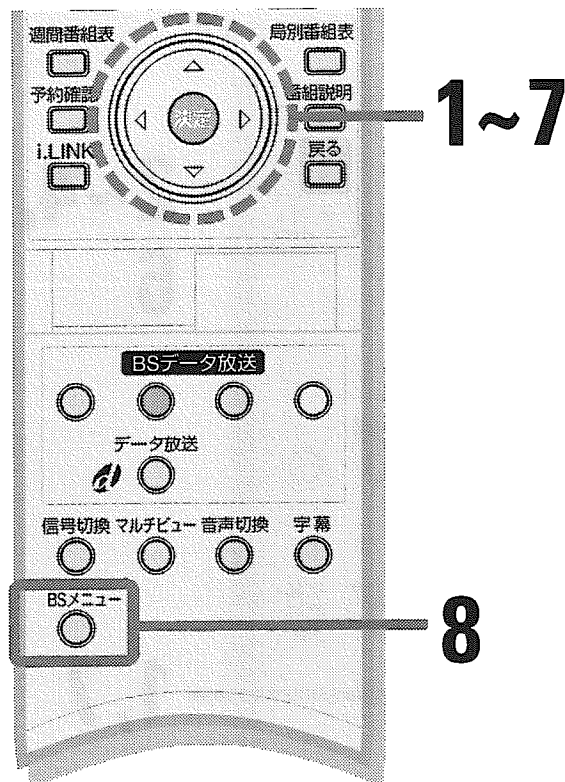
受信に必要な設定をする（つづき）

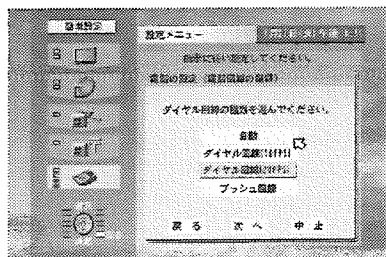
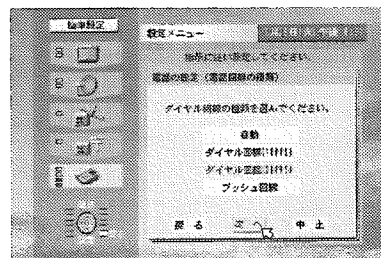
ステップ4 お住まいの地域を選ぶ

ステップ5 郵便番号を入力する

●お住まいの地域、郵便番号などの項目は、データ放送の情報提示に利用されます。正しく設定されることをおすすめします。

1 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、お住まいの地域を選び、決定ボタンを押す。

画面上に一度に表示されるのは6つの地域までですが、カーソルボタン（◀ ▶）を押しつづけると他の地域が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

「郵便番号入力」画面が表示されます。

1 チャンネル数字ボタンを押して郵便番号を入力し、決定ボタンを押す。

「電話の設定」画面が表示されます。

ステップ6
電話線の設定をする

有料番組の購入やクイズ番組の回答やショッピングの申し込みなど双方向型の番組に参加しない場合は必要ありません。手順1で「終了」を選んで決定ボタンを押してください。

1 カーソルボタン(◀ ▶▲▼)を押して、「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「自動」を選び、決定ボタンを押す。

電話回線の種類がわかっている場合はその種類を選んでください。

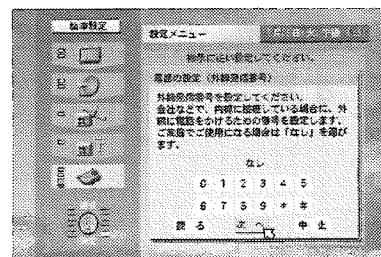
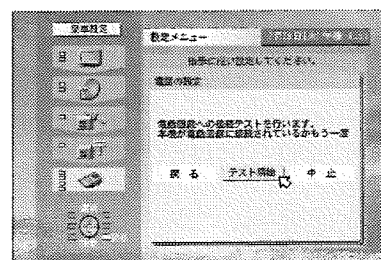
3 決定ボタンを押す。

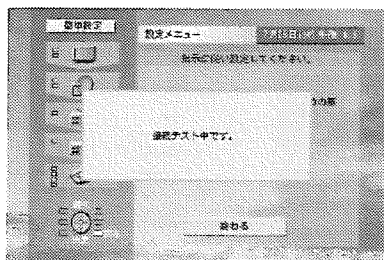
4 カーソルボタン(◀ ▶)を押して外線発信番号を設定し、決定ボタンを押す。

例1)「0」発信の場合

カーソルボタン(◀ ▶▲▼)を押して「0」を選び、決定ボタンを押す。

例2)ご家庭の電話の場合

カーソルボタン(◀ ▶▲▼)を押して「なし」を選び、決定ボタンを押す。

5 決定ボタンを押す。

受信に必要な設定をする（つづき）

6 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「テスト開始」を選び、決定ボタンを押す。

「接続テスト中です」と表示されます。本体の表示窓には「通信中」と表示されます。
しばらくして接続テストが終了すると、結果が表示されます。
接続テストがうまくいかなかったときは、戻るボタンを押して手順2に戻り、ご使用の電話回線の種類（「ダイヤル回線（10pps）」、「ダイヤル回線（20pps）」または「プッシュ回線」を選んでください。

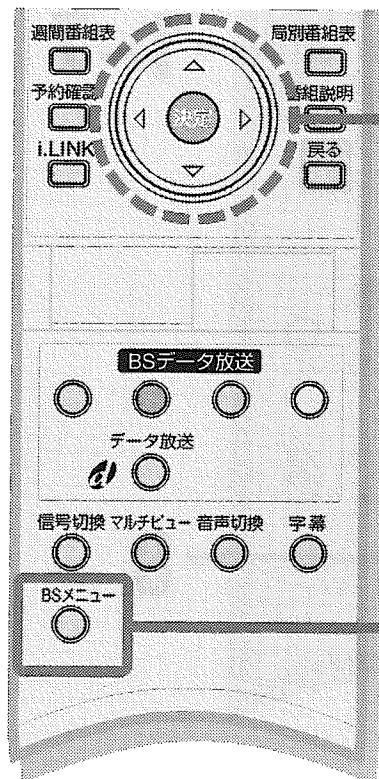
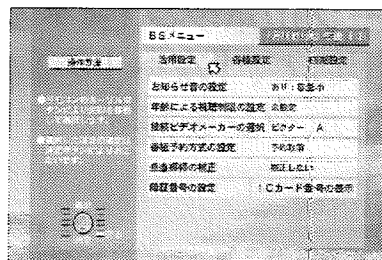
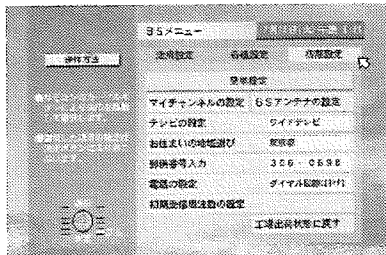
7 決定ボタンを2回押す。

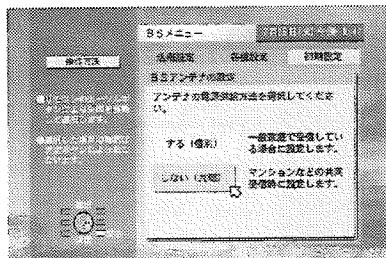
これで簡単設定は終了です。

8 BSメニューボタンを押して、終了する。

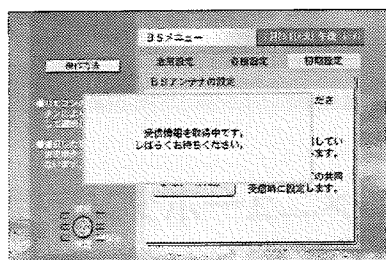
●接続テストは最長1分30秒ほどかかります。

アンテナへの電源供給の設定を変更するには

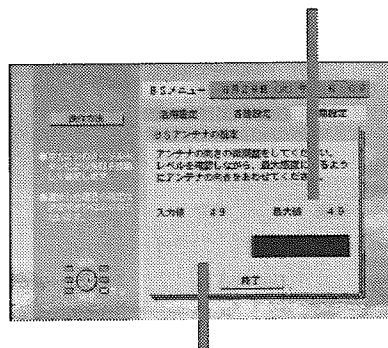
BSアンテナのコンバーターへ、本機から電源を供給する／しないの設定を変更できます。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

「初期設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して、「BSアンテナの設定」を選び、決定ボタンを押す。

電源供給の設定画面が表示されます。

4 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「する（個別）」または「しない（共聴）」を選び、決定ボタンを押す。

する（個別）	BSアンテナに電源を供給します。直接BSアンテナをつないでいる場合に選びます。
しない（共聴）	BSアンテナに電源を供給しません。マンションなどの共聴システムの場合に選びます。

5 アンテナの向きを調整する。

アンテナは少しずつ動かしてください。画面のレベル表示はアンテナの動きより少し遅れます。

最大値
アンテナの方向調整を始めてから受信した最大値を表示します。

現在のアンテナレベル
最大値に近付けるように、調整してください。

6 決定ボタンを押して、表示を消す。

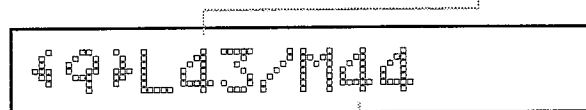
「受信情報を設定中です」と表示され、しばらくすると初期設定画面に戻ります。

7 BSメニューボタンを押して、終了する。

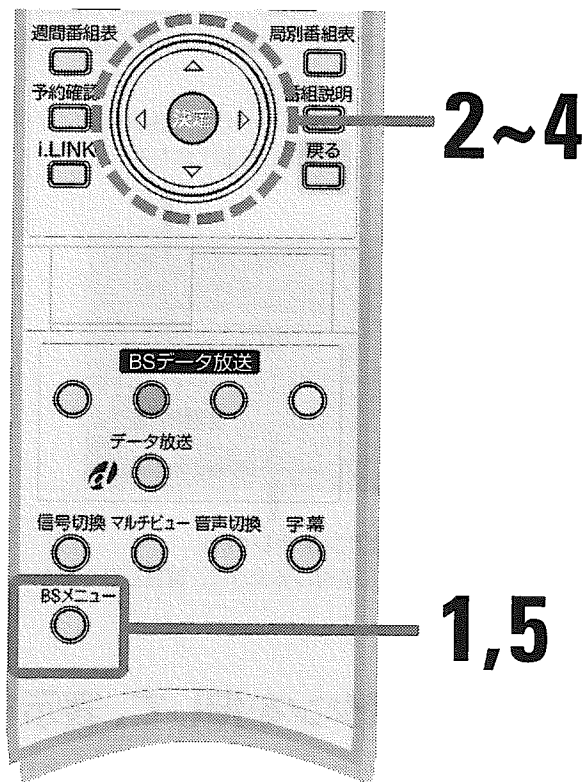
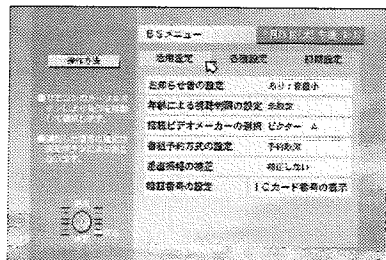
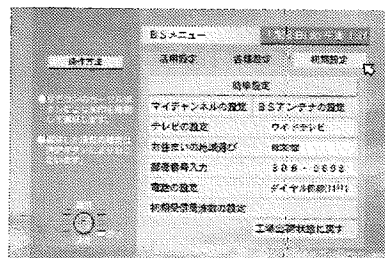
アンテナレベルについて

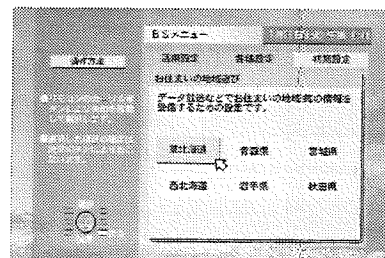
●アンテナレベルは0〜99までの数値で表示されます。
●アンテナレベルは本体の表示窓に表示することもできます。
1 上記の手順5の画面を表示させる。
2 本体のカーソルボタン（◀）を押したまま、決定ボタンを4秒以上押し続ける。

本体の表示窓　　現在のアンテナレベル

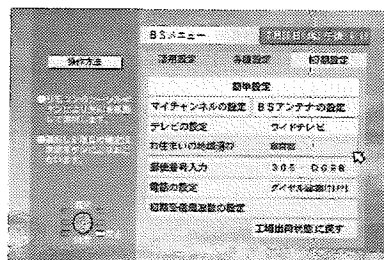
49ｐL43／M44

最大値

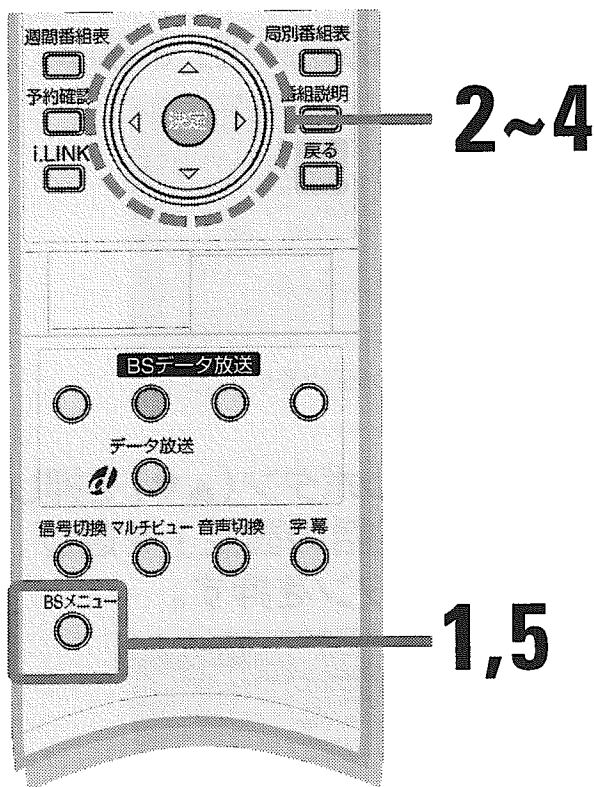
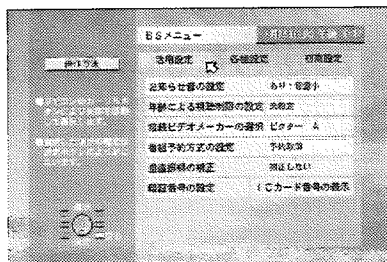
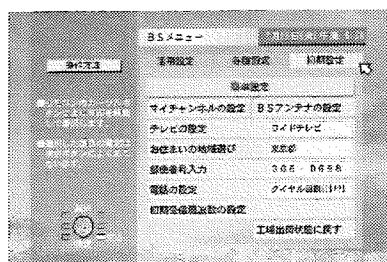
受信に必要な設定をする（つづき）

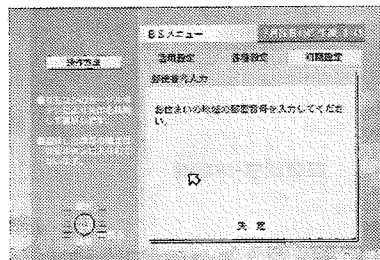
お住まいの地域の設定を変更するには

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

「初期設定」画面が表示されます。

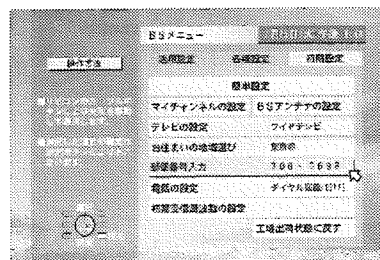
3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「お住まいの地域選び」を選び、決定ボタンを押す。

お住まいの地域を選ぶ画面が表示されます。

4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してお住まいの都道府県を選び、決定ボタンを押す。

一度に表示されるのは6地域だけですが、カーソルボタン（◀▶）を押し続けると他の地域名が表示されます。

5 BSメニューボタンを押して、終了する。

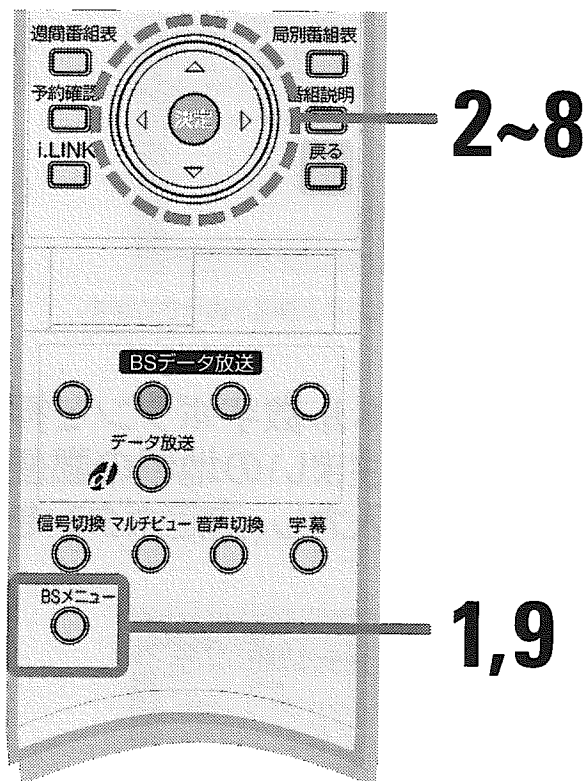
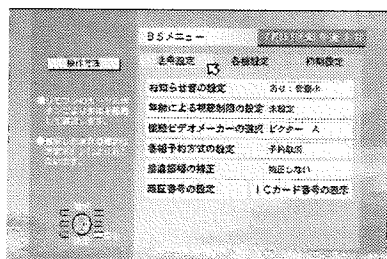
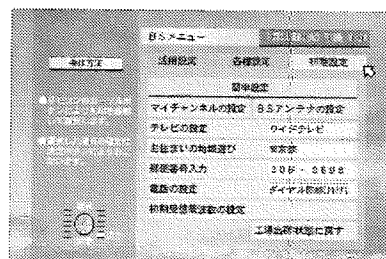
郵便番号を変更するには

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

「初期設定」画面が表示されます。

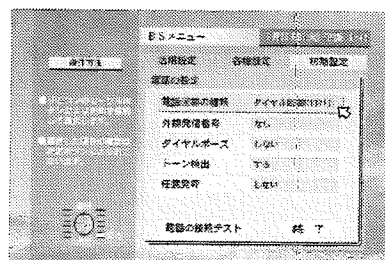
3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「郵便番号の入力」を選び、決定ボタンを押す。

郵便番号を入力する画面が表示されます。

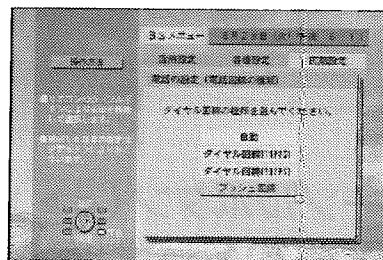
4 チャンネル数字ボタンを押してお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定ボタンを押す。

「初期設定」画面に戻ります。

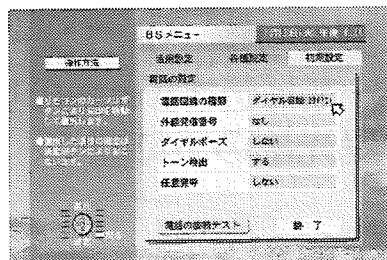
5 BSメニューボタンを押して、終了する。

受信に必要な設定をする（つづき）

電話線の設定を変更するには

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。

「初期設定」の画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す。

電話の設定項目が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

設定する画面が表示されます。

5 カーソルボタン（▲▼◀ ▶）を押して項目を選び、決定ボタンを押す。

「電話の設定」画面に戻ります。

6 手順4～5をくり返して、他の設定をする。

7 カーソルボタン（▲▼◀ ▶）を押して「電話の接続テスト」を選び、決定ボタンを押す。

電話回線のテストが行われ、しばらくすると結果が表示されます。
電話の接続テストに失敗したときは電話に関する設定の各項目と電話線の接続を確認し、再度接続テストを行ってください。

8 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す。

9 BSメニューボタンを押して、終了する。

ダイヤルポーズを設定するには

電話をかけるときに、外線発信番号を押したあと少し間をおくかどうかを設定します。ダイヤルポーズが必要かどうかは、ご使用の電話機によって異なりますので、電話機の取扱説明書をご覧ください。
左記の手順5で外線発信番号を「なし」にしたときは設定する必要はありません。

1. BSメニューボタンを押して、設定メニューを出す。
2. カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。
3. カーソルボタン（▲▼）を押して、「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す。
   電話の設定画面が表示されます。
4. カーソルボタン（▲▼）を押して、「ダイヤルポーズ」を選び、決定ボタンを押す。
   ダイヤルポーズの設定画面が表示されます。
5. カーソルボタン（▲▼）を押して「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す。
6. BSメニューボタンを押して、終了する。

センターへのデータ転送を電源を入れたときにおこなうように設定するには

通常はお買い上げ時の設定（「しない」）を変更する必要はありませんが、B-CAS（ビーキャス）カードのデータがセンターに送れなかった場合にのみ「する」に設定してください。

1. BSメニューボタンを押して、設定メニューを出す。
2. カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「初期設定」を選ぶ。
3. カーソルボタン（▲▼）を押して、「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す。
   電話の設定画面が表示されます。
4. カーソルボタン（▲▼）を押して、「任意発呼」を選び、決定ボタンを押す。
   ダイヤルポーズの設定画面が表示されます。
5. カーソルボタン（▲▼）を押して「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す。
6. BSメニューボタンを押して、終了する。

設置と準備

ビデオリモートコントローラーを設定する

ここでは予約（視聴予約／録画予約）を簡単に実行するためにビデオリモートコントローラーの設定をします。予約を実行するときに自動的にテレビやビデオデッキの電源が入ります。

●ビデオリモートコントローラーをテレビとビデオデッキのリモコン受光部の下に設置します。
●ビデオデッキのメーカー名を設定します。
●本機をつないだテレビの入力を設定します。

ビデオリモートコントローラーの接続については「ビデオリモートコントローラーを設置する」（☞ P.65）をご覧ください。

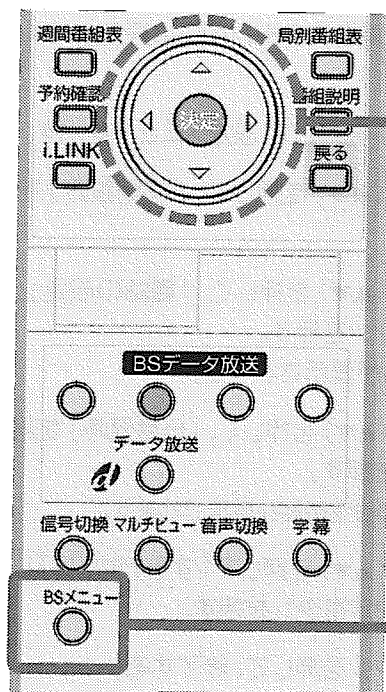
ビデオリモートコントローラーでできること

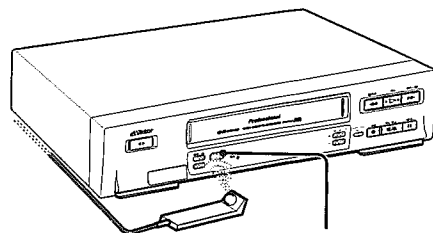
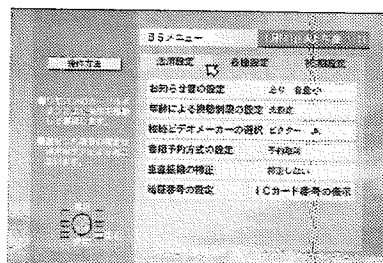
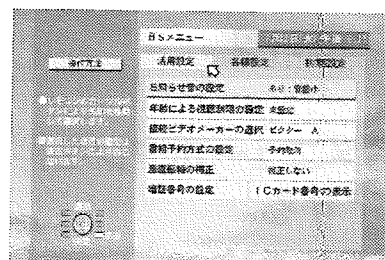
自動的に次のことを行います。
●視聴予約時はビクター製テレビの入力切換
●録画予約時はビデオデッキでの録画操作

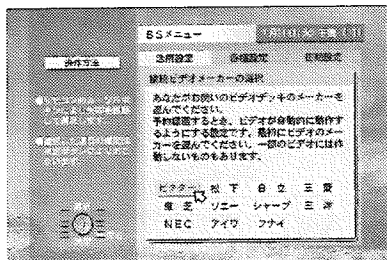
ご注意

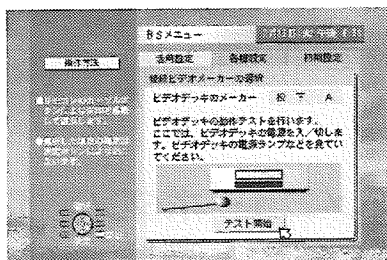
付属のビデオリモートコントローラーで操作できるテレビはビクター製のテレビのみです。

テレビとビデオデッキの準備

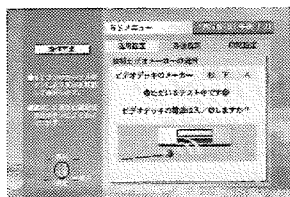
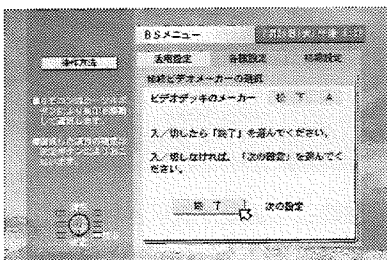
●リモコンで操作できるように設定してください。（設定のあるビデオデッキのみ）
●テレビとビデオデッキの電源は切っておいてください。

ビデオデッキのメーカーを設定する

1 ビデオリモートコントローラーをビデオデッキのリモコン受光部の下に置く。

2 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

3 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「活用設定」を選ぶ。

「活用設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して「接続ビデオメーカーの選択」を選び、決定ボタンを押す。

ビデオメーカーの選択画面が表示されます。

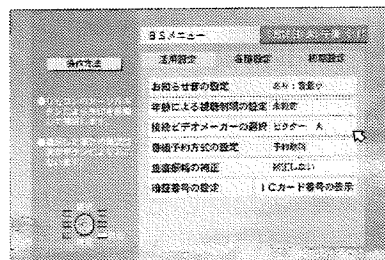
5 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してビデオのメーカー名を選び、決定ボタンを押す。

接続テストの画面になります。

6 決定ボタンを押し、ビデオデッキの電源が入ってすぐに切れることを確認する。

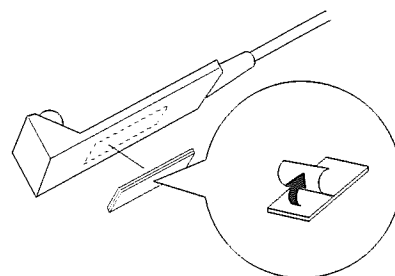
「ただいまテスト中です」と表示されます。

テストが終わると次の画面に変わります。

ビデオの電源が入／切しない場合は

引き続き次の操作をしてください。

1 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して「次の設定」を選び、決定ボタンを押す。
2 カーソルボタン（◀ ▶▲▼）を押して「テスト開始」を選び、決定ボタンを押す。

7 カーソルボタン（◀ ▶）を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す。

「活用設定」画面に戻ります。

8 BSメニューボタンを押して、設定メニューを終了する。

9 ビデオリモートコントローラーに付属の両面テープを貼り付ける。

10 ビデオリモートコントローラーを固定する。

ビデオリモートコントローラーを設定する（つづき）

テストがうまくいかなかったときは

●ビデオリモートコントローラーの位置を調整してください。
●テレビやビデオデッキによっては、設定できないものもあります。その場合は録画予約ができません。

試し録画をする

設置が終わったら、予約録画をして、ビデオリモートコントローラーが正常に働くことを確認してください。

ビデオリモートコントローラーの設定ができないビデオデッキで予約録画するには

1 本機で録画予約する。

2 予約した時間に合わせて、ビデオデッキで予約録画（タイマー予約）の設定をする。

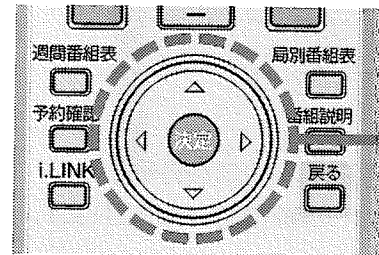
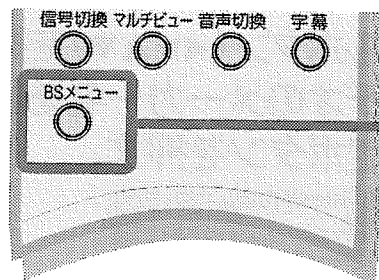
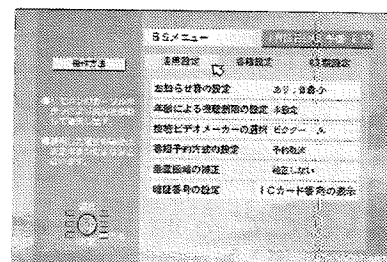
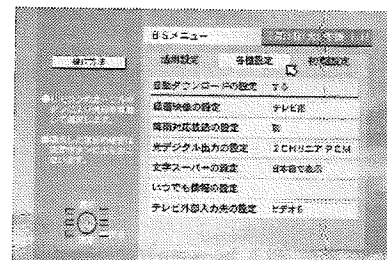
3 ビデオデッキの入力切換を操作して、本機を接続した入力に切り換える。

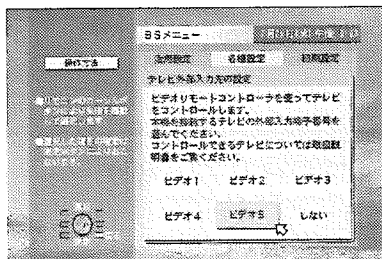
この場合は、予約番組の開始時刻が遅れても自動的に合わせることはできません。

ビデオリモートコントローラーで設定できるメーカー

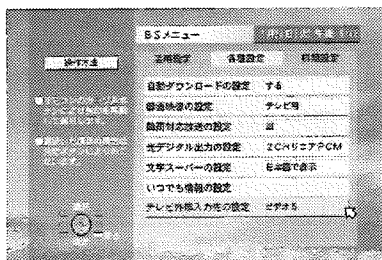
ビクター
松下
日立
三菱
東芝
ソニー
シャープ
三洋
NEC
アイワ
フナイ

テレビの入力を設定する

本機をつないだテレビの入力端子を、本機で設定します。視聴予約がされていると、予約時間の前になるとテレビの入力が自動的に切り換わり、BSデジタル放送を見ることができます。（テレビの電源が入っていないときは電源が入ります。）
ビクター製以外のテレビをつないでいる場合は設定する必要はありません。

1 **BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。**

2 **カーソルボタン（◀ ▶）を押して、「各種設定」を選ぶ。**

「各種設定」の画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「テレビ外部入力先の設定」を選び、決定ボタンを押す。

「テレビ外部入力先の設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して、「ビデオ1」～「ビデオ5」または「しない」を選び、決定ボタンを押す。

ビデオ1	本機をつないだテレビの入力端子を選びます。
ビデオ2	
ビデオ3	
ビデオ4	
ビデオ5	
しない	ビデオリモートコントローラーを使用しない場合に選びます。

「各種設定」画面に戻ります。

5 BSメニューボタンを押し、終了する。

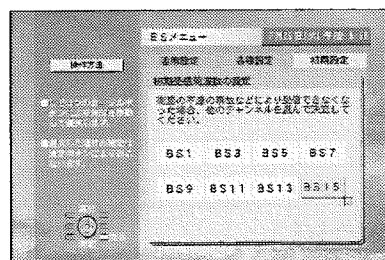
初期受信周波数の設定

電源を入れた時に情報受信する番号を設定します。通常はお買い上げ時の設定(BS15)で変更する必要はありません。
BS15の送信機が使えなくなった場合に、BS1・BS3・BS13のいずれかに設定します。

● BS放送がされているチャンネル（現在はBS5・BS7・BS9・BS11）を選ぶとBSデジタル放送を受信できなくなりますのでご注意ください。

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「初期設定」を選ぶ。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して、「初期受信周波数の設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して、設定したい番号を選び、決定ボタンを押す。

5 BSメニューボタンを押し、終了する。

故障かな?と思ったら

トラブルシューティングQ&A

修理をご依頼される前に、もう1度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症 状	A 原因と対処(参照ページ)
●電源が入らない	■ 電源プラグはつながっていますか?(☞ P.70)
●番組が映らない	■ 受信設定は正しいですか?(☞ P.71~81) ■ BS用のアンテナを使用していますか? BSデジタル放送を受信するにはハイビジョン対応のアンテナが必要です。 ■ アンテナを衛星に向けて正しく設置しましたか?(☞ P.63、73) ■ アンテナの前方に建物や樹木などの障害物はありませんか? ■ 大雨や雪が降っていませんか?大雨や雪が降っていると、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。また、アンテナに着雪していると映らないことがあります。 ■ アンテナの接続には衛星放送に使える同軸ケーブルを使用していますか? ■ B-CASカードは入っていますか?(☞ P.70) ■ B-CASカードの向きは正しいですか?(☞ P.70) ■ 放送のない時間帯ではありませんか? ■ 受信契約をしていないチャンネルではありませんか?(☞ P.12)
●映像が出ない	■ ペイ・パー・ビューのチャンネルではありませんか?(☞ P.44) ■ 映像ケーブルはきちんと接続されていますか?(☞ P.64、65)
●色がおかしい	■ D端子ピンケーブルを使ってテレビをつないでいる場合、同じ色どうしを接続していますか?(☞ P.64)

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
●音声がダブって聞こえる	■ 二重音声放送の主音声と副音声ではありませんか？(☞ P.42)
●音声が切り換えられない	■ モノラル放送やステレオ放送ではありませんか？
●本体もリモコンも操作できなくなった	■ 本機はマイコンを使用していますので、外部からの雑音や妨害ノイズなどにより正常に動作しないことがあります。このような場合は本体のB-CASカード挿入口の左側のリセットボタンを押してください。(☞ P.90)
●投票や申し込みができなくなった	■ 電話回線の接続は正しいですか？(☞ P.66) ■ 電話線の設定は正しいですか？(☞ P.75)
●リモコンが働かない	■ リモコンの電池が消耗していませんか？新しい電池と取り換えてください。(☞ P.70、P.92) ■ 本機を操作するときは、本機のリモコン受光部にリモコンを向けてください。 ■ テレビを操作するときは、テレビのリモコン受光部にリモコンを向けてください。(☞ P.55) ■ データ放送で操作できないボタンを操作していませんか？
●録画予約ができない	■ ビデオリモートコントローラーのメーカー設定は正しいですか？(☞ P.82) ■ ビデオリモートコントローラーはきちんと設置されていますか？(☞ P.65、67) ■ ビデオリモートコントローラーはきちんと接続されていますか？ ■ ビデオデッキの入力切換は正しいですか？ ■ 録画予約の設定は正しいですか？ ■ D-VHSビデオデッキはLINCされていますか？
●映像が乱れる	■ 本機の近くで携帯電話を使用していませんか？2m以上離れて使用してください。
●電源を切っているのに本体があたたかい	■ 電源を切っていても、一部の電気回路は動作しています。故障ではありません。

こんなメッセージが出たら

お願い ●カスタマーセンターなどにお問い合わせになるときは、画面右下に表示されるエラーコードもお知らせください。

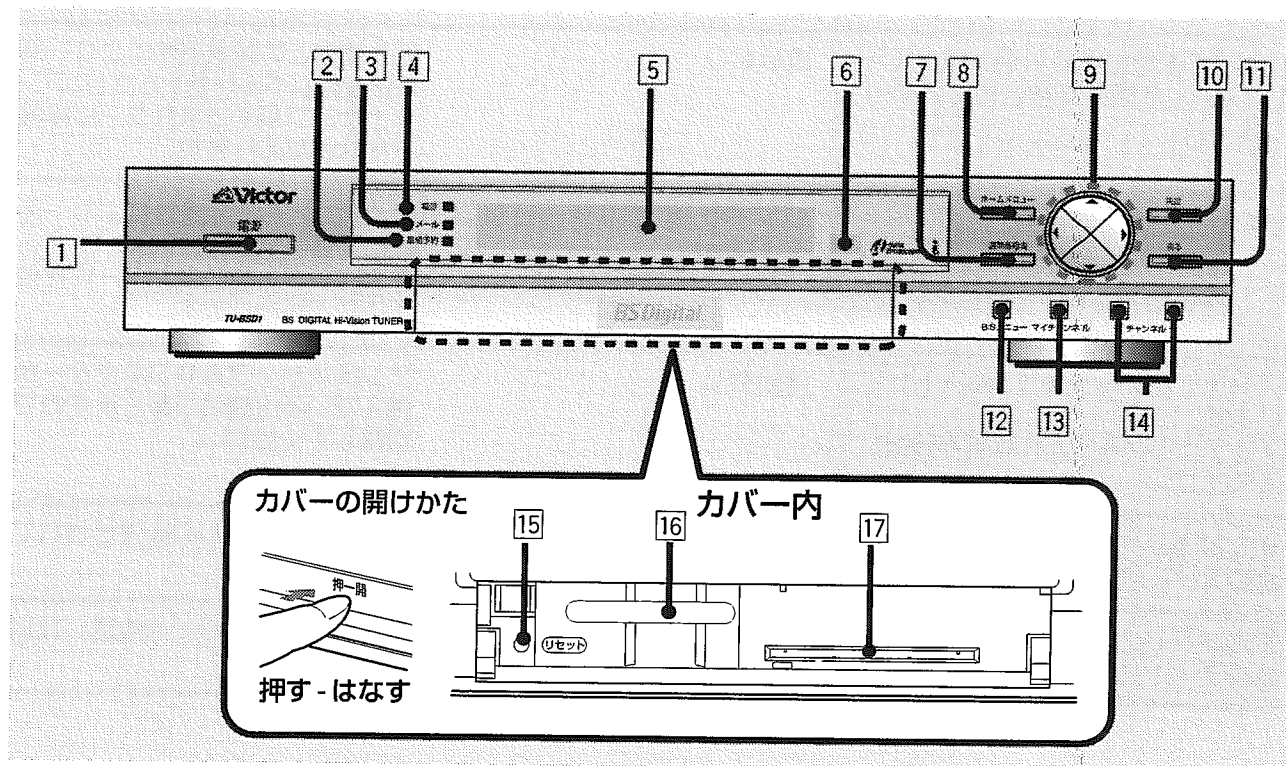
画面メッセージ	表示窓メッセージ	原　因
ICカードを正しく装着してください。	IC カードミソウニュウ	B-CASカードが入っていません。B-CASカードを挿入してください。(☞ P.70)
このICカードは使用できません。	コノ IC カード ハ ツカエマセン	B-CASカードに異常があります。カスタマーセンターにご連絡ください。
このICカードは使用できません。カスタマーセンターに連絡をしてください。	コノ IC カード ハ ツカエマセン	
このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウフカ ミケイヤク	契約の確認、または新たな契約をおこなってください。(☞ P.12)
このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウフカ ミケイヤク	契約していないチャンネルを選んでいませんか？ 契約の確認、または新たな契約をおこなってください。(☞ P.12)
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウフカ ケイヤクギレ	契約を更新するか、または新たな契約をおこなってください。(☞ P.12)
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウジョウケン ニヨリ シチョウフカ	契約を変更するか、または新たな契約をおこなってください。(☞ P.12)
受付時間を過ぎていますので購入できません。	表示なし	購入しようしている番組の受付期限が切れてしまっています。他の番組を選んでください。
番組購入情報がいっぱいのため新たに購入ができません。電話回線を接続のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	表示なし	購入データがいっぱいになっています。電話回線を接続してデータを送信してください。
ICカードの交換が必要です。 カスタマーセンターへ連絡をしてください。	IC カード ノ コウカン ガ ヒツヨウ	B-CASカードに異常がありますので、カスタマーセンターにご連絡ください。
ICカードが正しく装着されていません。 ICカードをご確認ください。	IC カード ガ タダシクササッテイマセン	B-CASカードが正しく挿入されていますか？ B-CASカード以外のカードが挿入されていませんか？ 正しくB-CASカードが挿入されているか確認してください。

画面メッセージ	表示窓メッセージ	原　因
ドアが開いています。 ドアを閉じてください。	ドア ガ アイテイマス	B-CASカード挿入口のふたが開いています。閉めてください。 (☞ P.70)
放送チャンネルではないため、視聴できません。	ホウソウチャンネル デハ アリマセン	放送されていないチャンネルを選んでいませんか？ 放送されているチャンネルを選んでください。
雨などの影響により受信状態が低下しており、降雨対応放送に切り換わりました。	表示なし	雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下したり、アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがあります。
信号が受信できません。	シンゴウ ガ ヨワク ジュシンデキマセン	雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下したり、アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがあります。
アンテナやケーブルがショートしています。 アンテナとケーブルの接続を確認してください。	表示なし	アンテナケーブルやコネクターが傷んでいる可能性がありますので点検してください。
現在放送されていません。 別のチャンネルを選んでください。	表示なし	選んだチャンネルの放送がされていません。
放送されていません。 別のチャンネルを選んでください。	表示なし	選んだチャンネルには放送／放送局はありません。

本機が出すメールの内容と対応

メールの題名	メールの内容	対　応
予約された番組を実行できませんでした。	予約された番組を実行できませんでした。 番組名:＃＃＃ 日時:＃＃＃	
新しいプログラムの更新失敗	新しいプログラムまたはデータの更新に失敗しました。再度、取り込みを行いますか？「はい」を選ぶと深夜など本機を使用していない時に自動的にプログラムをダウンロード(受信)します。「はい」「いいえ」	「はい」を選んで、深夜には本機の電源を入れないようにしてください。更新をしたくない場合は「いいえ」を選んでください。
カスタマーセンターとの接続失敗	カスタマーセンターとの接続に異常が発生しました。詳細はお取扱説明書をご覧ください。	電話回線の接続の確認、電話の設定の確認を行い、接続テストで問題がないことを確認してください。

各部のなまえ（本体前面）

本体前面

1 **電源ボタン** ☞ 16ページ
本体の電源を入／切します。

2 **番組予約ランプ**
予約を設定してから予約終了まで点灯します。

3 **メールランプ** ☞ 45ページ
放送局から個人あてのお知らせメールが送られてきているときや、予約が実行されなかったときなどに点灯します。
メールはホームメニューから見ることができます。（☞ 45ページ）

4 **電源ランプ** ☞ 16ページ
電源コードがコンセントに差し込まれていると赤く点灯し、電源が「入」になると緑色に変わります。

5 **表示窓** ☞ 77ページ
チャンネル番号などの情報を表示します。

6 **リモコン受光部** ☞ 16ページ
リモコンからの信号を受信します。リモコンを操作するときは、この受光部にリモコンの送信部を向けて操作します。

7 **週間番組表ボタン** ☞ 28ページ
画面に週間番組表を表示させます。

8 **ホームメニューボタン** ☞ 21ページ
画面にホームメニューを表示させます。

9 **▲/▼/◄/► ボタン** ☞ 19ページ
画面上の項目を選びます。

10 **決定ボタン** ☞ 19ページ
メニューなどの画面上の項目を決定します。

11 **戻るボタン**
メニューなどの画面上の操作で1つ前の画面に戻ります。

12 **BSメニューボタン** ☞ 19ページ
画面にBSメニューを表示させます。

13 **マイチャンネルボタン** ☞ 50ページ
画面にマイチャンネルメニューを表示させます。

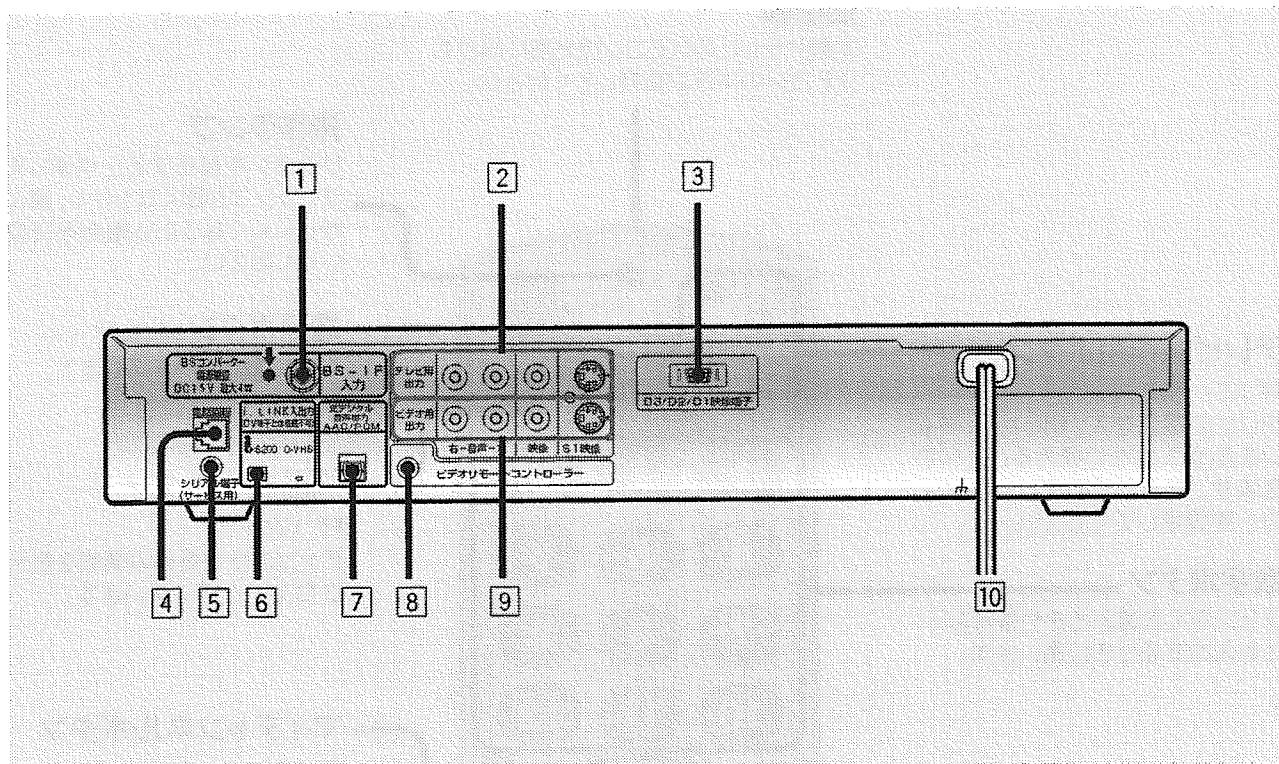
14 **チャンネル+/−ボタン**
チャンネルを切換えるときに使います。

15 **リセットボタン**
操作を受け付けなくなったときなどに押します。

16 **スマートメディア™挿入口**
サービスをするときに使用します。スマートメディア™は（株）東芝の商標です。

17 **B-CAS（ビーキャス）カード挿入口** ☞ 70ページ

各部のなまえ（本体後面）

本体後面

1 **BS-IF入力** ☞ 63ページ
BSアンテナを接続します。

2 **テレビ用出力端子** ☞ 64、65ページ
テレビと接続します。テレビにS端子があるときは、S映像ケーブルで接続することをおすすめします。このテレビ用出力端子から、メニュー画面やチャンネル表示が出力されますので、必らずこの端子をテレビと接続してください。（3を使用するときは音声端子のみ使用し、接続します。）

3 **D3/D2/D1 映像端子** ☞ 64ページ
D映像入力端子のあるテレビを接続します。接続するテレビの持っているD映像入力端子に合わせた設定が必要です。

4 **電話回線端子** ☞ 66ページ
アナログ回線のモジュラージャックを接続します。

5 **シリアル端子（サービス用）**
サービスをするときに使用する端子です。

6 **i.LINK端子** ☞ 68ページ
D-VHSなどのi.LINK対応機器と接続します。
i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ は商標です。

7 **光デジタル音声出力端子** ☞ 69ページ
MDデッキやAACデコーダーを持ったアンプなどと接続します。

8 **ビデオリモートコントローラー端子**
☞ 67ページ
付属のビデオリモートコントローラーを接続します。ビデオリモートコントローラーを使ってビデオデッキやビクター製テレビの連動操作ができます。

9 **ビデオ用出力端子** ☞ 67ページ
ビデオデッキと接続します。このビデオ用出力端子からは、メニュー画面やチャンネル表示は出力されません。

10 **電源コード** ☞ 70ページ

各部のなまえ（リモコン）

リモコン

テレビの操作をするには設定が必要です。
☞ 55ページ

送信部
本機やテレビのリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押してください。

操作ランプ
リモコンを操作すると点滅します。ランプが暗くなったり、操作がしにくくなったら電池を交換してください。

テレビ操作用ボタン
☞ 55ページ
テレビの電源を入/切したり、チャンネルや入力を切換えることができます。あらかじめテレビのメーカーを設定してください。

電源ボタン ☞ 16ページ
本機の電源を入/切します。

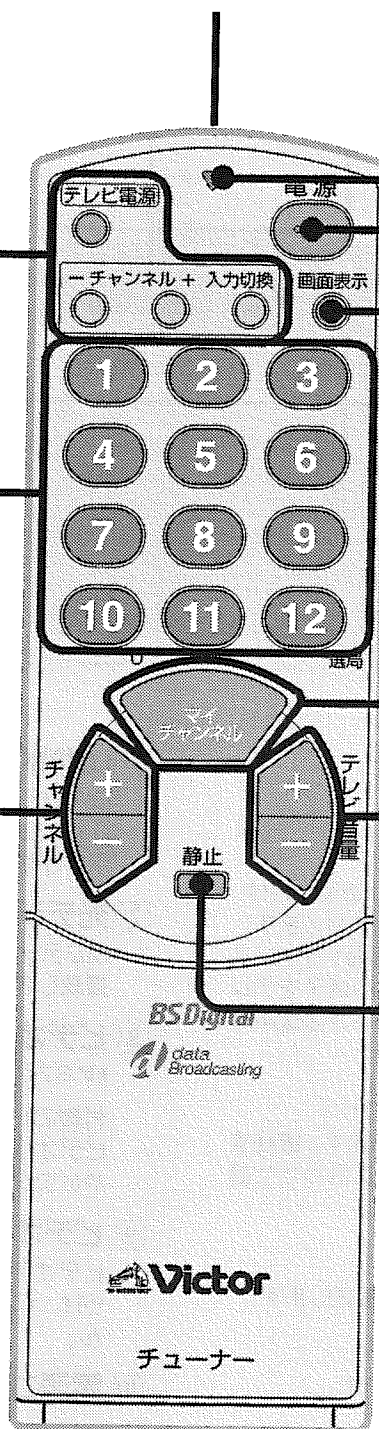
画面表示ボタン
☞ 17ページ
チャンネルや番組の情報を表示させたいときに使います。

数字ボタン
チャンネルを選ぶときや番号などを入力するときに使います。

マイチャンネルボタン
☞ 17ページ、50ページ
マイチャンネル画面を表示させたいときに使います。

チャンネル＋/ーボタン
チャンネルを切換えるときに使います。

テレビ音量＋/ーボタン
☞ 55ページ
テレビの音量を調節します。

静止ボタン ☞ 17ページ
現在見ている映像を静止画として表示させます。

リモコン（開閉操作部）

クイック番組表ボタン
☞ 31ページ
クイック番組表を表示します。

週間番組表ボタン
☞ 28ページ
一週間分の番組表を表示します。

予約確認ボタン
☞ 38ページ
現在の番組予約を確認する画面を表示します。

i.LINKボタン
i.LINK対応機器（D-VHS）のLINC設定画面を表示します。

BSデータ放送用ボタン
☞ 47ページ

信号切換ボタン
☞ 43ページ

BSメニューボタン
☞ 19ページ
メニューを表示します。

日付＋/－ボタン ☞ 28、30ページ
番組表の日付を変えたいときに使います。

ホームメニューボタン ☞ 21ページ
ホームメニューを表示します。

局別番組表ボタン ☞ 30ページ
局別番組表を表示します。

番組説明ボタン ☞ 32ページ
番組説明を表示します。

戻るボタン

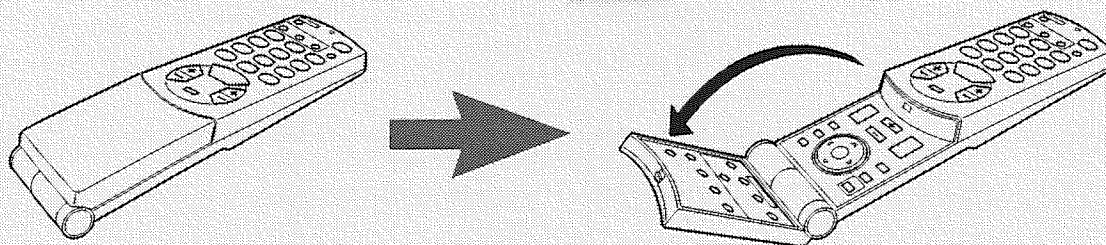
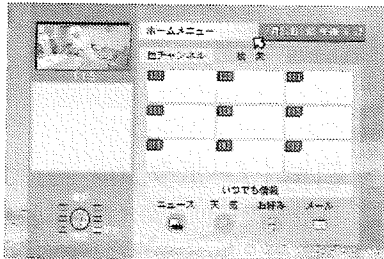
▲/▼/◀/▶決定ボタン
☞ 19ページ
メニューや設定、データ放送の操作に使います。

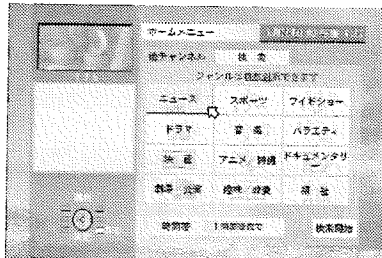
字幕ボタン ☞ 41ページ

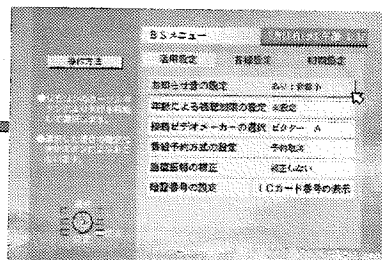
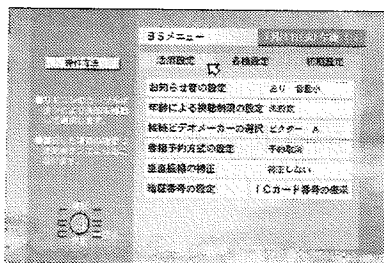
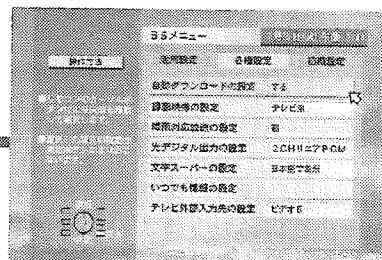
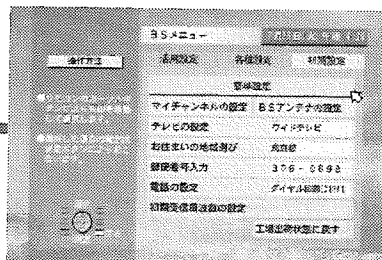
音声切換ボタン ☞ 42ページ

マルチビューボタン ☞ 40ページ

リモコンの開閉操作部を開けるには

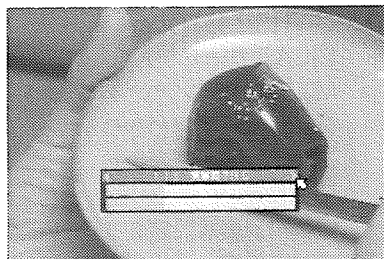
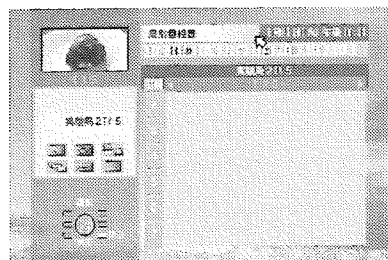
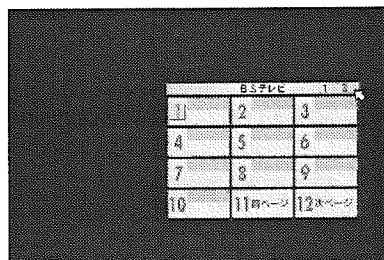
その他

メニュー一覧

ホームメニュー

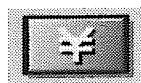
「他チャンネル」、「いつでも情報」

「検索」

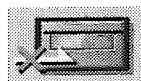
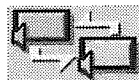
BS メニュー

活用設定

各種設定

初期設定

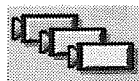
番組表一覧

週間番組表

クイック番組表

局別番組表

マイチャンネル

アイコン一覧

番組表／画面表示

有料番組 ☞ P.44

視聴年齢制限 ☞ P.54

録画禁止 ☞ P.37

信号切り換え ☞ P.43

購入済み ☞ P.44

マルチビュー放送 ☞ P.40

字幕放送 ☞ P.41

データ放送 ☞ P.47

ホームメニュー「ジャンル」

ニュース

スポーツ

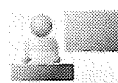
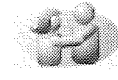
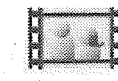
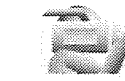
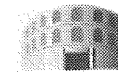
ワイドショー

ドラマ

音楽

バラエティー

映画

アニメ

ドキュメンタリー

劇場・公演

趣味・教養

福祉

索引

アルファベット／数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

用語解説

アルファベット／数字

B-CAS(ビーキャス)カード
視聴者の色々な情報を管理しているカード。

D端子
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味している。

LINC
Logical Interface Conection（ロジカル・インターフェース・コネクション：論理的な接続」の意味）の略。

ア行

アイコン
各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示。

暗証番号
視聴年齢制限のかかった番組を視聴するときや、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際などに使用する。最初の設定を行う際に、登録してください。

カ行

カーソル
メニューや番組表などの画面表示で表示される矢印。リモコンボタン操作で矢印を移動できる。

外線発信番号
外に電話をかけるときに、相手の電話番号の前につける番号。

共聴
集合住宅で、一カ所のアンテナで受信した電波を各家庭に配るしくみ。

コピーガード
著作権保護のため、録画ができないようにするための機能。

コンバーター周波数
アンテナのコンバーターの基準となる周波数。

サ行

視聴年齢制限
大人向けの番組などで、視聴できる年齢を制限する機能。

視聴予約
予約の1つ。予約した時間になると、その番組に切り換わる。

ジャンル
番組の種類。見たい番組をさがすときに使う。

受信契約
有料放送を受信するために各放送会社とかわす契約。

信号切換
複数の映像・音声・データを切り換える機能。

タ行

タイトル言語
番組表や画面表示で表示される番組のタイトルの表示言語。日本語と一部英語がある。

ダイヤル
電話をかけること。

ダウンロード
BSデジタルチューナーのマイコンプログラムを電波を使って新しくすること。

BSラジオ
映像のない音声だけのチャンネル。

ハ行

番組表
番組選択の総称。

ビデオリモートコントローラー
録画予約時にビデオデッキを操作する機器。リモコンの送信部に相当する。
ビクター製のテレビをつないでいるときは、テレビの電源入／切と入力切り換えもでる。

ペイ・パー・ビュー（PPV）
見た分だけ料金を支払うシステム。

マ行

メール
放送局から送られる個人あての手紙。

ヤ行

予約
放送予定の番組を見たり録画する機能。

DTLAの説明
著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。
また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。

MPEG2AACに関する使用特許番号の表示
本機において、MPEG2AACに関する下記番号の特許（出願中も含む）を使用しています。
特許番号（出願番号）
5,848,391　5,291,557　5,451,954　5,400,433
5,222,189　5,357,594　5,752,225　5,394,473
5,583,962　5,274,740　5,633,981　5,297,236
4,914,701　5,235,671　07/640,550　5,579,430
98/03037　97/02875　97/02874　98/03036
5,227,788　5,285,498　5,481,614　5,592,584
5,781,888　08/039,478　08/211,547　5,703,999
08/557,046　08/894,844　5,299,238　5,299,239
5,299,240　5,197,087　5,490,170　5,264,846
5,268,685　5,375,189　5,581,654　5,548,574
08/506,729　08/576,495　5,717,821　08/392,756

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、BSデジタルハイビジョンチューナーの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思ったら」（P.86)にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクターBSデジタルハイビジョンチューナー
型　名	TU-BSD1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせて
お 名 前	（　　）　－
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店	（　　）　－

ビクター製品のアフターサービスはお買いあげの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4番16号 函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(0188)24-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(0245)53-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
関信越				
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【サービス関連すべて】のご相談			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲府S.S.	(0552)37-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
	千葉			
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
千葉	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
千葉	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
千葉	千　葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
千葉	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
千葉	柏　S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
千葉	浦　安S.C.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	東京			
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
東京	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
東京	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
東京	本　郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
東京	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
東京	練　馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
東京	大　田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
東京	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
東京	【業務用機器専門】のご相談窓口			
東京	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
	埼玉			
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
埼玉	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
埼玉	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
埼玉	大　宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
埼玉	熊　谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石山B
埼玉	川　越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
	神奈川			
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
神奈川	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
神奈川	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
神奈川	横　浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
神奈川	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
神奈川	川　崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
神奈川	平　塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
神奈川	相模原 S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	静岡			
静岡	静　岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
静岡	沼　津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
静岡	浜　松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
	東海・北陸			
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町 丸之坪鴨田121-1
愛知	三　河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
愛知	豊　橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐　阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三　重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
三重	津　S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富　山S.C.	(0764)25-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金　沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福　井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
	近畿			
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
滋賀	滋　賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
京都南部	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
京都南部	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
京都南部	京　都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
奈良	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
奈良	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
奈良	奈　良S.C.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
大阪	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
大阪	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
大阪	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
大阪	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
大阪	堺　S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
大阪	【業務用機器専門】のご相談窓口			
大阪	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
和歌山	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
和歌山	田　辺S.S.	(0739)24-0124	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
兵庫東部	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
兵庫東部	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
兵庫東部	神　戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
兵庫西部	姫　路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
	中国			
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
広島	福　山S.C.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山　口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
山口	徳　山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
山口	下　関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
	四国			
香川	高　松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳　島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高　知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松　山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
愛媛	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
愛媛	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
	九州・沖縄			
福岡	福　岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
福岡	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
福岡	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐　賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長　崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
長崎	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大　分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊　本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮　崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
宮崎	延　岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
	山陰			
島根	山陰ビクター販売（株）サービスセンター（松江・米子担当）			
島根		(0852)31-8900	690-0823	松江市西川津町1484-3
島根	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
島根	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1

0600

■ 主な仕様

項目	仕様
受信方式	BSデジタル放送方式（日本方式） 階層変調に対応
受信チャンネル	BSデジタル放送のチャンネルに対応 000〜999 ＊CSデジタル放送や地上波デジタル放送には対応していません。
アンテナ入力	BS-IF　75Ω　F型コネクター
コンバーター電源出力	DC15V、最大4W
D3/D2/D1映像出力	15ピンD端子コネクター メニュー設定により、D1,D2,D3の出力を切換 ＊D映像端子使用時はテレビ用出力（S1映像出力および映像出力）から映像が出力されません。
S1映像出力	ミニDIN4ピン（テレビ用、ビデオ用各1系統）　Y：1V（p－p）、75Ω C：0.286V(p-p)、75Ω ＊ビデオ用出力にはチャンネル表示やメニューなどの表示がありません。
映像出力	ピンジャック（テレビ用、ビデオ用各1系統）1V（p－p）、75Ω ＊ビデオ用出力にはチャンネル表示やメニューなどの表示がありません。
音声出力	ステレオ、ピンジャック（テレビ用、ビデオ用各1系統） 平均出力レベル　250mV(rms) (FS-18dB) 最大出力レベル　2.0V(rms) 出力インピーダンス　470Ω以下
i.LINK	4ピン　S200
光デジタル音声出力	－18dBm、660nm メニュー設定によりAACとPCMを切り換えて出力
電話回線端子	2Pモジュラージャック モデム伝送レート　2400bps
ビデオリモートコントローラー出力	ミニジャック
シリアル端子（サービス用）	ミニミニジャック
電　源	AC100V,50Hz/60Hz
消費電力	34W
最大外形寸法	40.0cm×7.7cm×27.7cm （幅×高さ×奥行き）
質　量	3.3Kg
付属品・添付物	10ページ参照

この製品は、マクロヴィジョン社が保有する日本特許1925090号の特許技術のライセンス供与により製造されたものであり、この製品での使用は一部のプログラム配信に限定されています。

この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記3書体のリコーベクターフォントを使用しています。
平成丸ゴシック体TM-W4
平成丸ゴシック体TM-W8
平成角ゴシック体TM-W5

このBSデジタルハイビジョンチューナーを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This BS Digital Hi-Vision tuner is designed for use in Japan only and cannot be used any other country.

仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

本機は電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準適合認定及び技術的条件適合認定モデルです。
機器名TU-BSD1
認定番号　A00-0602-JP

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
98〜99ページをご覧ください。	東京 ☎(03) 5684－9311 [代表] 〒113-0033　東京都文京区本郷3丁目14-7　ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765－4161 [代表] 〒543-0028　大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

愛情点検　●長年ご使用のチューナーの点検をぜひ！　※熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止
故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp

Victor　JVC
日本ビクター株式会社
ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）453-2057

LCT0726-001C
0401-AI-MW-NI